

授業科目名(英文名) /Course Title	フランス語応用Ⅰ / Intermediate French Ⅰ		
担当教員(所属) / Instructor	田口 卓臣(国際学部)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G900220
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 火 /Tue 1, 火 / Tue 2	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	田口 卓臣(taguchi@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	田口 卓臣(火曜日12:00~12:50)		
授業の内容 / Course Description	この授業は、フランス語の基礎知識を持つ者を対象とします。講義は原則としてフランス語で行います。教科書などの会話シーンをもとに、日常的な場面におけるフランス語の基本的な表現を学びます。会話のまね、聞き取り、自己紹介など、履修者の積極的な参加を求める授業です。		
授業の達成目標 / Course Goals	フランス語の基礎的な文法を確認しながら、フランス語による意思表示のための基礎的な力を習得します。フランス語講読との同時履修によって、1年を通して、フランス語検定試験3級に合格できるだけの実力を身につけてもらいます。		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	この授業は、宇都宮大学基盤教育の教育目標1「現代社会に必要なリテラシー、幅広く深い教養と豊かな人間性を身につけるための教養教育を行います」に対応します。また、専門導入科目としては、国際学部の教育目標(C)の特に「上記の事柄に必要な外国語(…)」に習熟する」に対応します。		
前提とする知識 / Prerequisites	フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを修了していること。また、できるだけフランス語講読を同時に履修すること。国際学部専門科目「フランス語会話」(集中講義)の履修を予定している者は、必ずこの授業を履修したうえで夏休み前に特別指導を受けること。		
関連科目 / Related Courses	フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、フランス語会話。		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	①フランス語で講義する(受講者が理解できているかどうか、そのつど確認する)②CDを聴いて、会話の流れをつかみます。③CDにしたがって発音をまねてみます。④文法事項を確認し、辞書を引きながら練習問題を解きます。⑤教科書を参考にしながら自分独自の会話文をつくってみます。⑥3~4回に1回の割合でフランスのシャンソンを鑑賞し、そのなかの会話の聞き取りの練習を行います。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	1. 授業についての説明。 2. 1課: 数字 3. 1課: 名詞の性と数 4. 2課: 挨拶 5. 2課: 自己紹介 6. シャンソンの聞き取り① 7. 3課: 国籍 8. 3課: 年齢、住所 9. 4課: 職業 10. 4課: 疑問文 11. シャンソンの聞き取り② 12. 5課: 好き嫌い 13. 5課: 代名動詞 14. 6課: 食べ物、飲み物 15. シャンソンの聞き取り③		
教科書・参考書等 / Textbooks	教科書: ベルトラン・ソゼド、細貝健司『ヴォカル コミュニケーションのためのフランス語』アシェット・ジャボン/フヴエール出版、1800円。辞書: 『クラウン仏和辞典』(三省堂)、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)、『デイコ仏和辞典』(白水社)参考書: 『仏検公式問題集3級』(フランス語教育振興協会)		
成績評価の方法 / Evaluation	期末試験(70%)、小テスト(20%)、受講態度(10%)		
学習上の助言 / Learning Advice	フランス語での講義は、最初はついてくるのが辛いかもしれませんが、みなさんが理解できているかどうかをそのつどチェックしながら進めていくので安心してください。		
キーワード / Keywords	フランス語、日常会話、基礎文法		
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	農業と環境の科学/Introduction to agronomy and environmental science		
担当教員(所属)/Instructor	齋藤 潔(農学部農業経済学科)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G903010
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 1, 火/Tue 2	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可(出願前面談有)		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	齋藤 潔(農学部2号館南(農業経済学科棟)4階齋藤研究室 saitok@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	齋藤 潔(随時(メールで在室日時を確かめてください。))		
授業の内容/Course Description	この授業は農学部1年生を対象として、それぞれの専門課程に進むに当たって必要な農学の基礎的素養を修得するコア科目と位置づけられている。近代農学は食料生産効率の向上など目覚ましい実績を上げてきたが、そのなかで学問領域の専門分化が進み、農学研究に共通するパラダイムが失われていると指摘する声もある。また、近代農学が地球環境に大きな負荷を与えている面も見逃せなくなってきた。 この授業では農学大系の全体像を示すことを目的として、農業の歴史と現状、農業と地球環境の関係性について、日本と世界の視点をクロスさせながら講義を進める。さらに、先端技術を用いたバイオテクノロジーの研究動向を踏まえた農学研究を紹介するとともに、研究の社会的責任、研究ルールという研究倫理についても触れる。		
授業の達成目標/Course Goals	農学はさまざまな研究分野の複合領域として成立している。その農学の総合性を理解するとともに、農学が実践的な学問であり、社会で発生している諸問題の解決に貢献できることを学ぶ。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	持続的農業生産、環境の保全と修復、生命科学の発展と応用を共通の目標においた研究・教育を通して。地域社会ならびに国際社会に貢献できる人材を育成する。		
前提とする知識/Prerequisites	この授業をよりよく理解するために必要な学習スキルは、広範な知識欲に加え、聴く力、疑問力、質問力、論理思考力である。これらの学習スキルを授業を通して強化してほしい。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	この授業は、農学部の農業経済学科、農業環境工学科、応用生命科学科の3学科6人の教員が担当し、講義形式で行う。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回 農耕の起源、農学のあり方を考える 第2回 中世ヨーロッパの森と土壌 第3回 産業革命と農業革命が世界を変えた 第4回 日本と政界の農業を知る(以上齋藤潔) 第5回 農業の付加価値としての環境 第6回 環境の基礎としての物質循環(以上後藤章) 第7回 地球の環境問題とは 第8回 地球温暖化(以上松井宏之) 第9回 人口爆発と食料問題 第10回 大気汚染と酸性雨(以上齋藤高弘) 第11回 バイオレメディエーション1-微生物を活用した環境の計測 第12回 バイオレメディエーション2-微生物を活用した環境の修復と保全(以上上田俊策) 第13回 バイオテクノロジーの可能性1 第14回 バイオテクノロジーの可能性2(以上飯郷雅之) 第15回 宇都宮大学で学んだことを社会でどのように生かすのか?研究倫理(齋藤潔) 第16回 試験(会場は2つに沸かれます。詳細は第15回授業で告知します)		
教科書・参考書等/Textbooks	この授業では各教員が作成したテキスト冊子を受講生に配布する。参考図書などは授業中に紹介する。		
成績評価の方法/Evaluation	授業への出席状況、試験、レポートなどで総合的に成績評価する。		
学習上の助言/Learning Advice	この授業ではそれぞれの授業において、特定のテーマを取り上げるが、より深い関心を抱いたときには、自分で調べてみるほか、各教員の研究室を訪ねて、それぞれの教員からアドバイスを受けるなど教員を積極的に活用してほしい。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	新入生セミナー(応化)/First Year Seminar		
担当教員(所属)/Instructor	単 躍進(工学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G155001
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	単 躍進(内線:6174, e-mail: shan@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	単 躍進(月曜日12:30~13:30, 2-309号室。これ以外の時間については、メール(shan@utmu.jp)などで連絡して、予約してください。)		
授業の内容/Course Description	大学での生活、学習方法、キャリア形成などの基礎的スキルを習得するとともに、応用化学の様々な分野の問題を題材とし、自分で考えることの重要性、難しさ、楽しさを知ることが学べます。本授業のメインテーマは「応用化学科への招待：大学で何をどのように学ぶのか」です。		
授業の達成目標/Course Goals	次の5点を目標にします。 1. 学生生活、学習方法など、大学という場を理解する。 2. レポートの書き方、プレゼンテーションなど、大学での基礎的な学習スキルを身に付ける。 3. 与えられた条件の下、グループで協力して課題を解決する。 4. 自らが考えた内容を発表し、相互に討論する。 5. 自分で考えることの重要性、難しさ、楽しさを知ることが学べます。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	応用化学科の学習・教育目標のB-1、D-1、D-3の達成に寄与します。		
前提とする知識/Prerequisites	特になし。		
関連科目/Related Courses	特になし。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	研究室毎のセミナーでは、少人数のグループに分かれ、研究室毎に応用化学の様々な分野に関係する題材に触れるとともに、実験(調査)を行ない、発表します。各研究室のスタッフに適宜サポートされるなかで、学生自身が自主的かつ積極的に授業を進めます。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1週学科カリキュラムとセルフコーチングの説明 第2週学生生活?学習方法と安全教育 第3週研究室毎のセミナーのための準備(その1) 第4週研究室毎のセミナーのための準備(その2) 第5~8週研究室毎のセミナー 第9週日本語演習1(技術文章の組み立て方) 第10週日本語演習2(レポートの書き方) 第11週プレゼンテーションの準備 第12週プレゼンテーション(日本語演習3) 第13週キャリア形成と倫理教育およびグループ討論 第14週研究室自由見学 第15週振り返りとアンケート		
教科書・参考書等/Textbooks	必要に応じて資料を配布します。		
成績評価の方法/Evaluation	原則としてすべてに出席し、全体授業(第1週~第4週、第9、10週、および第12、13、15週)では、授業態度、課題への取り組み、プレゼンテーションの内容などを評価します(60%)。また、研究室毎のセミナーでは、授業態度、セミナーへの取り組み、セルフコーチングシート等の作成、結果の発表準備などを評価します(40%)。		
学習上の助言/Learning Advice	本授業のメインテーマ「応用化学科への招待：大学で何をどのように学ぶのか」に即して、それぞれの課題において、「大学で学ぶとはどういうことか」を理解するとともに、「研究とはどういうものであるか」について感じ、考えてもらいたい。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	新入生セミナー(生命)/First Year Seminar		
担当教員(所属)/Instructor	水重 貴文(農学部応用生命化学科), 前田 勇(農学部応用生命化学科)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G162001
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours			
授業の内容/Course Description	大学の教育環境への適応、学生の自己認識をもとにした自律的態度の育成、および基礎的なスキルの修得を図ります。		
授業の達成目標/Course Goals	大学という場を理解し、学生生活や学習の習慣を身につける。キャリア形成を見通しながら自己を認識し、大学での学習について理解する。レポートの書き方、文献検索法、プレゼンテーションなど、大学で学ぶための基礎的な学習スキルを身につける。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>応用生命化学科の以下の学習・教育目標に対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的論理性に基づく思考力を持ち、自らの判断の過程や結果を説明するためのプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を持っている。 ・生命・食品・環境に関する基礎的な知識を組み合わせ、物質の流れを把握し、諸問題の解決に取り組むことができる。 		
前提とする知識/Prerequisites	特になし。		
関連科目/Related Courses	特になし。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	全体オリエンテーションや附属農場での作業、学内見学を通して受講生同士の相互理解を深め、大学での学業生活を円滑に開始できるようにする。第6回以降は、各テーマに関連する講義や講演等を行い、必要に応じて課題を提出する。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回：オリエンテーション 第2回：食品の生産現場を知る 附属農場施設の見学 第3回：食品の生産現場を知る 附属農場での搾乳体験 第4回：食品の生産現場を知る 附属農場での乳製品製造体験 第5回：学内見学 第6回：招待講演 第7回：レポートの書き方 第8回：文献の検索と読み方 第9回：プレゼンテーションとディスカッション(1) 第10回：プレゼンテーションとディスカッション(2) 第11回：プレゼンテーションとディスカッション(3) 第12回：キャリア教育(1) 応用生命化学という学問分野について 第13回：キャリア教育(2) 応用生命化学における学習方法と研究について 第14回：キャリア教育(3) 応用生命化学における学習・研究の具体例 第15回：からだと心の健康		
教科書・参考書等/Textbooks	必要に応じて授業時に連絡する。		
成績評価の方法/Evaluation	授業態度(30%)、レポート(40%)、発表内容(30%)を総合的に評価する。		
学習上の助言/Learning Advice	このセミナーを受講して大学生活に適応するとともに、応用生命化学科で学ぶことの意義を理解し、将来のキャリア形成について考える機会としてほしい。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I A 工②(β)/Integrated English I A		
担当教員(所属)/Instructor	佐藤 研仁(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G201100
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4, 金 /Fri 3, 金/Fri 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	佐藤 研仁(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容/Course Description	<p>Classes will be conducted in English, twice a week by the same instructor to the same students. Students are always expected to use English in class. Although both sections are aimed at developing integrated skills, one is mainly focused on reading skills, while the other is focused on listening and speaking skills using authentic language from movies.</p> <p>In the first stage of the class, students will acquire the study skills necessary for success in English studies. Students will be provided guidelines for efficient use of a dictionary, reading and using English handwriting, understanding phonetic transcriptions, taking notes, etc.</p> <p>In the reading section, students will develop the skills necessary to use professional journals, books, websites, and other media in order to conduct academic research after advancing to their major area.</p> <p>In the section using movies, students will develop oral communication skills. They will also be introduced to various foreign cultures through these movies in order to promote intercultural understanding.</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>Learners will be able to: (1) identify a full range of expressions, unspecified facts and inferred meanings, (2) recognize a wide range of explicit and some less implicit appeals for repetition and clarification, (3) speak the target language relatively fluently with a substantial vocabulary and a variety of common idiomatic language expressions, (4) use a variety of sentence structures with a few grammar errors, although communication breakdown may occasionally occur, (5) comprehend authentic multipurpose texts in a variety of styles, (6) search for pieces of explicit and some less implicit information through background knowledge, (7) paraphrase and evaluate the content of a text.</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>This required freshman course is taught twice a week by a Japanese teacher with a background in TESOL. It is taught in conjunction with Integrated English B courses that focus on improving speaking, listening, and writing skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.</p>		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>In the reading section, students will work on various classroom activities and drills in the textbook. In the movie section, students will learn English colloquial expressions, slang, jokes, taboos, body languages, etc. by cloze dictation, shadowing, pair work, role play, etc. Students will also use scenarios and captions to improve reading and writing abilities.</p> <p>Students will be required to work on many assignments outside of class. To develop reading skills, students will be required to complete a number of outside assignments. To develop listening skills, students are to use CALL system in the DVD Laboratories in the library.</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>Weeks 1-2 Introduction to Course and Study Skills Weeks 3-4 Reading: Unit 1 Study Skills Weeks 5-6 Reading: Unit 2 Study Skills Weeks 7-8 Reading: Unit 3 Movie: Lesson 1 (The San Diego Zoo) First Test Weeks 9-10 Reading: Unit 4 Movie: Lesson 2 (Visitation Rights) Weeks 11-12 Reading: Unit 5 Movie: Lesson 3 (Transformation) Weeks 13-14 Reading: Unit 6 Movie: Lesson 4 (Sprit Personality) Second Test Week 15 Second Test Review</p>		

教科書・参考書等／Textbooks	1) Textbook: Pathways—Opening the Doors to EPUU (2016), Seibido 2) Textbook: Eigo no Tadashi Hatsuson no Shikata (1994), Keinan Iwamura, Kenkyusha 3) Textbook: Active Skills for Reading: Book 3 (3rd Edition), Neil J. Anderson, Thomson Heinle 4) Textbook: MRS. DOUBTFIRE, Screenplay Corporation
成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (Active Participation, Homework/Assignments, First Test, Second Test) 30% Common Final Exam
学習上の助言／Learning Advice	It is important to manage your own level of English skills: Set your personal improvement goals, try to work toward those goals as hard as possible, and always monitor your progress. クラス変更をする場合がありますので、購入したテキストには、指示があるまで（名前を含めて）書き込みを一切しないでください。
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I A 工②(γ)/Integrated English I A		
担当教員(所属)/Instructor	阿部 容子(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G201113
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4, 金 /Fri 3, 金/Fri 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	阿部 容子(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容/Course Description	<p>Classes will be conducted in English, twice a week by the same instructor to the same students. Students are always expected to use English in class. Although both sections are aimed at developing integrated skills, one is mainly focused on reading skills, while the other is focused on listening and speaking skills using authentic language from movies.</p> <p>In the first stage of the class, students will acquire the study skills necessary for success in English studies. Students will be provided guidelines for efficient use of a dictionary, reading and using English handwriting, understanding phonetic transcriptions, taking notes, etc.</p> <p>In the reading section, students will develop the skills necessary to use professional journals, books, websites, and other media in order to conduct academic research after advancing to their major area.</p> <p>In the section using movies, students will develop oral communication skills. They will also be introduced to various foreign cultures through these movies in order to promote intercultural understanding.</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>Learners will be able to: (1) identify a full range of expressions, specific facts and inferred meanings, (2) recognize a range of explicit and some less appeals for repetition and clarification, (3) communicate with an extensive everyday vocabulary and a variety of common idiomatic language, (4) use a variety of sentence structures with some grammar errors, although communication breakdown may occasionally occur, (5) comprehend the main ideas and all important details of long and complicated texts without dictionary use, (6) guess the meaning of unknown words and phrases from the context despite some difficulties, (7) summarize and draw conclusions of a text.</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>This required freshman course is taught twice a week by a Japanese teacher with a background in TESOL. It is taught in conjunction with Integrated English B courses that focus on improving speaking, listening, and writing skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.</p>		
前提とする知識/Prerequisites	High school level Elnghish		
関連科目/Related Courses	High school level Elnghish		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>In the reading section, students will work on various classroom activities and drills in the textbook. In the movie section, students will learn English colloquial expressions, slang, jokes, taboos, body languages, etc. by cloze dictation, shadowing, pair work, role play, etc. Students will also use scenarios and captions to improve reading and writing abilities.</p> <p>Students will be required to work on many assignments outside of class. To develop reading skills, students will be required to complete a number of outside assignments. To develop listening skills, students are to use CALL system in the DVD Laboratories in the library.</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>Weeks 1-2 Introduction to Course and Study Skills Weeks 3-4 Reading: Unit 1 Study Skills Weeks 5-6 Reading: Unit 2 Study Skills Weeks 7-8 Reading: Unit 3 Movie: Lesson 1 (The San Diego Zoo) First Test Weeks 9-10 Reading: Unit 4 Movie: Lesson 2 (Visitation Rights) Weeks 11-12 Reading: Unit 5 Movie: Lesson 3 (Transformation) Weeks 13-14 Reading: Unit 6 Movie: Lesson 4 (Sprit Personality) Second TEST Week 15 Second Test Review</p>		

教科書・参考書等／Textbooks	1) Textbook: Pathways—Opening the Doors to EPUU (2016), Seibido 2) Textbook: Eigo no Tadashi Hatsuon no Shikata (1994), Keinan Iwamura, Kenkyusha 3) Textbook: Active Skills for Reading: Book 2 (3rd Edition), Neil J. Anderson, Thomson Heinle 4) Textbook: MRS. DOUBTFIRE, Screenplay Corporation
成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (Active Participation, Homework/Assignments, First Test, Second Test) 30% Common Final Exam
学習上の助言／Learning Advice	It is important to manage your own level of English skills: Set your personal improvement goals, try to work toward those goals as hard as possible, and always monitor your progress. クラス変更をする場合がありますので、購入したテキストには、指示があるまで（名前を含めて）書き込みを一切しないでください。
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I A 工②(δ)/Integrated English I A		
担当教員(所属)/Instructor	峯 恵理菜(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G201126
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4, 金 /Fri 3, 金/Fri 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	峯 恵理菜(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容/Course Description	<p>Classes will be conducted in English, twice a week by the same instructor to the same students. Students are always expected to use English in class. Although both sections are aimed at developing integrated skills, one is mainly focused on reading skills, while the other is focused on listening and speaking skills using authentic language from movies.</p> <p>In the first stage of the class, students will acquire the study skills necessary for success in English studies. Students will be provided guidelines for efficient use of a dictionary, reading and using English handwriting, understanding phonetic transcriptions, taking notes, etc.</p> <p>In the reading section, students will develop the skills necessary to use professional journals, books, websites, and other media in order to conduct academic research after advancing to their major area.</p> <p>In the section using movies, students will develop oral communication skills. They will also be introduced to various foreign cultures through these movies in order to promote intercultural understanding.</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>Learners will be able to: (1) identify a broader range of common expressions, specific facts and opinions about situations, (2) recognize a full range of explicit appeals for repetition and clarification, (3) communicate with a range of everyday vocabulary and a limited number of idiomatic language, (4) use a variety of structures with some grammar errors, although inaccuracy may impede communication at times, (5) comprehend the main ideas and some important details of short and simple texts without dictionary use, (6) identify the meaning of a number of familiar words in the texts, (7) locate some specific information.</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>This required freshman course is taught twice a week by a Japanese teacher with a background in TESOL. It is taught in conjunction with Integrated English B courses that focus on improving speaking, listening, and writing skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.</p>		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>In the reading section, students will work on various classroom activities and drills in the textbook. In the movie section, students will learn English colloquial expressions, slang, jokes, taboos, body languages, etc. by cloze dictation, shadowing, pair work, role play, etc. Students will also use scenarios and captions to improve reading and writing abilities.</p> <p>Students will be required to work on many assignments outside of class. To develop reading skills, students will be required to complete a number of outside assignments. To develop listening skills, students are to use CALL system in the DVD Laboratories in the library.</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>Weeks 1-2 Introduction to Course and Study Skills Weeks 3-4 Reading: Unit 1 Study Skills Weeks 5-6 Reading: Unit 2 Study Skills Weeks 7-8 Reading: Unit 3 Movie: Lesson 1 (Serving Society) First TEST Weeks 9-10 Reading: Unit 4 Movie: Lesson 2 (The Man) Weeks 11-12 Reading: Unit 5 Movie: Lesson 3 (Required Class Project) Weeks 13-14 Reading: Unit 6 Movie: Lesson 4 (Creating Musical Fusion) Second TEST Week 15 Second Test Review</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	<p>1) Textbook: Pathways—Opening the Doors to EPUU (2016), Seibido 2) Textbook: Eigo no Tadashi Hatsuon no Shikata (1994), Keinan Iwamura, Kenkyusha 3) Textbook: Active Skills for Reading: Book 1 (3rd Edition), Neil J. Anderson, Thomson Heinle 4) Textbook: School of Rock, Screenplay Corporation</p>		

成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (Active Participation, Homework/Assignments, First Test, Second Test) 30% Common Final Exam
学習上の助言／Learning Advice	It is important to manage your own level of English skills: Set your personal improvement goals, try to work toward those goals as hard as possible, and always monitor your progress. クラス変更をする場合がありますので、購入したテキストには、指示があるまで（名前を含めて）書き込みを一切しないでください。
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I A 工②(ε)/Integrated English I A		
担当教員(所属)/Instructor	佐々木 明子(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G201139
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4, 金 /Fri 3, 金/Fri 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	佐々木 明子(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容/Course Description	<p>Classes will be conducted in English, twice a week by the same instructor to the same students. Students are always expected to use English in class. Although both sections are aimed at developing integrated skills, one is mainly focused on reading skills, while the other is focused on listening and speaking skills using authentic language from movies.</p> <p>In the first stage of the class, students will acquire the study skills necessary for success in English studies. Students will be provided guidelines for efficient use of a dictionary, reading and using English handwriting, understanding phonetic transcriptions, taking notes, etc.</p> <p>In the reading section, students will develop the skills necessary to use professional journals, books, websites, and other media in order to conduct academic research after advancing to their major area.</p> <p>In the section using movies, students will develop oral communication skills. They will also be introduced to various foreign cultures through these movies in order to promote intercultural understanding.</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>Learners will be able to: (1) identify a limited range of common expressions and specific facts, (2) recognize a few simple explicit appeals for repetition and clarification, (3) communicate haltingly with a limited range of common everyday vocabulary, (4) use a variety of simple grammatical structures with some errors, although inaccuracy may impede communication, (5) comprehend the main ideas without dictionary use, (6) identify the meaning of a limited number of familiar vocabulary in the texts, (7) locate a piece of specific information.</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>This required freshman course is taught twice a week by a Japanese teacher with a background in TESOL. It is taught in conjunction with Integrated English B courses that focus on improving speaking, listening, and writing skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.</p>		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>In the reading section, students will work on various classroom activities and drills in the textbook. In the movie section, students will learn English colloquial expressions, slang, jokes, taboos, body languages, etc. by cloze dictation, shadowing, pair work, role play, etc. Students will also use scenarios and captions to improve reading and writing abilities.</p> <p>Students will be required to work on many assignments outside of class. To develop reading skills, students will be required to complete a number of outside assignments. To develop listening skills, students are to use CALL system in the DVD Laboratories in the library.</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>Weeks 1-2 Introduction to Course and Study Skills Weeks 3-4 Reading: Unit 1 Study Skills Weeks 5-6 Reading: Unit 2 Study Skills Weeks 7-8 Reading: Unit 3 Movie: Lesson 1 (Serving Society) First TEST Weeks 9-10 Reading: Unit 4 Movie: Lesson 2 (The Man) Weeks 11-12 Reading: Unit 5 Movie: Lesson 3 (Required Class Project) Weeks 13-14 Reading: Unit 6 Movie: Lesson 4 (Creating Musical Fusion) Second TEST Week 15 Second Test Review</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	<p>1) Textbook: Pathways—Opening the Doors to EPUU (2016), Seibido 2) Textbook: Eigo no Tadashi Hatsuon no Shikata (1994), Keinan Iwamura, Kenkyusha 3) Textbook: Active Skills for Reading: Intro (3rd Edition), Neil J. Anderson, Thomson Heinle 4) Textbook: School of Rock, Screenplay Corporation</p>		

成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (Active Participation, Homework/Assignments, First Test, Second Test) 30% Common Final Exam
学習上の助言／Learning Advice	It is important to manage your own level of English skills: Set your personal improvement goals, try to work toward those goals as hard as possible, and always monitor your progress. クラス変更をする場合がありますので、購入したテキストには、指示があるまで（名前を含めて）書き込みを一切しないでください。
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) ／Course Title	Integrated English I B 国際・教育①(α)／Integrated English I B		
担当教員(所属)／Instructor	ローリー バンウェル(基盤教育)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G210200
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数／Credits	1単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	ローリー バンウェル(banwell@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	ローリー バンウェル(講義終了後対応します。)		
授業の内容／Course Description	Students focus on the strategies and skills of speaking, listening, and writing in English.		
授業の達成目標／Course Goals	Students will be able to:(1) use a full range of explicit and implicit communication strategies (questioning, repetition, clarification, etc.) to improve speaking fluency and listening abilities,(2) discover unspecified facts and inferred meaning as they develop their own opinions about topics and situations, (3) speak the target language fluently by identifying and using an extensive range of real world vocabulary and commonly used idiomatic expressions, (4) use a full range of structures with limited grammar errors that rarely affect communication, (5) recognize and practice native-like pronunciation patterns to make communication clear, and (6) develop and organize written language using complex structures to support and prepare for functional communication.		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	This required freshman course is taught once a week by a native English-speaking teacher. It is taught in conjunction with Integrated English A courses that focus on improving speaking, listening, and reading skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.		
前提とする知識／Prerequisites	High school level English		
関連科目／Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work together in pairs and small groups during class activities to improve communication fluency. Activities will include among other things: (1) listening to authentic conversations texts, and presentations to develop in-depth ideas and opinions about topics, (2) asking and answering questions to practice discussion skills, (3) keeping a vocabulary notebook, (4) grammar and pronunciation practice, and (5) writing paragraphs and texts to prepare for class activities.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 0, Weeks 3-4 Units 1-2, Weeks 5-6 Units 3 and Review, Weeks 7-8 1st Test and Test Review, Weeks 9-10 Units 4-5, Weeks 11-12 Units 6-7, Weeks 13-14 Review and 2nd Test, Week 15 2nd Test Review		
教科書・参考書等／Textbooks	Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills , Intermediate Second Edition Graham-Marr, A., et. al., ABAX Ltd. Tokyo.		
成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (15% Participation, 15% Homework, 15% 1st Test, 15% 2nd Test, 5% Clinic 5% EPUU Times Quiz) 30% Common Final Exam		
学習上の助言／Learning Advice	This is a great opportunity for you to improve your communication using English and share your ideas with other students. It' s also a great chance to communicate with native English speaking teachers. Enjoy speaking English and succeed in class!		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I B 国際・教育①(β)/Integrated English I B		
担当教員(所属)/Instructor	アンドリュー ヘンダーソン(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G210213
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	アンドリュー ヘンダーソン(hendosphoenix@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	アンドリュー ヘンダーソン(講義終了後対応します。)		
授業の内容/Course Description	Students focus on the strategies and skills of speaking, listening, and writing in English.		
授業の達成目標/Course Goals	Students will be able to:(1) use a full range of explicit and implicit communication strategies (questioning, repetition, clarification, etc.) to improve speaking fluency and listening abilities,(2) discover unspecified facts and inferred meaning as they develop their own opinions about topics and situations, (3) speak the target language fluently by identifying and using an extensive range of real world vocabulary and commonly used idiomatic expressions, (4) use a full range of structures with limited grammar errors that rarely affect communication, (5) recognize and practice native-like pronunciation patterns to make communication clear, and (6) develop and organize written language using complex structures to support and prepare for functional communication.		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	This required freshman course is taught once a week by a native English-speaking teacher. It is taught in conjunction with Integrated English A courses that focus on improving speaking, listening, and reading skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work together in pairs and small groups during class activities to improve communication fluency. Activities will include among other things: (1) listening to authentic conversations texts, and presentations to develop in-depth ideas and opinions about topics, (2) asking and answering questions to practice discussion skills, (3) keeping a vocabulary notebook, (4) grammar and pronunciation practice, and (5) writing paragraphs and texts to prepare for class activities.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 0, Weeks 3-4 Units 1-2, Weeks 5-6 Units 3 and Review, Weeks 7-8 1st Test and Test Review, Weeks 9-10 Units 4-5, Weeks 11-12 Units 6-7, Weeks 13-14 Review and 2nd Test, Week 15 2nd Test Review		
教科書・参考書等/Textbooks	Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills , Pre Intermediate Second Edition Graham-Marr, A., et. al., ABAX Ltd. Tokyo.		
成績評価の方法/Evaluation	70% Class Work (15% Participation, 15% Homework, 15% 1st Test, 15% 2nd Test, 5% Clinic 5% EPUU Times Quiz) 30% Common Final Exam		
学習上の助言/Learning Advice	This is a great opportunity for you to improve your communication using English and share your ideas with other students. It's also a great chance to communicate with native English speaking teachers. Enjoy speaking English and succeed in class!		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I B 国際・教育①(γ)/Integrated English I B		
担当教員(所属)/Instructor	ガーランド ファツイクエ ローリンス ジュニア(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G210226
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	ガーランド ファツイクエ ローリンス ジュニア (godzillalovesjapan@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	ガーランド ファツイクエ ローリンス ジュニア(講義終了後対応します。)		
授業の内容/Course Description	Students focus on the strategies and skills of speaking, listening, and writing in English.		
授業の達成目標/Course Goals	Students will be able to: (1) use a full range of explicit and implicit communication strategies (questioning, repetition, clarification, etc.) to improve speaking fluency and listening abilities, (2) discover unspecified facts and inferred meaning as they develop their own opinions about topics and situations, (3) speak the target language relatively fluently by identifying and using a substantial range of real world vocabulary and a variety commonly used idiomatic expressions, (4) use a variety of structures with few grammar errors, although communication breakdowns may occasionally occur, (5) recognize and practice native-like pronunciation patterns to make communication clear, and (6) develop and organize written language using a wide variety of structures to support and prepare for functional communication.		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	This required freshman course is taught once a week by a native English-speaking teacher. It is taught in conjunction with Integrated English A courses that focus on improving speaking, listening, and reading skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work together in pairs and small groups during class activities to improve communication fluency. Activities will include among other things:(1) asking and answering questions, (2) writing a vocabulary notebook, (3) grammar and pronunciation practice, (4) listening to and practicing real conversations and communication about topics, and (5) writing paragraphs and texts to prepare for class activities.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 0, Weeks 3-4 Units 1-2, Weeks 5-6 Units 3 and Review, Weeks 7-8 1st Test and Test Review, Weeks 9-10 Units 4-5, Weeks 11-12 Units 6-7, Weeks 13-14 Review and 2nd Test, Week 15 2nd Test Review		
教科書・参考書等/Textbooks	Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills , High Beginner Second Edition Graham-Marr, A., et. al., ABAX Ltd. Tokyo.		
成績評価の方法/Evaluation	70% Class Work (15% Participation, 15% Homework, 15% 1st Test, 15% 2nd Test, 5% Clinic 5% EPUU Times Quiz) 30% Common Final Exam		
学習上の助言/Learning Advice	This is a great opportunity for you to improve your communication using English and share your ideas with other students. It' s also a great chance to communicate with native English speaking teachers. Enjoy speaking English and succeed in class!		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I B 国際・教育①(ε)/Integrated English I B		
担当教員(所属)/Instructor	キース ロジャー(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G210240
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	キース ロジャー(keithjrodger@hotmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	キース ロジャー(講義終了後対応します。)		
授業の内容/Course Description	Students focus on the strategies and skills of speaking, listening, and writing in English.		
授業の達成目標/Course Goals	Students will be able to:(1) use a full range of explicit and implicit communication strategies (questioning, repetition, clarification, etc.) to improve speaking fluency and listening abilities,(2) discover unspecified facts and inferred meaning as they develop their own opinions about topics and situations, (3) speak the target language fluently by identifying and using an extensive range of real world vocabulary and commonly used idiomatic expressions, (4) use a full range of structures with limited grammar errors that rarely affect communication, (5) recognize and practice native-like pronunciation patterns to make communication clear, and (6) develop and organize written language using complex structures to support and prepare for functional communication.		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	This required freshman course is taught once a week by a native English-speaking teacher. It is taught in conjunction with Integrated English A courses that focus on improving speaking, listening, and reading skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work together in pairs and small groups during class activities to improve communication fluency. Activities will include among other things: (1) listening to authentic conversations texts, and presentations to develop in-depth ideas and opinions about topics, (2) asking and answering questions to practice discussion skills, (3) keeping a vocabulary notebook, (4) grammar and pronunciation practice, and (5) writing paragraphs and texts to prepare for class activities.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 0, Weeks 3-4 Units 1-2, Weeks 5-6 Units 3 and Review, Weeks 7-8 1st Test and Test Review, Weeks 9-10 Units 4-5, Weeks 11-12 Units 6-7, Weeks 13-14 Review and 2nd Test, Week 15 2nd Test Review		
教科書・参考書等/Textbooks	Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills , Starter Second Edition, Graham-Marr, A., et. al., ABAX Ltd. Tokyo.		
成績評価の方法/Evaluation	70% Class Work (15% Participation, 15% Homework, 15% 1st Test, 15% 2nd Test, 5% Clinic 5% EPUU Times Quiz) 30% Common Final Exam		
学習上の助言/Learning Advice	This is a great opportunity for you to improve your communication using English and share your ideas with other students. It' s also a great chance to communicate with native English speaking teachers. Enjoy speaking English and succeed in class!		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	情報処理基礎(教育I,J)/Basic Information Processing		
担当教員(所属)/Instructor	松村 啓子(教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース 社会科教育専攻)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G281020
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	松村 啓子(kwmatu@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	松村 啓子(水曜日16:10-17:00, 金曜日11:00-12:00)		
授業の内容/Course Description	すべての学生が共通的に持つべき情報リテラシーとして、オフィス系ソフトウェアとウェブブラウザ、電子メールの標準的な使い方とそれらの間の有機的連携方法、ハードウェアの基本的な使い方、総合メディア基盤センターPC・学内LANの環境の理解といった内容を講義と実習を併用した形式で教授します。情報倫理とWindowsを中心としたオペレーティングシステムについては、講義中に適宜解説します。		
授業の達成目標/Course Goals	情報化社会を賢明に生きると共に、専門分野でリーダーシップを発揮するには、情報の検索・交換・表現や分析等の利用技術に通じること、とりわけインターネットを効果的に活用する能力が必要となります。情報犯罪から身を守るため、そして知らずして社会的な迷惑を与えたり、不法行為を行うことが起きないように、基本的なエチケットや情報倫理を学び、インターネットの持つ光と影の両面を理解する必要があります。本授業では、情報化社会で必要不可欠とされる情報リテラシー(情報機器の操作法・情報及び情報手段を自主的に選択活用していくための基礎的な能力)を修得することを目標とします。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	小・中・高等学校の教員免許を取得するために必要な必修科目です。教育の情報化に対応できる教員に求められる基礎的・基本的な情報リテラシー(情報に関する必須の知識および技能)を習得をめざしています。本学の教育目標のうち、「1. 現代社会に必要なリテラシー(素養)、幅広く深い教養と豊かな人間性を身につけるための教養教育を行います。」に対応します。		
前提とする知識/Prerequisites	特になし		
関連科目/Related Courses	特になし		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	教育学部の1年生を対象とし、峰キャンパスにある総合メディア基盤センターのWindows 7が動作するパーソナルコンピュータ(PC)を使って行います。また、本授業は、e-Learningを使って資料の配布、小テスト、意見交換などを行います。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回: ガイダンス, 宇都宮大学における情報機器の利用設定1(ログイン、電子メール, e-Learning)(松村・石川由・山田洋) 第2回: 宇都宮大学における情報機器の利用設定2(電子メール, e-Learning, Webブラウザの利用)(松村・石川由・山田洋) 第3回: 情報セキュリティ(全体)(川島) 第4回: 情報モラル(全体)(川島) 第5回: 表計算演習(1) Microsoft Excelの基本操作(松村・石川由) 第6回: 表計算演習(2) 計算式、シート間参照、グラフ、オブジェクト(松村・石川由) 第7回: 表計算演習(3) 応用操作、アンケート集計【課題1】(松村・石川由) 第8回: 図書館の文献検索(松村・石川由) 第9回: プレゼンテーションの演習(1) プレゼンテーションの行い方(松村・石川由) 第10回: プレゼンテーションの演習(2) Microsoft PowerPointの基本操作(松村・石川由) 第11回: プレゼンテーションの演習(3) 発表会1(松村・石川由) 第12回: プレゼンテーションの演習(4) 発表会2【課題2】(松村・石川由) 第13回: 基本ソフトの統合的な利用演習(1) ExcelからWordへの貼付(松村・石川由) 第14回: 基本ソフトの統合的な利用演習(2) 文書レイアウトの設定(松村・石川由) 第15回: 最終課題【課題3】(松村・石川由) 注: 表計算演習と図書館の文献検索は、順番が入れ替わることがあります。		
教科書・参考書等/Textbooks	・教科書: 未定(決まり次第, お知らせします) ・その他, 必要な資料等は, 配布するかe-Learning上で提供します。		
成績評価の方法/Evaluation	授業への参加態度(10%), 提出課題(90%)を総合して評価します。		
学習上の助言/Learning Advice	入学当初は, 情報リテラシーの個人差が比較的大きいと思います。PCやインターネットに触れる機会が少なかった諸君は, 気後れすることなく, わからない点を質問してください。高校時代にこれらを活用してきた諸君は, 総合メディア基盤センターPCや学内LANの環境がこれまでの環境とどこが違うのかを注意して学んでください。		
キーワード/Keywords	学校教育教員養成課程, 全分野, e-ラーニング, 表計算, プレゼンテーション		
備考/Notes			

授業科目名(英文名) / Course Title	情報処理基礎(建築)/Basic Information Processing		
担当教員(所属)/Instructor	中島 史郎(地域デザイン科学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G284010
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可(出願前面談有)		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	中島 史郎(028-689-7065 s-nakajima@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	中島 史郎(火曜日12:00-12:50)		
授業の内容/Course Description	情報化社会において共通に持つべき情報リテラシーの修得を図る。具体的には、ウェブ、電子メール、オフィス系ソフトウェアの標準的な使い方とそれらの間の有機的連携方法、本学の総合メディア基盤センターのコンピュータおよびネットワーク環境について、実習を主とした演習形式で学習する。		
授業の達成目標/Course Goals	インターネットおよびオフィス系ソフトウェアなどの基本操作を修得し、建築都市デザインに必要なコミュニケーション、文書作成、データ分析、プレゼンテーションのリテラシーを身につける。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	学部共通の学習・教育目標「(B)科学技術と地域デザインに関する共通のリテラシーを身に付けている」に寄与する。		
前提とする知識/Prerequisites	特になし。		
関連科目/Related Courses	特になし。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	授業を4つのパートに分け、各パートで建築都市デザインに関する課題を出し、毎回の授業でステップごとに課題に取り組む。毎回の授業では、学生のペア等で相談しながら作業を進め、授業終了後同じペア等で進行状況をチェックする。 AL80: 毎回、総合メディア基盤センターのPCを実際に操作し、課題を提出させる。授業中に学生のペア等で相談・チェックし、必要に応じて他のペアや教員、ティーチングアシスタントに質問・意見交換する。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回 ガイダンス、インターネットの活用(1) 第2回 インターネットの活用(2) 第3回 インターネットの活用(3) 課題1の提出 第4回 ワードプロソフトの活用(1) 第5回 ワードプロソフトの活用(2) 第6回 ワードプロソフトの活用(3) 第7回 ワードプロソフトの活用(4) 課題2の提出 第8回 表計算ソフトの活用(1) 第9回 表計算ソフトの活用(2) 第10回 表計算ソフトの活用(3) 第11回 表計算ソフトの活用(4) 課題3の提出 第12回 プレゼンソフトの活用(1) 第13回 プレゼンソフトの活用(2) 第14回 プレゼンソフトの活用(3) 第15回 プレゼンソフトの活用(4) 課題4の発表		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書: 情報のリテラシー (FOM出版) ※必要に応じてプリントを配布する。		
成績評価の方法/Evaluation	毎回の課題への取り組み、および課題提出(50%)と授業内容の理解を問う期末筆記試験(50%)によって評価する。		
学習上の助言/Learning Advice	PCやソフトウェアの操作の仕方、課題への取り組みなど、よくわからない点は、ペアになった学生や他のペア、教員、ティーチングアシスタントに気軽に問いかけて下さい。		
キーワード/Keywords	インターネット操作 電子メール操作 ワードプロソフト操作 表計算ソフト操作 プレゼンソフト操作		
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	情報処理基礎(社基)/Basic Information Processing		
担当教員(所属)/Instructor	池田 裕一(地域デザイン科学部), 飯村 耕介(地域デザイン科学部), 長田 哲平(地域デザイン科学部), 近藤 伸也(地域デザイン科学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G284015
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可(出願前面談有)		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	飯村 耕介(k_iimura@cc.utsunomiya-u.ac.jp) 長田 哲平(E-mail: osada-teppe@cc.utsunomiya-u.ac.jp) 近藤 伸也(028-689-6212 kondos@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	飯村 耕介(月曜16:00~17:30(その他の日時でも事前にメール予約で対応可能)) 長田 哲平(・火曜日:10:00~12:00 ※事前にメール予約願います。 ・在室時の随時対応可(8-303) ・講義実施日の講義時間前後および休憩時間に対応) 近藤 伸也(授業時間中、またはe-mailによる予約)		
授業の内容/Course Description	情報化社会において共通に持つべき情報リテラシーの修得を図る。具体的には、ウェブ、電子メール、オフィス系ソフトウェアの標準的な使い方とそれらの間の有機的連携方法、大学の総合メディア基盤センターのコンピュータおよびネットワーク環境について、実習を主とした演習形式で学習する。		
授業の達成目標/Course Goals	インターネットおよびオフィス系ソフトウェアなどの基本操作を修得し、社会基盤デザインに必要なコミュニケーション、文書作成、データ分析、プレゼンテーションのリテラシーを身につける。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	部共通の学習・教育目標「(B) 科学技術と地域デザインに関する共通のリテラシーを身につけている。」に寄与する。		
前提とする知識/Prerequisites	特にありません。		
関連科目/Related Courses	地域コミュニケーション演習, 地域デザイン訪問 社会基盤解析法Ⅰ, 社会基盤解析法Ⅱ 土木工学実験 卒業研究		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	授業を4つのパートに分け、各パートで社会基盤デザインに関する課題を出し、毎回の授業でステップごとに課題に取り組む。 毎回の授業では、学生のペアで相談しながら作業を進め、授業終了時に同じペアで進行状況をチェックする。 AL80: 毎回、総合メディア基盤センターのPCを実際に操作し、課題を提出させる。授業中に学生ペアで相談・チェックし、必要に応じて他のペアや教員、ティーチングアシスタントに質問・意見交換する。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回 ガイダンス、インターネットの活用(1) 課題1の説明, Webブラウザ 第2回 インターネットの活用(2) 日本語入力, Web検索, 電子メールの利用 第3回 インターネットの活用(3) 課題1の提出 第4回 ワードプロソフトの活用(1) 課題2の説明, 基本的な文書作成 第5回 ワードプロソフトの活用(2) オブジェクトの挿入(図形, グラフ, 表) 第6回 ワードプロソフトの活用(3) その他の便利な機能 第7回 ワードプロソフトの活用(4) 課題2の提出 第8回 表計算ソフトの活用(1) 課題3の説明, 表の作成と編集, 演算と関数 第9回 表計算ソフトの活用(2) グラフの作成 第10回 表計算ソフトの活用(3) ワードプロソフトとの連携 第11回 表計算ソフトの活用(4) 課題3の提出 第12回 プレゼンソフトの活用(1) 課題4の説明, スライドの作成 第13回 プレゼンソフトの活用(2) オブジェクトの挿入(図形, グラフ, 表) 第14回 プレゼンソフトの活用(3) スライドショー, プレゼン技法 第15回 プレゼンソフトの活用(4) 課題4の発表		
教科書・参考書等/Textbooks	・教科書: 情報リテラシー (FOM出版, ISBNコード978-4-86510-071-6) ※必要に応じてプリントを配布する。		
成績評価の方法/Evaluation	毎回の課題への取り組みおよび課題提出(50%)と授業内容の理解を問う期末筆記試験(50%)によって評価する。		
学習上の助言/Learning Advice	PCやソフトウェアの操作の仕方、課題への取り組みなど、よくわからない点は、ペアになった学生や他のペア、教員、ティーチングアシスタントに気軽に問いかけてください。PC操作は一人ずつでも、課題に取り組む作業は、複数の人とやり取りしながら進める、それが社会基盤デザインの一歩です。		
キーワード/Keywords	地域デザイン科学部, 社会基盤デザイン学科, インターネット, 電子メール, ワードプロソフト, 表計算ソフト, プレゼンテーションソフト		
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	東洋思想/Oriental Thought		
担当教員(所属)/Instructor	水野 雄司(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G301311
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	水野 雄司(e-mail : yuraelectric@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	水野 雄司(授業終了後)		
授業の内容/Course Description	<p>狭義に定義すると、日本思想史、つまり歴史的な「日本の思想」を学ぶ授業となる。過去の日本人がどのようなことを考え、想ってきたかを、「今」を支点軸として考察する内容である。</p> <p>ただしそれは「東洋思想」と直結する。なぜならば、思想の歴史とは、後からの、原典の解釈の歴史とも言い換えられ、基本的に日本人たちが参照してきたものは、儒教や仏教といった「東洋」のテキストであったためである。</p> <p>東日本大震災は、日本に生きる私たちに、多くの問いを投げかけた。それは今でも変わることはない。それに少しでも応えられるように、私たちとその社会を培ってきた思想的背景を、できるだけ広く学び、そこから確かに繋がっている「今」の自分の「思想」を見直したいと思う。</p>		
授業の達成目標/Course Goals	普段意識していないこと、また、あたりまえに思っていることにどのような歴史的背景があるかを知ること、普段の思索行為を深めることが目標である。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	上記の説明から、「幅広く深い教養と豊かな人間性を身につける」に合致すると捉える。		
前提とする知識/Prerequisites	ある程度の日本史の知識があることが望ましいが、絶対的な条件ではない。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	原則講義形式。適宜、視聴覚教材を活用する予定。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>第1回 ガイダンスー東日本大震災以降、私たちはどのように生きていけばいいのか？</p> <p>第2回 私たちの伝統は正しいのか？ー石原慎太郎と坂口安吾の墮落論ー</p> <p>第3回 天皇に何を見出すべきなのか？ー和辻哲郎の天皇論ー</p> <p>第4回 日本人は神を信じているのか？ー『国体の本義』と『神皇正統記』の神国論ー</p> <p>第5回 誰のために行動するのか？ー新渡戸稲造と山本常朝の武士道論ー</p> <p>第6回 空気を読むとは？ー山本七平と十七条憲法の空気論ー</p> <p>第7回 (前半のまとめ)「伝統」とは？</p> <p>第8回 (補論)「思考」の3つのパターンとは？ー『リヴァイアサン』『五分後の世界』『同日同国』よりー</p> <p>第9回 私たちは近代化しているのか？ー丸山真男と江藤淳の近代化論ー</p> <p>第10回 自由とは何か？①ー福沢諭吉と鈴木大拙の天職論ー</p> <p>第11回 自由とは何か？②ー「明鏡止水」と「もののははれ」の自由論ー</p> <p>第12回 歴史をどう見るのか？ー司馬遼太郎と山田風太郎の歴史論ー</p> <p>第13回 国家とは何か？ー会沢正志斎の国体論ー</p> <p>第14回 (後半のまとめ)「近代」とは？</p> <p>第15回 まとめー「伝統」と「近代」の狭間で</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書は使用しない。講義レジュメを配布する。		
成績評価の方法/Evaluation	授業中に定期的に行う課題と学期末試験の点数によって評価する。		
学習上の助言/Learning Advice	現在の事例・問題に関して、最初に過去の人々がいかに考えてきたかを知ること、次に自分なりの理解を深めてください。既存の知識を「知ること」と自分で「考える」ことは違うということを意識して学習することが、大学での勉強です。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	科学思想史/History of Scientific Thought		
担当教員(所属)/Instructor	小山 悠(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G313016
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	小山 悠(e-mail : dilatwellan@yahoo.co.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	小山 悠(前期 火曜12:00-12:30(非常勤講師控室) 前期 金曜12:00-12:30(非常勤講師控室))		
授業の内容/Course Description	科学の歴史的発展には、科学方法論、すなわち「科学的研究はどのような手続きによって進められるべきか」という問題に関する反省的思考の発展が伴ってきた。科学的方法論の歴史的展開を通して科学的思考を反省的に分析する視座について講義する。		
授業の達成目標/Course Goals	科学的思考に対して歴史的・反省的な捉え方ができるようになること。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	教養科目中の人文科学系科目であり、現代社会を生きるために必要な教養の根本として、科学的思考に対する反省的な見方を身につける。		
前提とする知識/Prerequisites	特になし。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	講義形式でおこなう。適宜、資料を配布し、受講者には、資料についてレポートを毎回提出してもらう。(レポートで提示された意見の集約結果は講義の中で紹介する。)		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回 科学思想史の主題 第2回 神話的思考と科学的思考 第3回 宇宙論と存在論 第4回 論理学と数学の伝統 第5回 アリストテレス 第6回 アルキメデス 第7回 プトレマイオス 第8回 イブン・アルハイサム 第9回 オッカム 第10回 デカルト 第11回 科学革命 第12回 合理主義 第13回 アダム・スミス 第14回 啓蒙思想 第15回 科学の存在		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書は特になし。必要な資料はハンドアウトとして配布する。		
成績評価の方法/Evaluation	レポート70%、定期試験30%		
学習上の助言/Learning Advice	歴史的に成立している現象はその現象の歴史を辿ることによってのみ正しく理解できます。歴史的な思考や理解を科学という現象に適用するには独特の困難が伴いますが、その困難を身をもって体験することが科学思想史を学ぶ醍醐味だと心得てください。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	芸術学/Science of Art		
担当教員(所属)/Instructor	原田 葉子(国際学部), 松金 公正(国際学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G341772
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	原田 葉子(yharadam@gmail.com) 松金 公正(電話028-649-5216) 電子メール matskane@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	原田 葉子(火曜日 9:50~10:30) 松金 公正(木曜日1~2時限、松金資料室(5号館A棟3階))		
授業の内容/Course Description	現代社会においては様々なイメージが満ちあふれ、私たちは少なからずその影響を受けている。イメージをとおして、何が伝えられてきたのか、またどのように解釈しうるのかを、西洋美術の歴史を踏まえ、いくつかの方法論を紹介しつつ、考察していきたい。		
授業の達成目標/Course Goals	あるイメージを目にしたときに、その内容や意味、背景、制作された意図などについて自らの言葉で語れるように、また、現代における様々な視覚的イメージについて、批判的に検討できるようにする。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	この授業では、人文科学系科目の到達目標である教養の根本としての哲学、心理学、文学、芸術のうち、芸術に関する基礎的な知識を身につけ、幅広い教養を育むとともに、人間の本性や行動の背景を理解するための基礎的な知識や考え方、文学の評価のための基本を身につける。		
前提とする知識/Prerequisites	特になし。		
関連科目/Related Courses	特になし。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	授業の前半で理論的な枠組みを示し、後半で実際にスライドを見ながら検討していく。講義形式で行うが、ときに学生の意見も述べてもらう。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1週 芸術学へのアプローチ 第2週 イメージの創出 第3週 “芸術意志”について 第4週 不可視のものイメージ 第5週 象徴について 第6週 様式の誕生 第7週 古典と革新 第8週 制度と美術 第9週 美術とジェンダー 第10週 美術と知覚心理学 第11週 イリュージョンの力 第12週 イメージと記号 第13週 「芸術」と「アート」 第14週 新たなメディアによるイメージ 第15週 まとめ、イメージの力		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書は指定しない。参考書は授業中に指示する。必要な資料はプリントで配布する。		
成績評価の方法/Evaluation	学期末レポート(70%)と小テスト(30%)を合わせて評価する。		
学習上の助言/Learning Advice	日頃から芸術作品に触れるようにつとめ、自分なりの解釈を試みてほしい。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	歴史学入門/Introduction to History		
担当教員(所属)/Instructor	下田 淳(教育学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G450115
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	下田 淳(shimoda@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	下田 淳(火曜日12~13時。)		
授業の内容/Course Description	歴史学入門といっても、歴史学の抽象的理論を紹介するわけではない。具体的に歴史をみる。今回は世界の宗教史を概観する。		
授業の達成目標/Course Goals	本講義を通して宗教の歴史の大枠を把握し、今後の人類社会を展望する。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	現代社会、そして未来を生き抜くための教養と思考力を身につける。		
前提とする知識/Prerequisites	高等学校「世界史」の教科書で当該箇所を予習しておくことが望ましい。授業内容は、理系の学生にも対応できる簡単な内容である。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	映像資料をスクリーンに映し、当該箇所について私が解説を加える。授業では、自分の関心にしたがって授業ノートに毎回メモすること。前回の復習と次回の予習をすること。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	1回: 歴史における宗教とは何か 2回: 宗教の登場 3回: 原始宗教と高等宗教 4回: 中東の宗教: ユダヤ教からキリスト教へ 5回: ヨーロッパのキリスト教史(1) 6回: ヨーロッパのキリスト教史(2) 7回: ヨーロッパのキリスト教史(3) 8回: 中東文明とイスラム(1) 9回: 中東文明とイスラム(2) 10回: インドとヒンドゥー教 11回: 仏教史(1) 12回: 仏教史(2) 13回: 中国の宗教 14回: 日本の宗教 15回: 総括		
教科書・参考書等/Textbooks	適宜指示。		
成績評価の方法/Evaluation	期末試験		
学習上の助言/Learning Advice	私語厳禁		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) / Course Title	現代日本の政治と行政		
担当教員(所属)/Instructor	三田 妃路佳(地域デザイン科学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G475830
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours			
授業の内容/Course Description	政治はどこで、どのように決定されているのだろうか。なぜ、日本は政権交代が可能な選挙制度を取っているにも関わらず、結果として自民党の長期政権となるのだろうか。講義では、国会議員、官僚、利益団体・有権者、自治体の首長・議員、諸外国といった諸アクター(行動主体)の役割や目的、相互の関係について、選挙、立法過程、事業実施、対外交渉といった場面に沿って説明する。その上で、上の問いについて議論を行う。加えて、日本と米国とでは政治過程の違いについても説明する。		
授業の達成目標/Course Goals	日本の政治や行政の仕組みについて理解するとともに、理論や他国との比較から、日本の政治や行政の課題を見出す力を身につけることを目指す。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を身につけることを目的とした教養科目のうち、社会科学系政治学分野の科目		
前提とする知識/Prerequisites	国内外、国、地方自治体を問わず、政治や行政に関わる様々な制度のほか、政治家、公務員、利益団体などの活動や役割に関心を持っていること。		
関連科目/Related Courses	公共政策入門、政治学概論、政策過程論		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	講義形式を中心とするが、事前に配付した課題への発言を求める。ビデオの視聴後の討論も予定している。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、選挙と有権者 2. 日本の選挙制度 3. 選挙制度改革 4. 自民党政権の誕生 5. 自民党政権の崩壊と1993年の政権交代 6. 自民党政権復活と2009年の政権交代 7. 立法過程における官僚の役割 8. 立法過程における政治家の役割 9. 利益団体の役割と政治家 10. 地方自治体の財源問題 11. 利益誘導型政治はどう変わったのか 12. 行政と住民との関係 13. 公共事業の役割と課題 14. 内政と外交の関わり1: 理論的視点 15. 内政と外交の関わり2: 自由化問題 		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書: 久米郁男・田中愛治・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2007年。 参考書: 授業中に指示する。		
成績評価の方法/Evaluation	定期試験70%、レポート提出、授業への参加状況30%		
学習上の助言/Learning Advice	課題を行うとともに、予習をし授業中の討論に参加できるようにすること。		
キーワード/Keywords	自民党、利益団体、中央・地方関係、不確実性		
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	朝鮮語基礎Ⅰ / Basic Korean Ⅰ		
担当教員(所属) / Instructor	金 多希(その他)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G760160
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	金 多希(開講時に教えます。)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	金 多希(火曜日: 12:00~12:50 (非常勤講師室))		
授業の内容 / Course Description	朝鮮語と日本語は文法構造が非常に類似しています。そのため、日本人にとって大変馴染みやすく、覚えやすい外国語の一つです。このような朝鮮語の特徴を踏まえた上、本演習では、まず朝鮮語の文字と発音をしっかり身に付けます。そして、基本的な自己紹介や挨拶ができるように口頭演習を通して基礎会話を習得します。		
授業の達成目標 / Course Goals	初習者向けとして朝鮮語の基礎能力を養います。		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	基盤教育関係の初習外国語系科目の教育目標に対応します。		
前提とする知識 / Prerequisites	特に問いません。		
関連科目 / Related Courses			
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	主に教科書を中心に進めますが、他に現在の生きた朝鮮語の表現にも触れます。まず、朝鮮語40文字の表記と発音に重点を置きます。とりわけ文字と発音は、毎週復習の機会を設け繰り返し覚えていきます。さらに、ワーク・シートを積極的に活用することで、朝鮮語の基礎を体系的且つ着実に身につけていきます。また、二つの副教材を用い、教科書の外側にある日常的な表現にも触れます。ここでは、K-POPの歌詞を読むことで、より自然な発音を練習します。次に、韓国ドラマ(もしくはコマーシャル)の台詞を拾いながら、口語表現やイントネーションを学習します。ならびに、現在の韓国事情にも関心を広げつつ、最新の流行や韓国文化も紹介します。授業は基本的に日本語で行いますが、言葉に慣れるように簡単な朝鮮語を交えながら進めます。 (学習者の状況によって、授業の進度を調節する場合があります。予めご了承ください。)		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	第1週 初回ガイダンス 第2週 基本母音字 第3週 基本子音字(1) 第4週 基本子音字(2) 第5週 激音と濃音 第6週 合成母音字 第7週 パッチム(1) 1文字パッチム 第8週 パッチム(2) 2文字パッチム 第9週 発音の規則(1) 連音化 — K-POP、読んで歌ってみよう 第10週 発音の規則(2) 2文字パッチムの連音化 — K-POP、読んで歌ってみよう 第11週 文字の読む練習 — ドラマやコマーシャルの台詞を読んでみよう 第12週 自己紹介 — 私は学生です。 第13週 指示代名詞 — これは何ですか? 第14週 家族の呼称と所有格 — この人は誰ですか? 第15週 総まとめ		
教科書・参考書等 / Textbooks	李昌圭『韓国語へ旅しよう(初級)』朝日出版社(生協で販売)		
成績評価の方法 / Evaluation	出席及び授業への参加態度(20%)、課題及び小テスト(20%)、期末試験(60%)		
学習上の助言 / Learning Advice	外国語に興味のある方なら楽しく勉強できると思います。気軽に始められる外国語なので、緊張せず初回のガイダンスに参加してみてください。前期の授業が終わる頃には文字が自然に読めるようになります。		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	日本語アカデミック・リーディングⅠ/Academic Japanese for Reading I		
担当教員(所属)/Instructor	石井 怜子(その他), 未設定(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G896050
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 3, 火/Tue 4	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	石井 怜子(GCG01702@nifty.ne.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	石井 怜子(授業後に対応します。)		
授業の内容/Course Description	本授業では、学部1年次の留学生を対象とした上級レベルの日本語学習として、論説文を読み解く力を養います。また、関連する語彙や文法項目についても取り上げます。		
授業の達成目標/Course Goals	大学学部レベルでの勉学に必要な学術的な文章が読めるようになることを目指します。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	基盤教育留学生日本語科目の達成目標に対応します。		
前提とする知識/Prerequisites	上級レベル(日本語能力試験N1合格)程度の日本語能力が必要です。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<ul style="list-style-type: none"> ・前の週までに次週の課題の文章を渡すので、単語調べなどの予習をしてくること。 ・授業では、正確な理解の上立って、相互に討論しながら内容を解釈します。 ・必要に応じ、その日の授業内容に基づいた課題を出します。 ・自分の読んだ文章を他の人に説明する活動を取り入れます。 ・必要に応じ、小テストを行います。 		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回 授業概要説明 日本語能力チェック 第2回 正確に読む(1) 定義 第3回 正確に読む(2) 歴史的経過と因果 第4回 正確に読む(3) 制度と仕組み 第5回 正確に読む(4) 理論 第6回 正確に読む(5) 複雑な理論 第7回 正確に読む(6) 調査の方法と結果 第8回 正確に読む(7) 実験の方法と結果 第9回 文章の内容を説明する(1) 準備(内容理解) 第10回 文章の内容を説明する(2) 準備(発表のアウトライン作成) 第11回 文章の内容を説明する(3) 発表 第12回 正確に読む(8) 根拠と結論 第13回 批判的に読む(1) 批判的に読むとは 第14回 批判的に読む(2) 疑問点を見つける 第15回 批判的に読む(3) 内容を評価する		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書・教材は、授業において指示します。		
成績評価の方法/Evaluation	授業への取り組み(40%)、発表及び課題と小テスト(20%)、期末試験(40%)の結果を総合して評価します。		
学習上の助言/Learning Advice	目的を持って文章を読み、それを通して学術的な文章を読むための技術を身につけてください。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Advanced English I (Presentation)α / Advanced English I (Presentation)		
担当教員(所属) / Instructor	アンドリュー ヘンダーソン(その他)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G240051
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 火 /Tue 5, 火 / Tue 6	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	アンドリュー ヘンダーソン(hendospheonix@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	アンドリュー ヘンダーソン(講義終了後対応します。)		
授業の内容 / Course Description	Students focus on organizational and speaking skills to give clear and effective presentations.		
授業の達成目標 / Course Goals	Students will be able to: (1) develop their own ideas and opinions about topics in depth, (2) confidently express ideas and opinions in front of an audience, (3) use a full range of grammar forms and vocabulary in an effective way while preparing ideas about content and persuading about opinions orally, (4) use a wide range of vocabulary and expressions to signal organizational sequence and connections between ideas, (5) use body language appropriately to communicate a message, (6) prepare and use effective visual aids, and (7) ask in-depth questions of speakers and respond with clear answers to audience about presentations.		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識 / Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目 / Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	Students will work together in pairs and small groups during class activities that will include among other things: (1) brainstorming and developing ideas and topics with various speech building strategies, (2) practicing gestures, voice skills, and pronunciation techniques to communicate with audience, (3) understanding and organizing ideas and language for various purposes such as describing, informing, explaining, and persuading, (4) watching sample presentations in order to understand and improve performance, (5) using grammar, transitions and organizational vocabulary to show logical connections between ideas, (6) speaking in front of class individually and with a group, (7) preparing notes and outlines to support speaking activities, and (8) creating handouts, overheads, or computer based visual aids to communicate ideas.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	Week 1 Unit 1: Introducing Yourself, Week 2 Unit 2: The Global Peace Index, Week 3 Unit 3: Japan's Global Responsibility, Week 4 Unit 4: Social Networking, Week 5 Unit 5: UNESCO, Week 6 Review Units 2, 3, 4, & 5, Week 7 First Test, Week 8 Unit 6: Improving Primary School Education, Week 9 Unit 7: Review 1 Week 10 Unit 8: The Daily News, Week 11 Unit 9: Japan's Low Birth Rate, Week 12 Unit 10: Nuclear Power, Week 13 Review Unit's 8, 9, 10 & 11, Week 14 Second Test, Week 15 Review Second Test. One lesson, from the above, will be replaced by English Awareness Week. Date to be advised in class.		
教科書・参考書等 / Textbooks	Presentation Workshop, Oral Communication for Academic Purposes, Kinseido Publishing, Tokyo. Smith, C., Tsubota, T., Ishikawa, Y., & Dantsuji, M. 2012,		
成績評価の方法 / Evaluation	50% Class Work (30% Participation during Listening/Speaking Activities, 20% Textbook Activities/ Homework) 50% Presentation Projects (25% Project I, 25% Project II)		
学習上の助言 / Learning Advice	This course will help students develop the necessary skills needed for giving presentations in English.		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Advanced English I (Presentation)β / Advanced English I (Presentation)		
担当教員(所属) / Instructor	マックラム マイケル(その他)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G240052
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 火 /Tue 5, 火/Tue 6	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	マックラム マイケル(michaelmccrum@outlook.com)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	マックラム マイケル(講義終了後対応します。)		
授業の内容 / Course Description	Students focus on organizational and speaking skills to give clear and effective presentations.		
授業の達成目標 / Course Goals	Students will be able to: (1) develop their own ideas and opinions about topics in depth, (2) confidently express ideas and opinions in front of an audience, (3) use a full range of grammar forms and vocabulary in an effective way while preparing ideas about content and persuading about opinions orally, (4) use a wide range of vocabulary and expressions to signal organizational sequence and connections between ideas, (5) use body language appropriately to communicate a message, (6) prepare and use effective visual aids, and (7) ask in-depth questions of speakers and respond with clear answers to audience about presentations.		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識 / Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目 / Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	Students will work together in pairs and small groups during class activities that will include among other things: (1) brainstorming and developing ideas and topics with various speech building strategies, (2) practicing gestures, voice skills, and pronunciation techniques to communicate with audience, (3) understanding and organizing ideas and language for various purposes such as describing, informing, explaining, and persuading, (4) watching sample presentations in order to understand and improve performance, (5) using grammar, transitions and organizational vocabulary to show logical connections between ideas, (6) speaking in front of class individually and with a group, (7) preparing notes and outlines to support speaking activities, and (8) creating handouts, overheads, or computer based visual aids to communicate ideas.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	Week 1: Introduction, Weeks 2-5: Textbook and presentation preparation, Weeks 6-8: Project I Presentations, Weeks 9-12: Textbook and presentation preparation, Weeks 13-15: Project II Presentations		
教科書・参考書等 / Textbooks	Presenting Different Opinions (2003) Richard McMahon, Nan' un-do Co.		
成績評価の方法 / Evaluation	50% Class Work (30% Participation during Listening/Speaking Activities, 20% Textbook Activities/ Homework) 50% Presentation Projects (25% Project I, 25% Project II)		
学習上の助言 / Learning Advice	This course will help students develop the necessary skills needed for giving presentations in English.		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) / Course Title	Advanced English I (Media English) α / Advanced English I (Media English)		
担当教員(所属) / Instructor	スティーブ ドゥーリー(その他)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G240101
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 火 / Tue 5, 火 / Tue 6	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	スティーブ ドゥーリー(stevedooleyjapan@yahoo.co.uk)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	スティーブ ドゥーリー(講義終了後対応します。)		
授業の内容 / Course Description	Students interested in increasing their ability using and understanding vocabulary should take this course.		
授業の達成目標 / Course Goals	Students will be able to: (1) better understand authentic English materials such as newspapers, magazines, television, and radio, (2) use English internet websites to find information and answer questions about up-to-date topics, (3) write short reports to summarize ideas from media materials, (4) use spoken English to report and discuss information and opinions, (5) use critical thinking skills to develop a global perspective, and (6) continue independent study of media English outside of class.		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識 / Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目 / Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	Students will work in small groups during class activities that will include among other things: (1) reading sample texts and answering information and opinion questions about topics (2) studying key vocabulary to understand topics (3) searching the internet to research information connected to class topics (4) writing short reports based on internet research (5) sharing report findings in small group discussions.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	The location for this course will alternate between two different classrooms throughout the semester. One week students will meet in a computer lab and the next week they will meet in a regular classroom. Week 1: Introduction to the Course Week 2: Media: What is there? What do they offer? Week 3: TV Week 4: Print Week 5: The Internet Week 6: Commercials & Infomercials Week 7: Blogs Week 8: Social Networks Week 9: Self-Made Media Content Week 10: Influence of The Media Week 11: Online Abuse Week 12: Copyright Week 13: What's next? Week 14: Test: Group Presentations Week 15: Review of the Presentations		
教科書・参考書等 / Textbooks	Teacher will provide handouts for this course.		
成績評価の方法 / Evaluation	40% Class Work (20% Active Participation, 20% Homework) 50% Unit Reports (5% each for 10 Unit Reports) 10% Test		
学習上の助言 / Learning Advice	If you are interested in Media English, then take this class.		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) / Course Title	Advanced English I (Media English) β / Advanced English I (Media English)		
担当教員(所属) / Instructor	ガーランド ファツイクエ ローリズ ジュニア(その他)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G240102
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 火 / Tue 5, 火 / Tue 6	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	ガーランド ファツイクエ ローリズ ジュニア (godzillalovesjapan@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	ガーランド ファツイクエ ローリズ ジュニア(講義終了後対応します。)		
授業の内容 / Course Description	Students use authentic English materials from various media to practice reading, writing, speaking, and listening.		
授業の達成目標 / Course Goals	Students will be able to: (1) better understand authentic English materials such as newspapers, magazines, television, and radio, (2) use English internet websites to find information and answer questions about up-to-date topics, (3) write short reports to summarize ideas from media materials, (4) use spoken English to report and discuss information and opinions, (5) use critical thinking skills to develop a global perspective, and (6) continue independent study of media English outside of class.		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識 / Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目 / Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	Students will work individually and in small groups during class activities that will include among other things: (1) reading sample texts and answering information and opinion questions about topics, (2) studying key vocabulary to understand topics, (3) searching the internet to research information connected to class topics, (4) writing short reports based on internet research, (5) sharing report findings in small group discussions, and (6) using windows movie maker and templates.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	The location for this course will alternate between two different classrooms throughout the semester. One week students will meet in a computer lab and the next week they will meet in a regular classroom. Week 1: Introductions, What is Media? ; Week 2: Media Tools and Resources, Designing a Blog, Magazine or Newspaper; Week 3: Media Presentation; Week 4: TV and Radio, Writing a Short Skit; Week 5: Short Skit Presentation; Week 6: Windows Movie Maker, Using Still Shot Photography; Week 7: Interactive Video; Week 8: Media Presentation ; Week 9: University News, Interviewing and Reporting the News ; Week 10: News Presentation; Week 11: Writing a Movie Script; Week 12: Making Your Own Media; Week 13: Research, Graded; Week 14 & 15: Presentations		
教科書・参考書等 / Textbooks	Teacher will provide handouts for this course.		
成績評価の方法 / Evaluation	40% Class Work (20% Active Participation, 20% Homework) 50% Unit Reports (10% each for 5 Unit Reports) 10% Test		
学習上の助言 / Learning Advice	If you are interested in Media English and enjoy making your own media, then take this class.		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Advanced English I (TOEIC) α / Advanced English I (TOEIC)		
担当教員(所属) / Instructor	ピーター スミス(その他)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G240123
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 火 /Tue 5, 火/Tue 6	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	ピーター スミス(pfsmith@me.com)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	ピーター スミス(講義終了後対応します。)		
授業の内容 / Course Description	Students practice higher level listening and reading strategies for success when taking TOEIC.		
授業の達成目標 / Course Goals	Students will be able to: (1) understand and navigate the organization and format of the TOEIC, (2) build on English skills and knowledge they already have to understand complex listening and reading passages, (3) understand the spoken English of more difficult description, questioning, conversations, and short formal talks, (4) accumulate higher level vocabulary and grammar needed to understand short reading passages, (5) practice tips and strategies for dealing with the test item complexities, and (6) continue self-study after the course.		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識 / Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目 / Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	Students will work individually and together during class activities that will include among other things: (1) practicing incomplete sentence and word form exercises to study more complex grammar points often tested in TOEIC, (2) taking listening and reading mini practice tests that help students gather vocabulary and phrases for topics often used on TOEIC, (3) using CALL classroom technology to practice test taking skills, and (4) checking progress toward listening/reading goals.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	Week 1: Introduction to Course and Unit 1 (Daily Life), Week 2: Unit 2 (Places), Week 3: Unit 3 (People), Week 4: Unit 4 (Travel), Week 5: Unit 5 (Business), Week 6: Unit 6 (Office), Week 7: Unit 7 (Technology), Week 8: Unit 8 (Personnel), Week 9: Unit 9 (Management), Week 10: Unit 10 (Purchasing), Week 11: Unit 11 (Finances), Week 12: Unit 12 (Media), Week 13: Unit 13 (Entertainment), Week 14: Unit 14 (Health), Week 15: Unit 15 (Restaurants)		
教科書・参考書等 / Textbooks	Successful Keys to the TOEIC Test 1, Goal 500 (2010), Mizumoto and Stafford. Pearson Longman.		
成績評価の方法 / Evaluation	50% Class Work (20% Active Participation, 30% Homework) 50% Exams (20% First Test, 30% Second Test)		
学習上の助言 / Learning Advice	This course is for beginning level students who would like to gain practice with the TOEIC.		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) / Course Title	Advanced English I (TOEIC) β / Advanced English I (TOEIC)		
担当教員(所属) / Instructor	キース ロジャー(その他)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G240124
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 火 / Tue 5, 火 / Tue 6	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	キース ロジャー(keithjrodger@hotmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	キース ロジャー(講義終了後対応します。)		
授業の内容 / Course Description	Students practice basic listening and reading strategies for success when taking TOEIC.		
授業の達成目標 / Course Goals	Students will be able to: (1) understand and navigate the organization and format of the TOEIC, (2) build on English skills and knowledge they already have to understand typical listening and reading passages, (3) understand the spoken English of basic description, questioning, conversations, and short formal talks, (4) accumulate the basic vocabulary and grammar needed to understand short reading passages, (5) practice basic tips and strategies for dealing with the test item complexities, and (6) continue self-study after the course.		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識 / Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目 / Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	Students will work individually and together during class activities that will include among other things: (1) practicing incomplete sentence and word form exercises to study fundamental grammar points often tested in TOEIC, (2) taking listening and reading mini practice tests that help students gather vocabulary and phrases for topics often used on TOEIC, (3) using CALL classroom technology to practice test taking skills, and (4) checking progress toward listening/reading goals.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Chapter 1 Listening Practice, Chapter 2 Unit 1 Weeks 3-4 Chapter 1 Listening Practice, Chapter 2 Unit 2 & 3, Chapter 3 Reading Practice Weeks 5-6 Chapter 1 Listening Practice, Chapter 2 Unit 4 & 5, Chapter 3 Reading Practice Week 7 Review and First Test Weeks 8-9 Chapter 1 Listening Practice, Chapter 2 Unit 6 & 7, Chapter 3 Reading Practice Weeks 10-11 Chapter 1 Listening Practice, Chapter 2 Unit 8 & 9, Chapter 3 Reading Practice Weeks 12-13 Chapter 1 Listening Practice, Chapter 2 Unit 10 & 11, Chapter 3 Reading Practice Week 14 Chapter 2 Unit 12, Chapter 3 Reading Practice Week 15 Second Test		
教科書・参考書等 / Textbooks	Taking the TOEIC 1, Wendi Shin, 2012 Compass Publishing Japan.		
成績評価の方法 / Evaluation	50% Class Work (20% Active Participation, 30% Homework) 50% Exams (20% First Test, 30% Second Test)		
学習上の助言 / Learning Advice	This course is for beginning level students who would like to gain practice with the TOEIC.		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) ／Course Title	Advanced English I (TOEFL) α / Advanced English I (TOEFL)		
担当教員(所属)／Instructor	マイケル ワード(その他)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G240131
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 火 /Tue 5, 火/Tue 6	単位数／Credits	1単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	マイケル ワード(mfward1977@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	マイケル ワード(講義終了後対応します。)		
授業の内容／Course Description	Students practice strategies for success on the TOEFL iBT Speaking Section.		
授業の達成目標／Course Goals	Students will be able to: (1) understand and navigate the organization of the TOEFL iBT Speaking Section, (2) build on English skills and knowledge to speak coherently on their opinions, experiences, and on information they have read or heard, (3) respond to questions with, but not all of the ideas are fully developed, (4) be understood, but there are some mistakes in grammar or pronunciation, (5) develop organizational skills and vocabulary to understand and answer questions about readings, lectures, and conversations, (6) take effective notes about passages to answer test questions, and (7) continue self-study after the course.		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識／Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目／Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	Students will work individually and together during class speaking test activities that will include among other things: (1) describing experiences, (2) giving opinions and explaining reasons, (3) restating the opinions and examples of others, (4) explaining how examples from lectures support reading texts, (5) restating suggestions, (6) summarizing ideas they have heard, and (7) using CALL classroom technology to practice test taking skills.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 1, Announcement and Student Conversation Weeks 3-4 Unit 2, Reading Passage and Lecture Weeks 5-6 Unit 3, Student Conversation Week 7 Review and First Test Weeks 8-9 Unit 4, Lecture Weeks 10-11 Unit 5, Announcement and Student Conversation Weeks 12-13 Unit 6, Reading Passage and Lecture Week 14 Second Test Week 15 Review Second Test		
教科書・参考書等／Textbooks	Basic Skills for the TOEFL iBT, Speaking 1 (2008), Binns & Sedillo. Compass Publishing Japan.		
成績評価の方法／Evaluation	50% Class Work (20% Active Participation, 30% Homework) 50% Exams (20% First Test, 30% Second Test)		
学習上の助言／Learning Advice	Students interested in taking the Test of English as a Foreign Language (TOEFL) to enter a Western university should take this course for the speaking component.		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Advanced English I (TOEFL) β / Advanced English I (TOEFL)		
担当教員(所属) / Instructor	ジャック アレン スタワーズ(その他)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G240132
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 火 /Tue 5, 火/Tue 6	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	ジャック アレン スタワーズ(jjackallenn@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	ジャック アレン スタワーズ(講義終了後対応します。)		
授業の内容 / Course Description	Students practice strategies for success on the TOEFL iBT Listening Section.		
授業の達成目標 / Course Goals	Students will be able to: (1) understand and navigate the organization of the TOEFL iBT Listening Section, (2) build on English skills and knowledge they already have to understand typical listening passages, conversations, and lectures, (3) become familiar with the academic topics studied in English-speaking university settings, (4) accumulate the difficult vocabulary needed to listen to and understand academic English, (5) take effective notes about listening passages to answer test questions, and (6) continue self-study after the course.		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識 / Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目 / Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	Students will work individually and together during class activities that will include among other things: (1) listening to shorter conversations to preview key vocabulary (2) identifying main ideas, details, and use of vocabulary in context, (3) learning typical question types, (4) practicing with real TOEFL test texts, (5) using organization diagrams to take notes to narrow answer choices, (6) using CALL classroom technology to practice test taking skills, and (7) checking progress toward listening goals.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 1, Concept Definition Weeks 3-4 Unit 2, Venn Diagrams Weeks 5-6 Unit 3, Problem and Solution Week 7 Review and First Test Weeks 8-9 Unit 4, Categorizing Weeks 10-11 Unit 5, Ordering Weeks 12-13 Unit 6, Cause and Effect Week 14 Review and Second Test Week 15 Review Second Test		
教科書・参考書等 / Textbooks	Basic Skills for the TOEFL iBT, Listening (2008), Binns & Sedillos. Compass Publishing Japan.		
成績評価の方法 / Evaluation	50% Class Work (20% Active Participation, 30% Homework) 50% Exams (20% First Test, 30% Second Test)		
学習上の助言 / Learning Advice	Students interested in taking the Test of English as a Foreign Language (TOEFL) to enter a Western university should take this course for the listening component.		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	スペイン語基礎Ⅰ/Basic Spanish Ⅰ		
担当教員(所属)/Instructor	飯田 敏彦(国際学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G727212
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 5, 火/Tue 6	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	飯田 敏彦(toiida2222@yahoo.co.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	飯田 敏彦(授業の前後にコンタクトをとること)		
授業の内容/Course Description	動詞の使い方など、基本的な文法事項の説明が中心になりますが、毎回の授業内容と関連した会話文も読み解きます。さらには、テキストにある練習問題をやりながら、文法に関する理解を深めます。		
授業の達成目標/Course Goals	スペイン語の基礎文法の習得を通じて、やさしいスペイン語の発話能力を養うことを目的に授業を進めます。英語に比べれば複雑に見える動詞活用を学び、その用法を習得することが中心課題となります。さらには、文章の中で使われる名詞、形容詞、副詞など各種の単語について、それぞれの正しい使い方と正しい発音の仕方を学びます。動詞を文章の中心に据えて、その前後に色々な単語を配置し良い文章を組み立てられるようにしますので、地道に語彙力をつけていく必要があります。スペイン語の辞書の使い方にも慣れてもらいたいと思います。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	本授業は基礎科目ですから、すべての学部・学科の学生が履修できます。初めてスペイン語を履修する方、これまでスペイン語を学んだ経験のない方は、まず当科目を履修してください。		
前提とする知識/Prerequisites	英語と同じヨーロッパの言語ですから、スペイン語を学ぶためには、英語の知識が役に立ちます。英語の文法用語が全くわからないというのでは困りますが、英語があまり得意ではないという人でも、スペイン語圏の文化に興味・関心があれば、そんな「障害」はないに等しいでしょう。「情熱」こそが成功の鍵です。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	教室ではテキストの録音テープやCDを再生して動詞の活用、例文、練習問題の発音を聞き、かつ音読します。文法事項の説明を行いながら、テキストの例文を読み、各文章の文法的な成り立ちや意味を確認します。受講生には、単語や文章の意味を調べてもらったり、主語を替えて文章を変換してもらったりします。各レッスンの最後には、テキストにある聞き取り(穴埋め)・和訳の問題を解きながら、文法の理解を確かなものにします。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1. スペイン語とスペイン語の国々、授業の説明、アルファベットと発音、発音に注意すべきつづり、 2. 単語のアクセントの位置、名詞の性別、名詞の単数形と複数形、あいさつの言葉 3. 冠詞(不定冠詞と定冠詞)、疑問詞を含む疑問文 4. 主格人称代名詞、動詞 serの直説法現在の活用とその用法、国籍の名詞と職業名 5. 形容詞の位置と語尾変化、動詞estarの活用とその用法、ser, estar+形容詞 6. 動詞haberの存在文(hay+名詞)、基数詞(1~15) 7. 指示形容詞と指示代名詞、所有形容詞(弱勢形と強勢形) 8. 直説法現在の規則活用動詞(-ar動詞)、a+人(直接目的語)、基数詞(16~31) 9. 直説法現在の規則活用動詞(-er動詞と-ir動詞)、a+人(間接目的語)、時刻・日付・曜日 10. 直説法現在の不規則活用動詞〔その1〕 → 1人称単数形だけが不規則な動詞、目的格人称代名詞 11. 直説法現在の不規則活用動詞〔その2〕: 語根母音変化動詞 pensar, querer, volver, pedirなど、 12. 疑問詞を用いた疑問文、語根母音変化動詞の活用練習、主な動詞の用法の確認 13. 直説法現在の不規則活用動詞〔その3〕: tener, venir, decir, ir, oír → その活用と基本的な用法 14. gustar型動詞の用法、前置詞格人称代名詞、 15. 主な前置詞〔その1〕、主な不規則活用動詞の活用と用法の復習 		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書: 坂東省次・中川節子『スペイン語のABC』第三書房(定価2,000円+税)をテキストとして使用します。生協書籍部で購入してください。スペイン語の辞書: 『プログレッシブ・スペイン語辞典』小学館(定価3,500円)、あるいは『現代スペイン語辞典』白水社(定価4,200円)があれば、本科目の勉強レベルで困ることはありません。長く使える辞書としては、『クラウン西和辞典』三省堂(定価4,700円)、『プエルタ新スペイン語辞典』研究社(定価4,700円)、『西和中辞典(第2版)』小学館(定価6,930円)などをあげることができます。電子辞書に収められている辞書は、ほとんどが前掲の白水社のものです。参考書については、必要に応じて教室で指示します。		
成績評価の方法/Evaluation	最後の授業日に行う期末試験(50%)、2回の小テスト(50%)の結果に基づいて評価します。欠席回数が授業回数の3分の1を超えるようだと、十分な語学力を身につけることは望めませんし、成績にも影響が出ますので、きちんと出席してください。評価方法の詳細は、初回授業の際に説明します。		
学習上の助言/Learning Advice	予習・復習を日々心がけ、ただ「覚えた」というのではなく、「親しみ」運用力をつけることが大切です。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	中国語基礎Ⅰ / Basic Chinese Ⅰ		
担当教員(所属) / Instructor	景 慧(国際学部国際文化学科)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G740156
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 火 /Tue 5, 火/Tue 6	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	景 慧(hj13415@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	景 慧(事前の申し込みで時間を決める。)		
授業の内容 / Course Description	初心者を対象に中国語の発音からスタートし、やさしい挨拶と日常会話、また、初歩的な文法事項などを教えます。		
授業の達成目標 / Course Goals	中国語を学ぶ第一歩としての本授業は、前期15回の学習を通して、中国語の発音が正しく出来ること、簡単な会話や最も初歩的な文法を理解し応用できること、さらに、今の中国人と中国社会全般への関心と理解を持ち、中国に関する知識と教養を有することを目標とします。		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	大学に入学する以前、学んだ経験のない中国語の学習を通じ、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」ことについての基礎的能力を養うとともに、東アジアや中国の文化への興味を喚起し、理解を深め、地域的な視野を踏まえた幅広く深い教養と豊かな人間性を醸成します。また、語学学習を通じた自律的な大学での学びの基礎づくりを行い、現代社会に必要なリテラシーを身につけさせます。		
前提とする知識 / Prerequisites	特にありません。		
関連科目 / Related Courses	特にありません。		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	毎回の最初の数分間はやさしい中国語で受講者の皆さんに話しかけます。分からなくてもいいですので、とにかく中国語のシャワーを浴びてもらいます。それが終わった後、発音と単語の学習、基礎文法の説明と応用などを分かり易く教えます。指導に当たっては、受講者各自の個性と理解の度合いに気を配りながら、やさしく丹念に導きます。映像教材も使いますし、中国映画の鑑賞も一回程度予定を組みます。テキストにそって進めますが、状況次第で変更することがあります。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	<p>第一回 中国と中国語について</p> <p>第二回 中国語の発音：声調と単母音</p> <p>第三回 中国語の発音：複合母音</p> <p>第四回 中国語の発音：子音</p> <p>第五回 発音の総合復習と挨拶用語の学習</p> <p>第六回 指示詞と「是」</p> <p>第七回 「是」の実践応用(会話形式)</p> <p>第八回 形容詞述語文</p> <p>第九回 数字量詞</p> <p>第十回 存現の表現：「有」と「在」</p> <p>第十一回 時刻と時量連動文</p> <p>第十二回 ○1V+了○2了2</p> <p>第十三回 V+了1+・・・+了2</p> <p>第十四回 了の復習と応用</p> <p>第十五回 学習したものの纏めと総合練習</p>		
教科書・参考書等 / Textbooks	『極める中国語(初級編)』(同学社)		
成績評価の方法 / Evaluation	定期試験80%、平常の単語テスト20%。		
学習上の助言 / Learning Advice	語学の勉強は繰り返しが大切です。よく復習しテキストに付いているCDを聞くように努力してください。 国際学部の受講者は「中国語基礎Ⅲ」と並行してとるようにしてください。		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	タイ語基礎Ⅰ/Basic Thai Ⅰ		
担当教員(所属)/Instructor	泉田 スジнда(国際学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G750119
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 5, 火/Tue 6	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	泉田 スジнда(電話: 090-4050-7929 e-mail: sujindai@hotmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	泉田 スジнда(水曜日の12時から12時45分 非常勤控え室)		
授業の内容/Course Description	タイ語を初めて学ぶ学生を対象にタイ語の基礎知識を学びます。具体的には、子音、母音、タイ語の特徴の声調、単語の構成と発音規則を習得するとともに、簡単な挨拶や自己紹介の表現を学びます。また、タイの生活、文化、伝統、経済、歴史を紹介します。		
授業の達成目標/Course Goals	タイ語を初学習者が、タイ語の基本である42子音、母音(短母音、長母音、二重母音)、声調(4の声調と5声調音)に関して「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4点をマスターできることをめざします。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	この授業は、基盤教育の教育目標1「現代社会に必要なリテラシー、幅広く深い教養と豊かな人間性を身につけるための教養教育を行います」に対応します。		
前提とする知識/Prerequisites	特にありません。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	タイ語の発音をマスターするため、発音練習を繰り返すとともに、教師との一対一の指導を通じて正確な発音を取得できるように授業を進めていきます。また書く力をつけるために、テキストの練習問題を繰り返すことも必要です。毎回宿題があります。また、いくつかの小テスト(Listening、書く、読む)を行う予定です。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	1. タイとタイ語について 2. 1-14番目の子音の発音・書き方・子音の種類(低子音、中子音、高子音) 一言の挨拶(1) 3. 15-29番目の子音の発音・書き方・子音の種類(低子音、中子音、高子音) 一言の挨拶(2) 4. 30-42番目の子音の発音・書き方・子音の種類(低子音、中子音、高子音) 一言の挨拶(3) 5. 基礎の短母音の文字、発音、書き方 一言の挨拶(4) 6. 基礎の長母音の文字、発音、書き方 一言の挨拶(5) 7. 基礎の二重母音の文字、発音、書き方 一言の自己紹介(6) 8. タイ語の声調、声調とは、声調記号 一言の自己紹介(7) 9. 中子音と声調のきまり 10. 高子音と声調のきまり 一言の自己紹介(8) 11. 低子音と声調のきまり 12. 末子音の単語 文字と発音 一言の自己紹介(9) 13. 末子音と母音の変化 14. (平音節と促音節)、 一言の自己紹介(1) 15. 前期の復習とまとめ		
教科書・参考書等/Textbooks	授業中にプリントを配布。また教材「タイ文読み書きの基礎」(ウィライ・トーモラクン)を参考書として使用する。		
成績評価の方法/Evaluation	授業への参加状況 15%、宿題の達成度 15%、小テスト 15%、および最終期末試験 55%		
学習上の助言/Learning Advice	新しい世界に挑戦する気持ちで勉強して下さい。今まで聞いたこともなく、alphabetでもなく、漢字でもなく、これまで発音したことも見たこともない言葉ですから、驚くかもしれませんが、とても刺激になると思います。またタイ語の発音は難しいといわれますが、是非、この授業を通して、自分の音感を磨いてください。タイ語の発音をマスターできればどんな言葉の発音にも対応できるでしょう。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	人間と社会/Human and Society		
担当教員(所属)/Instructor	末廣 啓子(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G870001
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 5, 火/Tue 6	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	末廣 啓子(suehirok@cc.utsunomiya-u.ac.jp 事前にメールで、またはキャリアセンターへ連絡してください)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	末廣 啓子(前期 水 16:30-17:30 後期 月 14:30-15:30)		
授業の内容/Course Description	経済・社会の変化に伴って、働き方・働かせ方が大きく変化している。その中で生涯を通じてどのようにどんな職業と関わるのか、どう生きるのかを考え、主体的に選択していくこととなる。そのためにはまず、自分が船出していくこの社会や経済、産業、職業など働くことに関する現実を正しく理解することがとても大切である。この授業はこうした働くことに関するさまざまなテーマについて最新の情報により、その実態と課題を正しく理解するとともに、視野を広げ、自分の進路について考えるきっかけを得ることができる基礎的なキャリア教育科目である。		
授業の達成目標/Course Goals	自分がどんなキャリアデザインを描くのか、どんな職業選択をするのか、そのためにはどんな大学生生活を送ったらよいかを考える材料ときっかけとして、まず、大きく変容している経済・社会、産業そして、企業経営・人事の方針、働き方の多様化、職業の実態と問題点、働く者を守る法制度などを正しく理解する。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	変化する社会の中で未来を切り開く知力と行動力を持ち、社会的・職業的に自立して新しい時代に自分らしく活躍するために必要な、基盤となる姿勢と能力を育成する場を提供する。		
前提とする知識/Prerequisites	特になし。		
関連科目/Related Courses	特になし。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	経済、産業、企業、労働、雇用等に関する様々なテーマについて、講義形式で最新の情報を提供して解説するほか、企業人等の外部講師による講義、インタビュー、受講生同士で意見や情報交換をするグループワークなども交え多面的に展開する。全学部・全学年の人と共に学び、話し合うことができることが大きな特徴である。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>1 イントロダクション(授業のねらい、授業計画等)</p> <p>2 いま、はたらくとは何か(現実を認識し、働くことの意味を問い直す)</p> <p>①若者の雇用・失業の現実とその対応(高水準の完全失業率・離職率、ニート・フリーター問題を考える、など)</p> <p>②産業・職業の動向、企業の経営・人事戦略の変化と企業の求める人材、働き方の多様化(「終身雇用」の変化、就業・雇用形態の多様化、など)</p> <p>③働く人の側の変化(高齢化・少子化、女性の進出、など)</p> <p>④今、会社はどうなっているか、若者へ何を期待するか(企業の人事担当者などのゲストスピーカーを予定)</p> <p>⑤ベンチャー企業等新規創業の役割と実態(ベンチャー企業等新規創業の役割と実態、起業家精神育成教育(小・中・高校生向けプログラム)、創業支援策など)</p> <p>⑥男女の雇用機会均等、仕事と生活の調和に向けての取り組み</p> <p>⑦働くときに必要な労働関係の法制度・政策(働く者を保護する法制度や仕組みと実態、労働組合の活動、様々な雇用対策)</p> <p>3. 職業とは、働くとは、キャリアとは (自分らしい生き方、キャリア形成に向けて)</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	参考書 「キャリアのみかた一図で見る110のポイント」 阿部正浩他 有斐閣 その他、適宜参考資料などを配布する		
成績評価の方法/Evaluation	出席日数(30%)、授業への参加状況(期中レポートを含む)及び期末レポート		
学習上の助言/Learning Advice	皆さんが卒業して出ていく社会や経済は様々に変化しています。それに目を向け好奇心と意欲を持って参加してください。1,2年生からの履修をお勧めしますが、就職活動に入る時期の学生にも知ってほしい基本的な知識です。		
キーワード/Keywords	働く、職業、キャリア、企業経営、多様な働き方		
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	日本語アカデミック・リーディングⅠ/Academic Japanese for Reading I		
担当教員(所属)/Instructor	石井 怜子(その他), 未設定(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G896053
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 5, 火/Tue 6	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	石井 怜子(GCG01702@nifty.ne.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	石井 怜子(授業後に対応します。)		
授業の内容/Course Description	本授業では、学部1年次の留学生を対象とした上級レベルの日本語学習として論説文を読み解く力を養います。また、関連する語彙や文法項目についても取り上げます。		
授業の達成目標/Course Goals	大学学部レベルでの勉学に必要な学術的な文章が読めるようになることを目指します。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	基盤教育留学生日本語科目の達成目標に対応します。		
前提とする知識/Prerequisites	上級レベル(日本語能力試験N1合格)程度の日本語能力が必要です。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<ul style="list-style-type: none"> ・前の週までに次週の課題の文章を渡すので、単語調べなどの予習をしてくること。 ・授業では、正確な理解の上立って、相互に討論しながら内容を解釈します。 ・必要に応じ、その日の授業内容に基づいた課題を出します。 ・自分の読んだ文章を他の人に説明する活動を取り入れます。 ・必要に応じ、小テストを行います。 		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回 授業概要説明 日本語能力チェック 第2回 正確に読む(1) 定義 第3回 正確に読む(2) 歴史的経過と因果 第4回 正確に読む(3) 制度と仕組み 第5回 正確に読む(4) 理論 第6回 正確に読む(5) 複雑な理論 第7回 正確に読む(6) 調査の方法と結果 第8回 正確に読む(7) 実験の方法と結果 第9回 文章の内容を説明する(1) 準備(内容理解) 第10回 文章の内容を説明する(2) 準備(発表のアウトライン作成) 第11回 文章の内容を説明する(3) 発表 第12回 正確に読む(8) 根拠と結論 第13回 批判的に読む(1) 批判的に読むとは 第14回 批判的に読む(2) 疑問点を見つける 第15回 批判的に読む(3) 内容を評価する		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書・教材は、授業において指示します。		
成績評価の方法/Evaluation	授業への取り組み(40%)、発表及び課題と小テスト(20%)、期末試験(40%)の結果を総合して評価します。		
学習上の助言/Learning Advice	目的を持って文章を読み、それを通して学術的な文章を読むための技術を身につけてください。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I A 地域①(β)/Integrated English I A		
担当教員(所属)/Instructor	柿谷 命(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G200500
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8, 金 /Fri 7, 金/Fri 8	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	柿谷 命(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容/Course Description	<p>Classes will be conducted in English, twice a week by the same instructor to the same students. Students are always expected to use English in class. Although both sections are aimed at developing integrated skills, one is mainly focused on reading skills, while the other is focused on listening and speaking skills using authentic language from movies.</p> <p>In the first stage of the class, students will acquire the study skills necessary for success in English studies. Students will be provided guidelines for efficient use of a dictionary, reading and using English handwriting, understanding phonetic transcriptions, taking notes, etc.</p> <p>In the reading section, students will develop the skills necessary to use professional journals, books, websites, and other media in order to conduct academic research after advancing to their major area.</p> <p>In the section using movies, students will develop oral communication skills. They will also be introduced to various foreign cultures through these movies in order to promote intercultural understanding.</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>Learners will be able to: (1) identify a full range of expressions, unspecified facts and inferred meanings, (2) recognize a wide range of explicit and some less implicit appeals for repetition and clarification, (3) speak the target language relatively fluently with a substantial vocabulary and a variety of common idiomatic language expressions, (4) use a variety of sentence structures with a few grammar errors, although communication breakdown may occasionally occur, (5) comprehend authentic multipurpose texts in a variety of styles, (6) search for pieces of explicit and some less implicit information through background knowledge, (7) paraphrase and evaluate the content of a text.</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>This required freshman course is taught twice a week by a Japanese teacher with a background in TESOL. It is taught in conjunction with Integrated English B courses that focus on improving speaking, listening, and writing skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.</p>		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>In the reading section, students will work on various classroom activities and drills in the textbook. In the movie section, students will learn English colloquial expressions, slang, jokes, taboos, body languages, etc. by cloze dictation, shadowing, pair work, role play, etc. Students will also use scenarios and captions to improve reading and writing abilities.</p> <p>Students will be required to work on many assignments outside of class. To develop reading skills, students will be required to complete a number of outside assignments. To develop listening skills, students are to use CALL system in the DVD Laboratories in the library.</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>Weeks 1-2 Introduction to Course and Study Skills Weeks 3-4 Reading: Unit 1 Study Skills Weeks 5-6 Reading: Unit 2 Study Skills Weeks 7-8 Reading: Unit 3 Movie: Lesson 1 (The San Diego Zoo) First Test Weeks 9-10 Reading: Unit 4 Movie: Lesson 2 (Visitation Rights) Weeks 11-12 Reading: Unit 5 Movie: Lesson 3 (Transformation) Weeks 13-14 Reading: Unit 6 Movie: Lesson 4 (Sprit Personality) Second Test Week 15 Second Test Review</p>		

教科書・参考書等／Textbooks	<p>1) Textbook: Pathways—Opening the Doors to EPUU (2016), Seibido 2) Textbook: Eigo no Tadashi Hatsuson no Shikata (1994), Keinan Iwamura, Kenkyusha 3) Textbook: Active Skills for Reading: Book 3 (3rd Edition), Neil J. Anderson, Thomson Heinle 4) Textbook: MRS. DOUBTFIRE, Screenplay Corporation</p>
成績評価の方法／Evaluation	<p>70% Class Work (Active Participation, Homework/Assignments, First Test, Second Test) 30% Common Final Exam</p>
学習上の助言／Learning Advice	<p>It is important to manage your own level of English skills: Set your personal improvement goals, try to work toward those goals as hard as possible, and always monitor your progress.</p> <p>クラス変更をする場合がありますので、購入したテキストには、指示があるまで（名前を含めて）書き込みを一切しないでください。</p>
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I A 地域①(γ)/Integrated English I A		
担当教員(所属)/Instructor	蜂須賀 美帆(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G200513
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8, 金 /Fri 7, 金/Fri 8	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	蜂須賀 美帆(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容/Course Description	<p>Classes will be conducted in English, twice a week by the same instructor to the same students. Students are always expected to use English in class. Although both sections are aimed at developing integrated skills, one is mainly focused on reading skills, while the other is focused on listening and speaking skills using authentic language from movies.</p> <p>In the first stage of the class, students will acquire the study skills necessary for success in English studies. Students will be provided guidelines for efficient use of a dictionary, reading and using English handwriting, understanding phonetic transcriptions, taking notes, etc.</p> <p>In the reading section, students will develop the skills necessary to use professional journals, books, websites, and other media in order to conduct academic research after advancing to their major area.</p> <p>In the section using movies, students will develop oral communication skills. They will also be introduced to various foreign cultures through these movies in order to promote intercultural understanding.</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>Learners will be able to: (1) identify a full range of expressions, specific facts and inferred meanings, (2) recognize a range of explicit and some less appeals for repetition and clarification, (3) communicate with an extensive everyday vocabulary and a variety of common idiomatic language, (4) use a variety of sentence structures with some grammar errors, although communication breakdown may occasionally occur, (5) comprehend the main ideas and all important details of long and complicated texts without dictionary use, (6) guess the meaning of unknown words and phrases from the context despite some difficulties, (7) summarize and draw conclusions of a text.</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>This required freshman course is taught twice a week by a Japanese teacher with a background in TESOL. It is taught in conjunction with Integrated English B courses that focus on improving speaking, listening, and writing skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.</p>		
前提とする知識/Prerequisites	High school level Eenglish		
関連科目/Related Courses	High school level Eenglish		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>In the reading section, students will work on various classroom activities and drills in the textbook. In the movie section, students will learn English colloquial expressions, slang, jokes, taboos, body languages, etc. by cloze dictation, shadowing, pair work, role play, etc. Students will also use scenarios and captions to improve reading and writing abilities.</p> <p>Students will be required to work on many assignments outside of class. To develop reading skills, students will be required to complete a number of outside assignments. To develop listening skills, students are to use CALL system in the DVD Laboratories in the library.</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>Weeks 1-2 Introduction to Course and Study Skills Weeks 3-4 Reading: Unit 1 Study Skills Weeks 5-6 Reading: Unit 2 Study Skills Weeks 7-8 Reading: Unit 3 Movie: Lesson 1 (The San Diego Zoo) First Test Weeks 9-10 Reading: Unit 4 Movie: Lesson 2 (Visitation Rights) Weeks 11-12 Reading: Unit 5 Movie: Lesson 3 (Transformation) Weeks 13-14 Reading: Unit 6 Movie: Lesson 4 (Sprit Personality) Second TEST Week 15 Second Test Review</p>		

教科書・参考書等／Textbooks	1) Textbook: Pathways—Opening the Doors to EPUU (2016), Seibido 2) Textbook: Eigo no Tadashi Hatsuon no Shikata (1994), Keinan Iwamura, Kenkyusha 3) Textbook: Active Skills for Reading: Book 2 (3rd Edition), Neil J. Anderson, Thomson Heinle 4) Textbook: MRS. DOUBTFIRE, Screenplay Corporation
成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (Active Participation, Homework/Assignments, First Test, Second Test) 30% Common Final Exam
学習上の助言／Learning Advice	It is important to manage your own level of English skills: Set your personal improvement goals, try to work toward those goals as hard as possible, and always monitor your progress. クラス変更をする場合がありますので、購入したテキストには、指示があるまで（名前を含めて）書き込みを一切しないでください。
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I A 地域①(δ)/Integrated English I A		
担当教員(所属)/Instructor	青野 香央理(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G200526
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8, 金 /Fri 7, 金/Fri 8	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	青野 香央理(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容/Course Description	<p>Classes will be conducted in English, twice a week by the same instructor to the same students. Students are always expected to use English in class. Although both sections are aimed at developing integrated skills, one is mainly focused on reading skills, while the other is focused on listening and speaking skills using authentic language from movies.</p> <p>In the first stage of the class, students will acquire the study skills necessary for success in English studies. Students will be provided guidelines for efficient use of a dictionary, reading and using English handwriting, understanding phonetic transcriptions, taking notes, etc.</p> <p>In the reading section, students will develop the skills necessary to use professional journals, books, websites, and other media in order to conduct academic research after advancing to their major area.</p> <p>In the section using movies, students will develop oral communication skills. They will also be introduced to various foreign cultures through these movies in order to promote intercultural understanding.</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>Learners will be able to: (1) identify a broader range of common expressions, specific facts and opinions about situations, (2) recognize a full range of explicit appeals for repetition and clarification, (3) communicate with a range of everyday vocabulary and a limited number of idiomatic language, (4) use a variety of structures with some grammar errors, although inaccuracy may impede communication at times, (5) comprehend the main ideas and some important details of short and simple texts without dictionary use, (6) identify the meaning of a number of familiar words in the texts, (7) locate some specific information.</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>This required freshman course is taught twice a week by a Japanese teacher with a background in TESOL. It is taught in conjunction with Integrated English B courses that focus on improving speaking, listening, and writing skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.</p>		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>In the reading section, students will work on various classroom activities and drills in the textbook. In the movie section, students will learn English colloquial expressions, slang, jokes, taboos, body languages, etc. by cloze dictation, shadowing, pair work, role play, etc. Students will also use scenarios and captions to improve reading and writing abilities.</p> <p>Students will be required to work on many assignments outside of class. To develop reading skills, students will be required to complete a number of outside assignments. To develop listening skills, students are to use CALL system in the DVD Laboratories in the library.</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>Weeks 1-2 Introduction to Course and Study Skills Weeks 3-4 Reading: Unit 1 Study Skills Weeks 5-6 Reading: Unit 2 Study Skills Weeks 7-8 Reading: Unit 3 Movie: Lesson 1 (Serving Society) First TEST Weeks 9-10 Reading: Unit 4 Movie: Lesson 2 (The Man) Weeks 11-12 Reading: Unit 5 Movie: Lesson 3 (Required Class Project) Weeks 13-14 Reading: Unit 6 Movie: Lesson 4 (Creating Musical Fusion) Second TEST Week 15 Second Test Review</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	<p>1) Textbook: Pathways—Opening the Doors to EPUU (2016), Seibido 2) Textbook: Eigo no Tadashi Hatsuon no Shikata (1994), Keinan Iwamura, Kenkyusha 3) Textbook: Active Skills for Reading: Book 1 (3rd Edition), Neil J. Anderson, Thomson Heinle 4) Textbook: School of Rock, Screenplay Corporation</p>		

成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (Active Participation, Homework/Assignments, First Test, Second Test) 30% Common Final Exam
学習上の助言／Learning Advice	It is important to manage your own level of English skills: Set your personal improvement goals, try to work toward those goals as hard as possible, and always monitor your progress. クラス変更をする場合がありますので、購入したテキストには、指示があるまで（名前を含めて）書き込みを一切しないでください。
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I A 地域①(ε)/Integrated English I A		
担当教員(所属)/Instructor	佐藤 研仁(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G200539
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8, 金 /Fri 7, 金/Fri 8	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	佐藤 研仁(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容/Course Description	<p>Classes will be conducted in English, twice a week by the same instructor to the same students. Students are always expected to use English in class. Although both sections are aimed at developing integrated skills, one is mainly focused on reading skills, while the other is focused on listening and speaking skills using authentic language from movies.</p> <p>In the first stage of the class, students will acquire the study skills necessary for success in English studies. Students will be provided guidelines for efficient use of a dictionary, reading and using English handwriting, understanding phonetic transcriptions, taking notes, etc.</p> <p>In the reading section, students will develop the skills necessary to use professional journals, books, websites, and other media in order to conduct academic research after advancing to their major area.</p> <p>In the section using movies, students will develop oral communication skills. They will also be introduced to various foreign cultures through these movies in order to promote intercultural understanding.</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>Learners will be able to: (1) identify a limited range of common expressions and specific facts, (2) recognize a few simple explicit appeals for repetition and clarification, (3) communicate haltingly with a limited range of common everyday vocabulary, (4) use a variety of simple grammatical structures with some errors, although inaccuracy may impede communication, (5) comprehend the main ideas without dictionary use, (6) identify the meaning of a limited number of familiar vocabulary in the texts, (7) locate a piece of specific information.</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>This required freshman course is taught twice a week by a Japanese teacher with a background in TESOL. It is taught in conjunction with Integrated English B courses that focus on improving speaking, listening, and writing skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.</p>		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>In the reading section, students will work on various classroom activities and drills in the textbook. In the movie section, students will learn English colloquial expressions, slang, jokes, taboos, body languages, etc. by cloze dictation, shadowing, pair work, role play, etc. Students will also use scenarios and captions to improve reading and writing abilities.</p> <p>Students will be required to work on many assignments outside of class. To develop reading skills, students will be required to complete a number of outside assignments. To develop listening skills, students are to use CALL system in the DVD Laboratories in the library.</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>Weeks 1-2 Introduction to Course and Study Skills Weeks 3-4 Reading: Unit 1 Study Skills Weeks 5-6 Reading: Unit 2 Study Skills Weeks 7-8 Reading: Unit 3 Movie: Lesson 1 (Serving Society) First TEST Weeks 9-10 Reading: Unit 4 Movie: Lesson 2 (The Man) Weeks 11-12 Reading: Unit 5 Movie: Lesson 3 (Required Class Project) Weeks 13-14 Reading: Unit 6 Movie: Lesson 4 (Creating Musical Fusion) Second TEST Week 15 Second Test Review</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	<p>1) Textbook: Pathways—Opening the Doors to EPUU (2016), Seibido 2) Textbook: Eigo no Tadashi Hatsuon no Shikata (1994), Keinan Iwamura, Kenkyusha 3) Textbook: Active Skills for Reading: Intro (3rd Edition), Neil J. Anderson, Thomson Heinle 4) Textbook: School of Rock, Screenplay Corporation</p>		

成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (Active Participation, Homework/Assignments, First Test, Second Test) 30% Common Final Exam
学習上の助言／Learning Advice	It is important to manage your own level of English skills: Set your personal improvement goals, try to work toward those goals as hard as possible, and always monitor your progress. クラス変更をする場合がありますので、購入したテキストには、指示があるまで（名前を含めて）書き込みを一切しないでください。
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I B 農①・農②(β)/Integrated English I B		
担当教員(所属)/Instructor	マイケル ワード(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G211000
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	マイケル ワード(mforward1977@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	マイケル ワード(講義終了後対応します。)		
授業の内容/Course Description	Students focus on the strategies and skills of speaking, listening, and writing in English.		
授業の達成目標/Course Goals	Students will be able to:(1) use a full range of explicit and implicit communication strategies (questioning, repetition, clarification, etc.) to improve speaking fluency and listening abilities,(2) discover unspecified facts and inferred meaning as they develop their own opinions about topics and situations, (3) speak the target language fluently by identifying and using an extensive range of real world vocabulary and commonly used idiomatic expressions, (4) use a full range of structures with limited grammar errors that rarely affect communication, (5) recognize and practice native-like pronunciation patterns to make communication clear, and (6) develop and organize written language using complex structures to support and prepare for functional communication.		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	This required freshman course is taught once a week by a native English-speaking teacher. It is taught in conjunction with Integrated English A courses that focus on improving speaking, listening, and reading skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work together in pairs and small groups during class activities to improve communication fluency. Activities will include among other things: (1) listening to authentic conversations texts, and presentations to develop in-depth ideas and opinions about topics, (2) asking and answering questions to practice discussion skills, (3) keeping a vocabulary notebook, (4) grammar and pronunciation practice, and (5) writing paragraphs and texts to prepare for class activities.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 0, Weeks 3-4 Units 1-2, Weeks 5-6 Units 3 and Review, Weeks 7-8 1st Test and Test Review, Weeks 9-10 Units 4-5, Weeks 11-12 Units 6-7, Weeks 13-14 Review and 2nd Test, Week 15 2nd Test Review		
教科書・参考書等/Textbooks	Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills , Pre Intermediate Second Edition Graham-Marr, A., et. al., ABAX Ltd. Tokyo.		
成績評価の方法/Evaluation	70% Class Work (15% Participation, 15% Homework, 15% 1st Test, 15% 2nd Test, 5% Clinic 5% EPUU Times Quiz) 30% Common Final Exam		
学習上の助言/Learning Advice	This is a great opportunity for you to improve your communication using English and share your ideas with other students. It' s also a great chance to communicate with native English speaking teachers. Enjoy speaking English and succeed in class!		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I B 農①・農②(γ)/Integrated English I B		
担当教員(所属)/Instructor	スティーブ ドゥーリー(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G211013
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	スティーブ ドゥーリー(stevedooleyjapan@yahoo.co.uk)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	スティーブ ドゥーリー(講義終了後対応します。)		
授業の内容/Course Description	Students focus on the strategies and skills of speaking, listening, and writing in English.		
授業の達成目標/Course Goals	Students will be able to: (1) use a full range of explicit and implicit communication strategies (questioning, repetition, clarification, etc.) to improve speaking fluency and listening abilities, (2) discover unspecified facts and inferred meaning as they develop their own opinions about topics and situations, (3) speak the target language relatively fluently by identifying and using a substantial range of real world vocabulary and a variety commonly used idiomatic expressions, (4) use a variety of structures with few grammar errors, although communication breakdowns may occasionally occur, (5) recognize and practice native-like pronunciation patterns to make communication clear, and (6) develop and organize written language using a wide variety of structures to support and prepare for functional communication.		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	This required freshman course is taught once a week by a native English-speaking teacher. It is taught in conjunction with Integrated English A courses that focus on improving speaking, listening, and reading skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work together in pairs and small groups during class activities to improve communication fluency. Activities will include among other things:(1) asking and answering questions, (2) writing a vocabulary notebook, (3) grammar and pronunciation practice, (4) listening to and practicing real conversations and communication about topics, and (5) writing paragraphs and texts to prepare for class activities.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 0, Weeks 3-4 Units 1-2, Weeks 5-6 Units 3 and Review, Weeks 7-8 1st Test and Test Review, Weeks 9-10 Units 4-5, Weeks 11-12 Units 6-7, Weeks 13-14 Review and 2nd Test, Week 15 2nd Test Review		
教科書・参考書等/Textbooks	Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills , High Beginner Second Edition Graham-Marr, A., et. al., ABAX Ltd. Tokyo.		
成績評価の方法/Evaluation	70% Class Work (15% Participation, 15% Homework, 15% 1st Test, 15% 2nd Test, 5% Clinic 5% EPUU Times Quiz) 30% Common Final Exam		
学習上の助言/Learning Advice	This is a great opportunity for you to improve your communication using English and share your ideas with other students. It' s also a great chance to communicate with native English speaking teachers. Enjoy speaking English and succeed in class!		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I B 農①・農②(δ)/Integrated English I B		
担当教員(所属)/Instructor	ルーク ウィン(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G211026
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	ルーク ウィン(lukebwinn@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	ルーク ウィン(講義終了後対応します。)		
授業の内容/Course Description	Students focus on the strategies and skills of speaking, listening, and writing in English.		
授業の達成目標/Course Goals	Students will be able to:(1) use a full range of explicit and implicit communication strategies (questioning, repetition, clarification, etc.) to improve speaking fluency and listening abilities,(2) discover unspecified facts and inferred meaning as they develop their own opinions about topics and situations,(3) speak the target language fluently by identifying and using an extensive range of real world vocabulary and commonly used idiomatic expressions, (4) use a full range of structures with limited grammar errors that rarely affect communication, (5) recognize and practice native-like pronunciation patterns to make communication clear, and (6) develop and organize written language using complex structures to support and prepare for functional communication.		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	This required freshman course is taught once a week by a native English-speaking teacher. It is taught in conjunction with Integrated English A courses that focus on improving speaking, listening, and reading skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work together in pairs and small groups during class activities to improve communication fluency. Activities will include among other things:(1) asking and answering questions, (2) writing a vocabulary notebook, (3) grammar and pronunciation practice, (4) listening to and practicing real conversations and communication about topics, and (5) writing paragraphs and texts to prepare for class activities.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 0, Weeks 3-4 Units 1-2, Weeks 5-6 Units 3 and Review, Weeks 7-8 1st Test and Test Review, Weeks 9-10 Units 4-5, Weeks 11-12 Units 6-7, Weeks 13-14 Review and 2nd Test, Week 15 2nd Test Review		
教科書・参考書等/Textbooks	Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills , High Beginner Second Edition Graham-Marr, A., et. al., ABAX Ltd. Tokyo.		
成績評価の方法/Evaluation	70% Class Work (15% Participation, 15% Homework, 15% 1st Test, 15% 2nd Test, 5% Clinic 5% EPUU Times Quiz) 30% Common Final Exam		
学習上の助言/Learning Advice	This is a great opportunity for you to improve your communication using English and share your ideas with other students. It's also a great chance to communicate with native English speaking teachers. Enjoy speaking English and succeed in class!		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) ／Course Title	Integrated English I B 農①・農②(ε)／Integrated English I B		
担当教員(所属)／Instructor	ジャック アレン スタワーズ(その他)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G211039
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数／Credits	1単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	ジャック アレン スタワーズ(jjackallenn@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	ジャック アレン スタワーズ(講義終了後対応します。)		
授業の内容／Course Description	Students focus on the strategies and skills of speaking, listening, and writing in English.		
授業の達成目標／Course Goals	Students will be able to:(1) use a full range of explicit and implicit communication strategies (questioning, repetition, clarification, etc.) to improve speaking fluency and listening abilities,(2) discover unspecified facts and inferred meaning as they develop their own opinions about topics and situations, (3) speak the target language fluently by identifying and using an extensive range of real world vocabulary and commonly used idiomatic expressions, (4) use a full range of structures with limited grammar errors that rarely affect communication, (5) recognize and practice native-like pronunciation patterns to make communication clear, and (6) develop and organize written language using complex structures to support and prepare for functional communication.		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	This required freshman course is taught once a week by a native English-speaking teacher. It is taught in conjunction with Integrated English A courses that focus on improving speaking, listening, and reading skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.		
前提とする知識／Prerequisites	High school level English		
関連科目／Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work together in pairs and small groups during class activities to improve communication fluency. Activities will include among other things: (1) listening to authentic conversations texts, and presentations to develop in-depth ideas and opinions about topics, (2) asking and answering questions to practice discussion skills, (3) keeping a vocabulary notebook, (4) grammar and pronunciation practice, and (5) writing paragraphs and texts to prepare for class activities.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 0, Weeks 3-4 Units 1-2, Weeks 5-6 Units 3 and Review, Weeks 7-8 1st Test and Test Review, Weeks 9-10 Units 4-5, Weeks 11-12 Units 6-7, Weeks 13-14 Review and 2nd Test, Week 15 2nd Test Review		
教科書・参考書等／Textbooks	Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills , Starter Second Edition, Graham-Marr, A., et. al., ABAX Ltd. Tokyo.		
成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (15% Participation, 15% Homework, 15% 1st Test, 15% 2nd Test, 5% Clinic 5% EPUU Times Quiz) 30% Common Final Exam		
学習上の助言／Learning Advice	This is a great opportunity for you to improve your communication using English and share your ideas with other students. It' s also a great chance to communicate with native English speaking teachers. Enjoy speaking English and succeed in class!		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	フランス文学/French Literature		
担当教員(所属)/Instructor	守永 直幹(国際学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G334157
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	守永 直幹(講義終了後対応します。)		
授業の内容/Course Description	文学のみならず多岐に渡り学びます。		
授業の達成目標/Course Goals	<p>近代とりわけ19世紀以降、私たち人類の活動範囲は爆発的に拡がりました。陸に海に空に、地底に深海に宇宙に、と。一方に外なる自然の探検や冒険を描く文学、他方に内なる自然としての人間の本性を探求する文学が現われた。前者の代表がSF作家ジュール・ヴェルヌ、後者の極みが形而上学詩人マラルメで、共にエドガー・アラン・ポーから多くを学びました。かれらの文学は今なお世界の文化に大きな影響を与えています。</p> <p>授業では19世紀から20世紀にかけての文学を多く取り上げ、都市(ないし人間)と自然の相克を論じます。一方で自然を愛でつつ、他方でこれと闘い、支配せんとする。19世紀の文人や哲人の自然観・人間観は現代にどう受け継がれているか。それが日本のサブカルチャーとどう関わるかにも言及する予定です。</p> <p>学生との応答で講義内容は変化するため、シラバスの項目そのままの授業になるとは限りません。</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	現代社会に参画しながら造り続ける(あるいは、身に付け続ける)幅広く深い教養の基礎を学びます。		
前提とする知識/Prerequisites	フランス語は用いません。受講生の要望に応じて講義内容は変化します。おのずと話題は多岐に及びますが、噛み砕いた分かりやすい話をするつもりです。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	フランス文学史の講義ではなく、現代の学生にたいする文学の案内、いわば教養教育を旨とします。授業内容に応じて、絵画や芸術作品のスライド、映画、音楽等をできるだけ多く紹介するつもりです。リアクション・ペーパー等を介した質疑応答を重視し、講義内容もそれに応じて変化します。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>第1週 フランス文学とはなにか/授業内容の説明</p> <p>第2週 主体をめぐる冒険—文学・自然・建築(1)</p> <p>第3週 主体をめぐる冒険—文学・自然・建築(2)</p> <p>第4週 ヴィクトル・ユゴーのメディア論—ゴシック建築と重力(1)</p> <p>第5週 ヴィクトル・ユゴーのメディア論—ゴシック建築と重力(2)</p> <p>第6週 ユイスマンズ—聖者と悪魔のあいだで(1)</p> <p>第7週 ユイスマンズ—聖者と悪魔のあいだで(2)</p> <p>第8週 『フランケンシュタイン』あるいは人工生命の誕生(1)</p> <p>第9週 『フランケンシュタイン』あるいは人工生命の誕生(2)</p> <p>第10週 ヴィリエ・ド・リラダン『未来のイヴ』とディストピア(1)</p> <p>第11週 ヴィリエ・ド・リラダン『未来のイヴ』とディストピア(2)</p> <p>第12週 J・ヴェルヌ、世界の果ての旅(1)</p> <p>第13週 J・ヴェルヌ、世界の果ての旅(2)</p> <p>第14週 マラルメとエドガー・アラン・ポーの宇宙(1)</p> <p>第15週 マラルメとエドガー・アラン・ポーの宇宙(2)</p> <p>第16週 結論</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	教材や参考文献のたぐいは授業中に指示するか、あるいはコピーを配付します。		
成績評価の方法/Evaluation	千字程度のレポートを2回提出してもらいます。1回目のレポートを授業内で講評し、評価基準を明示します。各人の自由な発想を評価し、コピーや、当方の指示を無視したレポートは一切認めません。		
学習上の助言/Learning Advice	文学や芸術に関心があり、広く教養を身につけたいと願う学生さんが受講されることを期待します。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	政治の世界/Introduction to Political Science		
担当教員(所属)/Instructor	遠藤 正敬(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G411855
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	遠藤 正敬(028-649-5190 zangesixty@yahoo.co.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	遠藤 正敬(e-mailによる連絡で対応(火曜日、16時10分以降))		
授業の内容/Course Description	近代国家は、人々の多様に分節化した政治意識を一定の領域で国民の名の下に統合して発展してきた。だが、主権や自由といった近代国家を支配してきた主要な価値基準はだれを当事者とするかによって正当性を動揺させる契機を常にもってきた。ことに近年のグローバル化の波は否応なく国家における主権概念の転換を促し、市民の資格をめぐる排除・包摂の問題が改めて提起されている。こうした問題意識から本講義では、政治における価値や規範の多様性・流動性を主題としたクリティカルな政治学を講義していきたい。とりわけ後半では、「国家」と「国民」の乖離をめぐる問題として、外国人参政権問題、移民や無国籍者に対する市民権政策について世界各国の事例に関する比較研究を重要課題として提起するとともに、「国民主権」や「国益」といった概念がいかなる時に同調の圧力に転化するのかを議論していきたい。		
授業の達成目標/Course Goals	現実の政治問題に対応できる理解力や思考能力を養うことを目的とする。日本の政治だけでなく、国際的な視野に立って、世界で生じるさまざまな政治現象の特殊性への理解を深める。このことを通じて、我々の日常生活を取り巻く政治的問題を正しく理解し、そこに主体的に働きかけ、よりよい社会を形成していく力を養成する。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	政治の世界で起こっている社会現象を、国家や国際機構、市民社会そして人と人とのコミュニケーションという多層的な観点から考察するための、総合的な理解力、基礎学力そして情報処理能力を養成する。		
前提とする知識/Prerequisites	「現代政治の理論と実際」、「現代政治学入門」、「戦争と平和をめぐる諸問題」を受講することが望ましい。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	基本的に講義形式で行う。レジュメおよび資料を母体にして講義し、補足的に板書を行うとともに映像資料も時折使いたい。極力、受講者との対話や質疑応答、受講者間の議論を行い、授業の活性化を図る。 なお、履修希望者が過多となった場合、第一回の授業で抽選を行う。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回 序:「政治」とはいかなるものか? 第2回 政治学とはなにをめざす学問なのか? 第3回 人間における「政治」の発見-古代ギリシャにおける民主主義論 第4回 近代国家の成立と系譜-近代市民社会とさまざまな国家観 第5回 権力、支配、正統性-マッキヤヴェリの「君主論」を読む 第6回 政治文化論-比較政治というアプローチ、西欧とアジア 第7回 デモクラシー論-主役はだれか、「市民」の政治参加と討議 第8回 議会と政党-国民と政治参加、「政治家」の使命とはなにか? 第9回 イデオロギーと政治-政治を動かす思想、自由民主主義、保守主義、マルクス主義 第10回 政治過程のしくみ-政策の立案から実施まで、利益集団の役割 第11回 官僚制-行政と立法、政治におけるエリート論 第12回 マスコミと政治-世論と政治意識、プロパガンダによる統合 第13回 ナショナリズムと政治-戦争の温床としてのナショナリズム、動揺する「国民」概念のゆくえ 第14回 多文化主義と政治-国家は「差異」をどこまでみとめるべきか? 第15回 まとめ:脱〇〇主義の政治		
教科書・参考書等/Textbooks	特に指定する教科書はないが、入門書として以下のものをお勧めしたい。阿部齊・有賀弘・斎藤眞著『政治 個人と統合(第2版)』東京大学出版会、1994; 福田歓一『近代の政治思想』岩波新書、1970; 堀江湛・岡沢憲英編『現代政治学(新版)』法学書院、2005		
成績評価の方法/Evaluation	定期試験 60% 平常点(課題・レポート含む) 40%		
学習上の助言/Learning Advice	本講義で肝心なことは、政治学がいかに扱うテーマの幅広いものであるのかを理解すること。履修者の多様な価値観を提示してもらうことが講義の活性化になるので、意見や疑問や批判を積極的にぶつけてくれることを切望する。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) / Course Title	Mathematicaによる微積分入門/Introduction to Calculus with Mathematica		
担当教員(所属)/Instructor	佐藤 禎宏(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G506122
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	佐藤 禎宏(e-mail : sato365@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours			
授業の内容/Course Description	数式処理ソフトウェア Mathematica は数理的思考の道具です。数式処理や数値計算およびグラフィックス機能を利用して、微積分の問題を解くことを通して理解を深める。更に知識データベース Wolfram Alpha を使った問題解決方法を学ぶ。		
授業の達成目標/Course Goals	Mathematicaを使って数理的考え方を深める能力を身につけることを目標とする。知識データベース Wolfram Alpha を使って問題解決できること。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	現代のネットワーク社会に必要な素養と幅広い教養を身につけるための教養教育を行う。		
前提とする知識/Prerequisites	総合メディア基盤センターのPC端末を操作できること。自分の PC やタブレットを利用していることが望ましい。 数学に興味があることが望ましい。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	教科書に沿って例題を解きながら演習形式で進める。オンライン教材を取り入れた講義も行う。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mathematica の使い方に慣れる 2. 電卓として使う 3. 変数と関数 4. 数式処理 5. 方程式を解く 6. Mathematica リスト 7. 2次元グラフィックス(1) 8. 2次元グラフィックス(2) 9. 極限と微分 10. 積分 11. 級数、テーラー展開、フーリエ級数 12. 3次元グラフィックス(1) 13. 3次元グラフィックス(2) 14. 微分方程式を解く 15. ベクトルと行列 		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書： はやわかりMathematica 第3版4刷(2013) 榊原 進著 共立出版 参考書： Getting Started with Mathematica Third Edition, G-K. Cheung et al. Wiley, ISBN-13 978-0-470-45687-3 An Elementary Introduction to the Wolfram Language, Stephan Wolfram		
成績評価の方法/Evaluation	各講義の後に課題を示しそのレポートを添削して評価する。計15回の評価を集計して成績評価する。		
学習上の助言/Learning Advice	ソフトウェアライセンスの関係で受講人数の上限は19名です。Mathematica の使い方や利用について次のブログを参考にしてください。 “なんでも Mathematica” (https://mmaykf.wordpress.com)		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	スペイン語基礎Ⅲ/Basic Spanish III		
担当教員(所属)/Instructor	飯田 敏彦(国際学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G728292
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	飯田 敏彦(toiida2222@yahoo.co.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	飯田 敏彦(授業の前後にコンタクトをとること)		
授業の内容/Course Description	テキストの各レッスンには7~8行程度の短い会話文があります。まず主な会話表現について、それぞれの意味と使い方を確認します。必要に応じて文法的な解説を行ったのち、会話文に関する応用問題、動詞活用の練習問題などを解いていきます。反復練習が必要な場合には、プリントを使って補足練習したり、受講生どうしが向き合って会話練習したりします。		
授業の達成目標/Course Goals	やさしいスペイン語の発話能力と語彙力を養うことを目的に授業を進めます。最大の目標は、基本動詞を正確に活用させて使えるようにすることです。これに加えて、本授業では語彙力を養うことも重要な課題になります。会話のテーマに沿った語彙の用意がないと、ごかつたんな会話でさえ成り立ちませんので、単語レベル、あるいは語句レベルでの準備をしつかりと行った上で、平易な文章を正確に作る練習を行います。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	国際学部の一年生でスペイン語を選択する方は、当科目に並行してスペイン語基礎Ⅰを今学期に履修してください。他の学部の学生で、初めてスペイン語を履修する方は、まずスペイン語基礎Ⅰを履修するか、この基礎Ⅰと当科目を同時に履修してください。図書館にある文法解説書を手取るなどして基礎文法を確認し、各レッスンを予習する意欲のある人ならば、参加していただけます。学習意欲のある人で、本科目だけ履修したいという方は、授業担当者に相談してみてください。		
前提とする知識/Prerequisites	英語と同じヨーロッパの言語ですから、スペイン語を学ぶためには、英語の知識やヨーロッパ諸国の文化に関する知識が役立ちます。スペイン語の学習経験、あるいはスペイン語圏への留学・滞在経験のある方、検定試験などの資格を取得済みの方は、担当者にその旨を伝えてください。		
関連科目/Related Courses	英語と同じヨーロッパの言語ですから、スペイン語を学ぶためには、英語の知識やヨーロッパ諸国の文化に関する知識が役立ちます。スペイン語の学習経験、あるいはスペイン語圏への留学・滞在経験のある方、検定試験などの資格を取得済みの方は、担当者にその旨を伝えてください。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	教室ではテキストの録音テープを再生して会話文や例文、練習問題の解答例などの発音を聞き、発音練習します。続けて、会話表現、単語・語句について意味と用法の確認を行います。この際に、必要に応じてかつたんな文法説明を加えます。さらには、テキストにある会話の応用問題、各種の練習問題を通じて、理解度の確認を行い、文章作成の力を養うとともに知識の定着に努めます。プリントを使って補足的な練習をしたり、受講生どうしが向き合って会話練習を繰り返したりすることもあります。最後には、授業担当者からの質問に口頭で答えるか、まとめの問題に答えて提出してもらいます。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の説明、アルファベットと発音、色々な単語を読む、単語を聞き取る、単語のつづりを言う 2. アクセントの位置、あいさつの言葉、人を紹介する、疑問符と感嘆符、 3. 動詞serを用いて、国籍・職業を説明する、動詞 llamarse を使って名前をたずねる 4. 動詞vivir を使って、どこに住んでいるのかをたずねる、復習の練習問題 5. 動詞hay を用いて、「モノがある、ヒトがいる」と表現、所有を表わす動詞 tener (持つ) 6. ser de を用いて、出身地をたずね、出身地を説明する、動詞 estar を使って、どこにいるのかをたずねる 7. 曜日や時刻をたずね、曜日や時刻を言う、復習の練習問題 8. hay とestar の使い分け、名詞とともに形容詞を使う、モノの色をたずねる 9. モノやヒトの性質や状態を説明する → 形容詞をserとestar の補語として使う、復習の練習問題 10. 規則活用動詞の desayunar, comer, escribirなどを活用させて使う、「いっしょに食事しようか?」など 11. 一人で住んでいます、近くに住んでいます、友達に手紙を書く、復習の練習問題 12. 動詞 tener の基本的な用法 → 授業がある、兄弟がいる、~しなければならぬ 13. 君の電話番号は? 100までの数詞、疑問詞 cuál、年齢をたずねる 14. 誕生日はいつですか? → 曜日、日付の表現 → 色々な動詞と組み合わせる 15. 復習の練習問題 		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書: 木村琢也・泉水浩隆・高澤美由紀著『コンティーンゴ! 1』第三書房(定価2,300円+税)をテキストとして使用します。生協書籍部で購入してください。スペイン語の辞書: 辞書は必携です。長く使える辞書として、『クラウン西和辞典』三省堂(定価4,700円)、『プエルタ新スペイン語辞典』研究社(定価4,700円)、『西和辞典(第2版)』小学館(定価6,930円)を推奨します。その他、『プログレッシブ・スペイン語辞典』小学館(定価3,500円)、あるいは『現代スペイン語辞典』白水社(定価4,200円)は使いやすい、本科目の勉強レベルでは十分な内容を持っています。しかし、応用科目や講読の授業のレベルでは、「役不足」は認めません。電子辞書に収められている辞書は、ほとんどが前掲の白水社のもので、参考書については、必要に応じて教室で指示します。		

成績評価の方法／Evaluation	2回の小テスト（50％）および期末試験（50％）の結果に基づいて評価します。欠席回数が授業回数の3分の1を超えると、評価のマイナス要因となるので、きちんと出席してください。詳細は、初回授業の際に説明します。
学習上の助言／Learning Advice	教室では、恥ずかしがらずに大きな声で発音し、積極的に授業に参加してください。この授業では、簡単な文型でいいですから、スペインで表現する力をつけることが目標になります。基本的な知識は、確実に自分のものにしていく姿勢が求められます。辞書の助けを借りながら、文章の意味を確認するとともに、各種の練習を教室で楽しめるならば、長足の進歩は間違いなしです。高いレベルを目指すためには、予習・復習が欠かせません。
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) ／Course Title	中国語応用Ⅰ／Intermediate Chinese Ⅰ		
担当教員(所属)／Instructor	景 慧(国際学部国際文化学科)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G745960
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数／Credits	1単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	景 慧(hj13415@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	景 慧(事前の申し込みで時間を決める。)		
授業の内容／Course Description	中国語基礎Ⅰ～Ⅳを履修し、中国語の発音、初級文法を一通り習得した学習者を対象に、初歩文法を復習しながら、中級中国語への橋渡しをする授業です。		
授業の達成目標／Course Goals	文法を復習した上で、語彙や日常会話表現を増やし、表現力を高め、更に読解力を向上させることを目標とします。また、後期に開講される中国語応用Ⅱとあわせ、一年の学習を経た後、一定の会話能力や聴解力を具備することを要求します(中国語検定4級レベル)。また、テキスト学習の合間に近年の中国事情紹介も行う予定ですので、中国語という言葉だけではなく、その言葉が使用されている中国社会に興味をもってもらえればと思います。		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	大学に入学する以前、学んだ経験のない中国語の学習を通じ、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」ことについての基礎的能力を養うとともに、東アジアや中国の文化への興味を喚起し、理解を深め、地域的な視野を踏まえた幅広く深い教養と豊かな人間性を醸成します。また、語学学習を通じた自律的な大学での学びの基礎づくりを行い、現代社会に必要なリテラシーを身につけさせます。		
前提とする知識／Prerequisites	中国語基礎Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを習得していること。		
関連科目／Related Courses	中国語基礎Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを習得していること。		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	新しい語彙や文法事項を覚えることは勿論ですが、それより一年間履修した内容を再度学び直し完全に自分のものとして自由に表現できることに重点をおきます。読む、会話する、聞く、といった作業はどの時間においてもたっぷり行います。下記の授業計画通りにテキストに沿って進めますが、状況次第で変更することがあります。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	<p>第一回中国人の朝ご飯(方向補語について)</p> <p>第二回注文のやり取り(「了」の復習)</p> <p>第三回タクシーを呼ぶ(結果補語について)</p> <p>第四回中国の交通事情(「会」、「能」、「可以」の復習)</p> <p>第五回映画に誘う(兼語文について)</p> <p>第六回中国の娯楽事情(兼語文の応用)</p> <p>第七回A A制とA B制(受け身表現)</p> <p>第八回食事に誘う(受身身表現の応用、「?」の復習)</p> <p>第九回中間復習</p> <p>第十回病院にて(「是・・・的」について)</p> <p>第十一回中国の病院事情(「是・・・的」の応用)</p> <p>第十二回中国の季節(比較表現)</p> <p>第十三回ネットショッピング(「一点儿」、「一会儿」、「一下」)</p> <p>第十四回中国のネットショッピング事情(「想」の復習)</p> <p>第十五回総合復習、纏め。</p>		
教科書・参考書等／Textbooks	『中国語への道——浅きより深きへ——準中級編』(金星堂)		
成績評価の方法／Evaluation	定期試験80%、平常試験20%。		
学習上の助言／Learning Advice	テキストはどの課も会話文とそれとペアを成す短文があります。暗誦が表現力の向上に極めて有効でありますので、50字前後の短文を二月に一つ暗記するよう、心がけてください。		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	朝鮮語応用Ⅰ/Intermediate Korean Ⅰ		
担当教員(所属)/Instructor	筒井 真樹子(国際学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G762160
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	筒井 真樹子(授業中にお知らせします。)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	筒井 真樹子(火曜日13:00~14:00(非常勤講師室))		
授業の内容/Course Description	朝鮮語を学び始めて2年目の学習者用に中級の文法を学びます。さまざまな文法を学ぶことによって朝鮮語に慣れ、自信をつけます。言葉を学ぶと同時に韓国の文化や習慣にも触れ、楽しく学びます。		
授業の達成目標/Course Goals	①複雑な会話ができるようになります。 ②複雑な文章が書けるようになります。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	基盤教育関係の初習外国語系科目の教育目標に対応します。		
前提とする知識/Prerequisites	「朝鮮語基礎Ⅰ」「朝鮮語基礎Ⅱ」「朝鮮語基礎Ⅲ」「朝鮮語基礎Ⅳ」の履修者を対象にします。		
関連科目/Related Courses	「朝鮮語基礎Ⅰ」「朝鮮語基礎Ⅱ」「朝鮮語基礎Ⅲ」「朝鮮語基礎Ⅳ」の履修者を対象にします。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	①少し複雑な文章を読んだり、書いたりします。 ②練習問題をやって応用力をつけます。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1週 オリエンテーション 第2週 教科書第1課「助詞のまとめ」 第3週 教科書第2課「銀行へ行こうと思います」 第4週 教科書第2課「銀行へ行こうと思います」 第5週 教科書第3課「明日、何をするつもりですか」 第6週 教科書第3課「明日、何をするつもりですか」 第7週 教科書第4課 復習 第8週 教科書第5課「キムチは辛いです」 第9週 教科書第5課「キムチは辛いです」 第10週 教科書第6課「どこで撮った写真ですか」 第11週 教科書第6課「どこで撮った写真ですか」 第12週 教科書第7課「歌を歌いました」 第13週 教科書第8課 復習 第14週 教科書第9課「お金を替えることができますか」 第15週 教科書第9課「お金を替えることができますか」 第16週 期末試験		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書：李昌圭著『やさしく仕組みがわかる 韓国語中級Ⅰ講義ノート』（白帝社）（宇大生協で販売） 参考書：特になし		
成績評価の方法/Evaluation	出席20%、授業への参加態度10%、単語テストの成績20%、期末試験の成績50%で、総合的に評価します。		
学習上の助言/Learning Advice	1. 他の朝鮮語の科目も併せて取るようにしてください。 2. 授業を休まないようにしてください。 3. 授業に積極的に参加してください。 4. 予習・復習をしてください。 5. 語学上達のコツは「やる気・根気・暗記」の「三つのキ」だということを忘れないでください。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	より良く生きる/Live Better Than		
担当教員(所属)/Instructor	上原 伸夫(工学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G871111
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours			
授業の内容/Course Description	日光東照宮にある家康の墓に続く石段の欄干の柱には、「人生は重き荷物を背負いて長き坂を上るが如し、・・・」と刻まれている。今であれば、荷物の配送システムもあり、自動車で見渡すことができる。でもはたして、今は昔に比べて生き易くなったのであろうか？周りを現代において、「より良く生きる」とはどういうことなのか？この講義では、①「自分にとって価値ある生き方」をキーワードに「人は何のために生きているのか」を考え、②「目標達成」をキーワードに、そのためのスキル(自分の力に気づき、伸ばす)を身に付けることを目的とする。		
授業の達成目標/Course Goals	<p>☆仕事は生活から切り離された活動ではないことを理解し、より良く生きるための「場」として両者のかかわりを理解することから、「仕事をする」との意味を考える。</p> <p>☆「自分にとって価値ある生き方」とは本質的にどういうことなのかを洞察し、それに向かっていくための目標達成法を理解し、実行できるようになる。</p> <p>☆自分を取り巻く様々な「しくみ」に気づき、自分らしく生きるきっかけをつくる。</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	変化する社会の中で未来を切り拓く知力と行動力を持ち、社会的・職業的に自立して新しい時代に自分らしく活躍することを目指す姿勢、職業や働き方への理解、自己理解を深めるために必要な知識・技能を修得することに役立つ		
前提とする知識/Prerequisites	自分を成長させようとする意欲		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	本講義は担当教員および外部講師によるレクチャーの他、グループワークやインタビューなどを通じて多面的に行う(講演会に代える場合もある)。受講者自身の行動や体験を通じて、未来を切り開く力の育成を図る。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>—Part 1 人は何のために生きているのか—</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに「この授業について、「人は何のために生きているのか その1」」 4/12 2. “自分らしく生きること”と“親との関係” 4/19 3. “働くこと”と“より良く生きること” 4/26 4. “人生の逆風(障害、病気など)”と“より良く生きる” 5/10 5. 夢と、やりたいことと、現実と①(“仕事”をとりまく理想と現実) 5/17 6. 夢と、やりたいことと、現実と②(事例紹介、パネルディスカッション) 5/24 7. 生きる主体である“自分”に気づく；(Part 1まとめ；中間振り返り) 5/31 <p>—Part 2 よりよく生きるために(自分の力に気づき、伸ばす)—</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 生きるエネルギーについて 6/7 9. アサーション(自分を伝える・相手を受け入れる；西田先生) 6/14 10. 心のしくみ(西田先生) 6/21 11. 夢を見つける 6/28 12. 夢を実現する 7/5 13. リミッターを解除する 7/12 14. ツッコミを入れる 7/19 15. 振り返り 7/26 		
教科書・参考書等/Textbooks	授業で指示する(主として配布プリントを用いる)		
成績評価の方法/Evaluation	上記の目標が達成されているかどうかを評価する。評点の配分は、講義への取り組み(40%)、レポート(60%)とし、60%以上を合格とする。60点以上を「可」、70点以上を「良」、80点以上を「優」、特に優秀なものを「秀」として評価する。		
学習上の助言/Learning Advice	いつの時代も生きることは“しんどい”らしい。この授業は10年後、20年後のあなたを想定して行います。あなた自身が考え、行動することが生きることの本質です。それによってあなたはきっと、大切なことに気づくはずですよ。		
キーワード/Keywords	より良く生きる		
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	スペイン語基礎Ⅲ / Basic Spanish III		
担当教員(所属) / Instructor	飯田 敏彦(国際学部)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G900301
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 火 /Tue 7, 火 / Tue 8	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	飯田 敏彦(toiida2222@yahoo.co.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	飯田 敏彦(授業の前後にコンタクトをとること)		
授業の内容 / Course Description	テキストの各レッスンには7~8行程度の短い会話文があります。まず主な会話表現について、それぞれの意味と使い方を確認します。必要に応じて文法的な解説を行ったのち、会話文に関する応用問題、動詞活用の練習問題などを解いていきます。反復練習が必要な場合には、プリントを使って補足練習したり、受講生どうしが向き合って会話練習したりします。		
授業の達成目標 / Course Goals	やさしいスペイン語の発話能力と語彙力を養うことを目的に授業を進めます。最大の目標は、基本動詞を正確に活用させて使えるようにすることです。これに加えて、本授業では語彙力を養うことも重要な課題になります。会話のテーマに沿った語彙の用意がないと、ごかつたんな会話でさえ成り立ちませんので、単語レベル、あるいは語句レベルでの準備をしつかりと行った上で、平易な文章を正確に作る練習を行います。		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	国際学部の一年生でスペイン語を選択する方は、当科目に並行してスペイン語基礎Ⅰを今学期に履修してください。他の学部の学生で、初めてスペイン語を履修する方は、まずスペイン語基礎Ⅰを履修するか、この基礎Ⅰと当科目を同時に履修してください。図書館にある文法解説書を手取るなどして基礎文法を確認し、各レッスンを予習する意欲のある人ならば、参加していただけます。学習意欲のある人で、本科目だけ履修したいという方は、授業担当者に相談してみてください。		
前提とする知識 / Prerequisites	英語と同じヨーロッパの言語ですから、スペイン語を学ぶためには、英語の知識やヨーロッパ諸国の文化に関する知識が役立ちます。スペイン語の学習経験、あるいはスペイン語圏への留学・滞在経験のある方、検定試験などの資格を取得済みの方は、担当者にその旨を伝えてください。		
関連科目 / Related Courses	英語と同じヨーロッパの言語ですから、スペイン語を学ぶためには、英語の知識やヨーロッパ諸国の文化に関する知識が役立ちます。スペイン語の学習経験、あるいはスペイン語圏への留学・滞在経験のある方、検定試験などの資格を取得済みの方は、担当者にその旨を伝えてください。		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	教室ではテキストの録音テープを再生して会話文や例文、練習問題の解答例などの発音を聞き、発音練習します。続けて、会話表現、単語・語句について意味と用法の確認を行います。この際に、必要に応じてかんたんな文法説明を加えます。さらには、テキストにある会話の応用問題、各種の練習問題を通じて、理解度の確認を行い、文章作成の力を養うとともに知識の定着に努めます。プリントを使って補足的な練習をしたり、受講生どうしが向き合って会話練習を繰り返したりすることもあります。最後には、授業担当者からの質問に口頭で答えるか、まとめの問題に答えて提出してもらいます。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の説明、アルファベットと発音、色々な単語を読む、単語を聞き取る、単語のつづりを言う 2. アクセントの位置、あいさつの言葉、人を紹介する、疑問符と感嘆符、 3. 動詞serを用いて、国籍・職業を説明する、動詞 llamarse を使って名前をたずねる 4. 動詞vivir を使って、どこに住んでいるのかをたずねる、復習の練習問題 5. 動詞hay を用いて、「モノがある、ヒトがいる」と表現、所有を表わす動詞 tener (持つ) 6. ser de を用いて、出身地をたずね、出身地を説明する、動詞 estar を使って、どこにいるのかをたずねる 7. 曜日や時刻をたずね、曜日や時刻を言う、復習の練習問題 8. hay とestar の使い分け、名詞とともに形容詞を使う、モノの色をたずねる 9. モノやヒトの性質や状態を説明する → 形容詞をserとestar の補語として使う、復習の練習問題 10. 規則活用動詞の desayunar, comer, escribirなどを活用させて使う、「いっしょに食事しようか?」など 11. 一人で住んでいます、近くに住んでいます、友達に手紙を書く、復習の練習問題 12. 動詞 tener の基本的な用法 → 授業がある、兄弟がいる、~しなければならぬ 13. 君の電話番号は? 100までの数詞、疑問詞 cuál、年齢をたずねる 14. 誕生日はいつですか? → 曜日、日付の表現 → 色々な動詞と組み合わせる 15. 復習の練習問題 		
教科書・参考書等 / Textbooks	教科書: 木村琢也・泉水浩隆・高澤美由紀著『コンティーンゴ! 1』第三書房(定価2,300円+税)をテキストとして使用します。生協書籍部で購入してください。スペイン語の辞書: 辞書は必携です。長く使える辞書として、『クラウン西和辞典』三省堂(定価4,700円)、『プエルタ新スペイン語辞典』研究社(定価4,700円)、『西和辞典(第2版)』小学館(定価6,930円)を推奨します。その他、『プログレッシブ・スペイン語辞典』小学館(定価3,500円)、あるいは『現代スペイン語辞典』白水社(定価4,200円)は使いやすい、本科目の勉強レベルでは十分な内容を持っています。しかし、応用科目や講読の授業のレベルでは、「役不足」は否めません。電子辞書に収められている辞書は、ほとんどが前掲の白水社のもので、参考書については、必要に応じて教室で指示します。		

成績評価の方法／Evaluation	2回の小テスト（50％）および期末試験（50％）の結果に基づいて評価します。欠席回数が授業回数の3分の1を超えると、評価のマイナス要因となるので、きちんと出席してください。詳細は、初回授業の際に説明します。
学習上の助言／Learning Advice	教室では、恥ずかしがらずに大きな声で発音し、積極的に授業に参加してください。この授業では、簡単な文型でいいですから、スペインで表現する力をつけることが目標になります。基本的な知識は、確実に自分のものにしていく姿勢が求められます。辞書の助けを借りながら、文章の意味を確認するとともに、各種の練習を教室で楽しめるならば、長足の進歩は間違いなしです。高いレベルを目指すためには、予習・復習が欠かせません。
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) ／Course Title	中国語応用Ⅰ／Intermediate Chinese Ⅰ		
担当教員(所属)／Instructor	景 慧(国際学部国際文化学科)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G900420
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数／Credits	1単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	景 慧(hj13415@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	景 慧(事前の申し込みで時間を決める。)		
授業の内容／Course Description	中国語基礎Ⅰ～Ⅳを履修し、中国語の発音、初級文法を一通り習得した学習者を対象に、初歩文法を復習しながら、中級中国語への橋渡しをする授業です。		
授業の達成目標／Course Goals	文法を復習した上で、語彙や日常会話表現を増やし、表現力を高め、更に読解力を向上させることを目標とします。また、後期に開講される中国語応用Ⅱとあわせ、一年の学習を経た後、一定の会話能力や聴解力を具備することを要求します(中国語検定4級レベル)。また、テキスト学習の合間に近年の中国事情紹介も行う予定ですので、中国語という言葉だけではなく、その言葉が使用されている中国社会に興味をもってもらえればと思います。		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	大学に入学する以前、学んだ経験のない中国語の学習を通じ、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」ことについての基礎的能力を養うとともに、東アジアや中国の文化への興味を喚起し、理解を深め、地域的な視野を踏まえた幅広く深い教養と豊かな人間性を醸成します。また、語学学習を通じた自律的な大学での学びの基礎づくりを行い、現代社会に必要なリテラシーを身につけさせます。		
前提とする知識／Prerequisites	中国語基礎Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを習得していること。		
関連科目／Related Courses	中国語基礎Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを習得していること。		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	新しい語彙や文法事項を覚えることは勿論ですが、それより一年間履修した内容を再度学び直し完全に自分のものとして自由に表現できることに重点をおきます。読む、会話する、聞く、といった作業はどの時間においてもたっぷり行います。下記の授業計画通りにテキストに沿って進めますが、状況次第で変更することがあります。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	第一回中国人の朝ご飯(方向補語について) 第二回注文のやり取り(「了」の復習) 第三回タクシーを呼ぶ(結果補語について) 第四回中国の交通事情(「会」、「能」、「可以」の復習) 第五回映画に誘う(兼語文について) 第六回中国の娯楽事情(兼語文の応用) 第七回A A制とA B制(受け身表現) 第八回食事に誘う(受身身表現の応用、「?」の復習) 第九回中間復習 第十回病院にて(「是・・・的」について) 第十一回中国の病院事情(「是・・・的」の応用) 第十二回中国の季節(比較表現) 第十三回ネットショッピング(「一点儿」、「一会儿」、「一下」) 第十四回中国のネットショッピング事情(「想」の復習) 第十五回総合復習、纏め。		
教科書・参考書等／Textbooks	『中国語への道——浅きより深きへ——準中級編』(金星堂)		
成績評価の方法／Evaluation	定期試験80%、平常試験20%。		
学習上の助言／Learning Advice	テキストはどの課も会話文とそれとペアを成す短文があります。暗誦が表現力の向上に極めて有効でありますので、50字前後の短文を二月に一つ暗記するよう、心がけてください。		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	朝鮮語応用Ⅰ/Intermediate Korean Ⅰ		
担当教員(所属)/Instructor	筒井 真樹子(国際学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G900620
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 7, 火/Tue 8	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	筒井 真樹子(授業中にお知らせします。)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	筒井 真樹子(火曜日13:00~14:00(非常勤講師室))		
授業の内容/Course Description	朝鮮語を学び始めて2年目の学習者用に中級の文法を学びます。さまざまな文法を学ぶことによって朝鮮語に慣れ、自信をつけます。言葉を学ぶと同時に韓国の文化や習慣にも触れ、楽しく学びます。		
授業の達成目標/Course Goals	①複雑な会話ができるようになります。 ②複雑な文章が書けるようになります。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	基盤教育関係の初習外国語系科目の教育目標に対応します。		
前提とする知識/Prerequisites	「朝鮮語基礎Ⅰ」「朝鮮語基礎Ⅱ」「朝鮮語基礎Ⅲ」「朝鮮語基礎Ⅳ」の履修者を対象にします。		
関連科目/Related Courses	「朝鮮語基礎Ⅰ」「朝鮮語基礎Ⅱ」「朝鮮語基礎Ⅲ」「朝鮮語基礎Ⅳ」の履修者を対象にします。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	①少し複雑な文章を読んだり、書いたりします。 ②練習問題をやって応用力をつけます。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1週 オリエンテーション 第2週 教科書第1課「助詞のまとめ」 第3週 教科書第2課「銀行へ行こうと思います」 第4週 教科書第2課「銀行へ行こうと思います」 第5週 教科書第3課「明日、何をするつもりですか」 第6週 教科書第3課「明日、何をするつもりですか」 第7週 教科書第4課 復習 第8週 教科書第5課「キムチは辛いです」 第9週 教科書第5課「キムチは辛いです」 第10週 教科書第6課「どこで撮った写真ですか」 第11週 教科書第6課「どこで撮った写真ですか」 第12週 教科書第7課「歌を歌いました」 第13週 教科書第8課 復習 第14週 教科書第9課「お金を替えることができますか」 第15週 教科書第9課「お金を替えることができますか」 第16週 期末試験		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書：李昌圭著『やさしく仕組みがわかる 韓国語中級Ⅰ講義ノート』（白帝社）（宇大生協で販売） 参考書：特になし		
成績評価の方法/Evaluation	出席20%、授業への参加態度10%、単語テストの成績20%、期末試験の成績50%で、総合的に評価します。		
学習上の助言/Learning Advice	1. 他の朝鮮語の科目も併せて取るようにしてください。 2. 授業を休まないようにしてください。 3. 授業に積極的に参加してください。 4. 予習・復習をしてください。 5. 語学上達のコツは「やる気・根気・暗記」の「三つのキ」だということを忘れないでください。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I A 地域②・工③(β)/Integrated English I A		
担当教員(所属)/Instructor	柿谷 命(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G200700
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 9, 火/Tue 10, 金 /Fri 9, 金/Fri 10	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	柿谷 命(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容/Course Description	<p>Classes will be conducted in English, twice a week by the same instructor to the same students. Students are always expected to use English in class. Although both sections are aimed at developing integrated skills, one is mainly focused on reading skills, while the other is focused on listening and speaking skills using authentic language from movies.</p> <p>In the first stage of the class, students will acquire the study skills necessary for success in English studies. Students will be provided guidelines for efficient use of a dictionary, reading and using English handwriting, understanding phonetic transcriptions, taking notes, etc.</p> <p>In the reading section, students will develop the skills necessary to use professional journals, books, websites, and other media in order to conduct academic research after advancing to their major area.</p> <p>In the section using movies, students will develop oral communication skills. They will also be introduced to various foreign cultures through these movies in order to promote intercultural understanding.</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>Learners will be able to: (1) identify a full range of expressions, unspecified facts and inferred meanings, (2) recognize a wide range of explicit and some less implicit appeals for repetition and clarification, (3) speak the target language relatively fluently with a substantial vocabulary and a variety of common idiomatic language expressions, (4) use a variety of sentence structures with a few grammar errors, although communication breakdown may occasionally occur, (5) comprehend authentic multipurpose texts in a variety of styles, (6) search for pieces of explicit and some less implicit information through background knowledge, (7) paraphrase and evaluate the content of a text.</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>This required freshman course is taught twice a week by a Japanese teacher with a background in TESOL. It is taught in conjunction with Integrated English B courses that focus on improving speaking, listening, and writing skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.</p>		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>In the reading section, students will work on various classroom activities and drills in the textbook. In the movie section, students will learn English colloquial expressions, slang, jokes, taboos, body languages, etc. by cloze dictation, shadowing, pair work, role play, etc. Students will also use scenarios and captions to improve reading and writing abilities.</p> <p>Students will be required to work on many assignments outside of class. To develop reading skills, students will be required to complete a number of outside assignments. To develop listening skills, students are to use CALL system in the DVD Laboratories in the library.</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>Weeks 1-2 Introduction to Course and Study Skills Weeks 3-4 Reading: Unit 1 Study Skills Weeks 5-6 Reading: Unit 2 Study Skills Weeks 7-8 Reading: Unit 3 Movie: Lesson 1 (The San Diego Zoo) First Test Weeks 9-10 Reading: Unit 4 Movie: Lesson 2 (Visitation Rights) Weeks 11-12 Reading: Unit 5 Movie: Lesson 3 (Transformation) Weeks 13-14 Reading: Unit 6 Movie: Lesson 4 (Sprit Personality) Second Test Week 15 Second Test Review</p>		

教科書・参考書等／Textbooks	<p>1) Textbook: Pathways—Opening the Doors to EPUU (2016), Seibido 2) Textbook: Eigo no Tadashi Hatsun no Shikata (1994), Keinan Iwamura, Kenkyusha 3) Textbook: Active Skills for Reading: Book 3 (3rd Edition), Neil J. Anderson, Thomson Heinle 4) Textbook: MRS. DOUBTFIRE, Screenplay Corporation</p>
成績評価の方法／Evaluation	<p>70% Class Work (Active Participation, Homework/Assignments, First Test, Second Test) 30% Common Final Exam</p>
学習上の助言／Learning Advice	<p>It is important to manage your own level of English skills: Set your personal improvement goals, try to work toward those goals as hard as possible, and always monitor your progress.</p> <p>クラス変更をする場合がありますので、購入したテキストには、指示があるまで（名前を含めて）書き込みを一切しないでください。</p>
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I A 地域②・工③(γ)/Integrated English I A		
担当教員(所属)/Instructor	峯 恵理菜(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G200713
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 9, 火/Tue 10, 金 /Fri 9, 金/Fri 10	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	峯 恵理菜(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容/Course Description	<p>Classes will be conducted in English, twice a week by the same instructor to the same students. Students are always expected to use English in class. Although both sections are aimed at developing integrated skills, one is mainly focused on reading skills, while the other is focused on listening and speaking skills using authentic language from movies.</p> <p>In the first stage of the class, students will acquire the study skills necessary for success in English studies. Students will be provided guidelines for efficient use of a dictionary, reading and using English handwriting, understanding phonetic transcriptions, taking notes, etc.</p> <p>In the reading section, students will develop the skills necessary to use professional journals, books, websites, and other media in order to conduct academic research after advancing to their major area.</p> <p>In the section using movies, students will develop oral communication skills. They will also be introduced to various foreign cultures through these movies in order to promote intercultural understanding.</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>Learners will be able to: (1) identify a full range of expressions, specific facts and inferred meanings, (2) recognize a range of explicit and some less appeals for repetition and clarification, (3) communicate with an extensive everyday vocabulary and a variety of common idiomatic language, (4) use a variety of sentence structures with some grammar errors, although communication breakdown may occasionally occur, (5) comprehend the main ideas and all important details of long and complicated texts without dictionary use, (6) guess the meaning of unknown words and phrases from the context despite some difficulties, (7) summarize and draw conclusions of a text.</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>This required freshman course is taught twice a week by a Japanese teacher with a background in TESOL. It is taught in conjunction with Integrated English B courses that focus on improving speaking, listening, and writing skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.</p>		
前提とする知識/Prerequisites	High school level Elnghish		
関連科目/Related Courses	High school level Elnghish		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>In the reading section, students will work on various classroom activities and drills in the textbook. In the movie section, students will learn English colloquial expressions, slang, jokes, taboos, body languages, etc. by cloze dictation, shadowing, pair work, role play, etc. Students will also use scenarios and captions to improve reading and writing abilities.</p> <p>Students will be required to work on many assignments outside of class. To develop reading skills, students will be required to complete a number of outside assignments. To develop listening skills, students are to use CALL system in the DVD Laboratories in the library.</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>Weeks 1-2 Introduction to Course and Study Skills Weeks 3-4 Reading: Unit 1 Study Skills Weeks 5-6 Reading: Unit 2 Study Skills Weeks 7-8 Reading: Unit 3 Movie: Lesson 1 (The San Diego Zoo) First Test Weeks 9-10 Reading: Unit 4 Movie: Lesson 2 (Visitation Rights) Weeks 11-12 Reading: Unit 5 Movie: Lesson 3 (Transformation) Weeks 13-14 Reading: Unit 6 Movie: Lesson 4 (Sprit Personality) Second TEST Week 15 Second Test Review</p>		

教科書・参考書等／Textbooks	1) Textbook: Pathways—Opening the Doors to EPUU (2016), Seibido 2) Textbook: Eigo no Tadashi Hatsuon no Shikata (1994), Keinan Iwamura, Kenkyusha 3) Textbook: Active Skills for Reading: Book 2 (3rd Edition), Neil J. Anderson, Thomson Heinle 4) Textbook: MRS. DOUBTFIRE, Screenplay Corporation
成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (Active Participation, Homework/Assignments, First Test, Second Test) 30% Common Final Exam
学習上の助言／Learning Advice	It is important to manage your own level of English skills: Set your personal improvement goals, try to work toward those goals as hard as possible, and always monitor your progress. クラス変更をする場合がありますので、購入したテキストには、指示があるまで（名前を含めて）書き込みを一切しないでください。
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I A 地域②・工③(δ)/Integrated English I A		
担当教員(所属)/Instructor	青野 香央理(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G200726
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 9, 火/Tue 10, 金 /Fri 9, 金/Fri 10	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	青野 香央理(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容/Course Description	<p>Classes will be conducted in English, twice a week by the same instructor to the same students. Students are always expected to use English in class. Although both sections are aimed at developing integrated skills, one is mainly focused on reading skills, while the other is focused on listening and speaking skills using authentic language from movies.</p> <p>In the first stage of the class, students will acquire the study skills necessary for success in English studies. Students will be provided guidelines for efficient use of a dictionary, reading and using English handwriting, understanding phonetic transcriptions, taking notes, etc.</p> <p>In the reading section, students will develop the skills necessary to use professional journals, books, websites, and other media in order to conduct academic research after advancing to their major area.</p> <p>In the section using movies, students will develop oral communication skills. They will also be introduced to various foreign cultures through these movies in order to promote intercultural understanding.</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>Learners will be able to: (1) identify a broader range of common expressions, specific facts and opinions about situations, (2) recognize a full range of explicit appeals for repetition and clarification, (3) communicate with a range of everyday vocabulary and a limited number of idiomatic language, (4) use a variety of structures with some grammar errors, although inaccuracy may impede communication at times, (5) comprehend the main ideas and some important details of short and simple texts without dictionary use, (6) identify the meaning of a number of familiar words in the texts, (7) locate some specific information.</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>This required freshman course is taught twice a week by a Japanese teacher with a background in TESOL. It is taught in conjunction with Integrated English B courses that focus on improving speaking, listening, and writing skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.</p>		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>In the reading section, students will work on various classroom activities and drills in the textbook. In the movie section, students will learn English colloquial expressions, slang, jokes, taboos, body languages, etc. by cloze dictation, shadowing, pair work, role play, etc. Students will also use scenarios and captions to improve reading and writing abilities.</p> <p>Students will be required to work on many assignments outside of class. To develop reading skills, students will be required to complete a number of outside assignments. To develop listening skills, students are to use CALL system in the DVD Laboratories in the library.</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>Weeks 1-2 Introduction to Course and Study Skills Weeks 3-4 Reading: Unit 1 Study Skills Weeks 5-6 Reading: Unit 2 Study Skills Weeks 7-8 Reading: Unit 3 Movie: Lesson 1 (Serving Society) First TEST Weeks 9-10 Reading: Unit 4 Movie: Lesson 2 (The Man) Weeks 11-12 Reading: Unit 5 Movie: Lesson 3 (Required Class Project) Weeks 13-14 Reading: Unit 6 Movie: Lesson 4 (Creating Musical Fusion) Second TEST Week 15 Second Test Review</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	<p>1) Textbook: Pathways—Opening the Doors to EPUU (2015), Seibido 2) Textbook: Eigo no Tadashi Hatsuon no Shikata (1994), Keinan Iwamura, Kenkyusha 3) Textbook: Active Skills for Reading: Book 1 (3rd Edition), Neil J. Anderson, Thomson Heinle 4) Textbook: School of Rock, Screenplay Corporation</p>		

成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (Active Participation, Homework/Assignments, First Test, Second Test) 30% Common Final Exam
学習上の助言／Learning Advice	It is important to manage your own level of English skills: Set your personal improvement goals, try to work toward those goals as hard as possible, and always monitor your progress. クラス変更をする場合がありますので、購入したテキストには、指示があるまで（名前を含めて）書き込みを一切しないでください。
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I A 地域②・工③(ε)/Integrated English I A		
担当教員(所属)/Instructor	蜂須賀 美帆(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G200739
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 9, 火/Tue 10, 金 /Fri 9, 金/Fri 10	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	蜂須賀 美帆(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容/Course Description	<p>Classes will be conducted in English, twice a week by the same instructor to the same students. Students are always expected to use English in class. Although both sections are aimed at developing integrated skills, one is mainly focused on reading skills, while the other is focused on listening and speaking skills using authentic language from movies.</p> <p>In the first stage of the class, students will acquire the study skills necessary for success in English studies. Students will be provided guidelines for efficient use of a dictionary, reading and using English handwriting, understanding phonetic transcriptions, taking notes, etc.</p> <p>In the reading section, students will develop the skills necessary to use professional journals, books, websites, and other media in order to conduct academic research after advancing to their major area.</p> <p>In the section using movies, students will develop oral communication skills. They will also be introduced to various foreign cultures through these movies in order to promote intercultural understanding.</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>Learners will be able to: (1) identify a limited range of common expressions and specific facts, (2) recognize a few simple explicit appeals for repetition and clarification, (3) communicate haltingly with a limited range of common everyday vocabulary, (4) use a variety of simple grammatical structures with some errors, although inaccuracy may impede communication, (5) comprehend the main ideas without dictionary use, (6) identify the meaning of a limited number of familiar vocabulary in the texts, (7) locate a piece of specific information.</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>This required freshman course is taught twice a week by a Japanese teacher with a background in TESOL. It is taught in conjunction with Integrated English B courses that focus on improving speaking, listening, and writing skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.</p>		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>In the reading section, students will work on various classroom activities and drills in the textbook. In the movie section, students will learn English colloquial expressions, slang, jokes, taboos, body languages, etc. by cloze dictation, shadowing, pair work, role play, etc. Students will also use scenarios and captions to improve reading and writing abilities.</p> <p>Students will be required to work on many assignments outside of class. To develop reading skills, students will be required to complete a number of outside assignments. To develop listening skills, students are to use CALL system in the DVD Laboratories in the library.</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>Weeks 1-2 Introduction to Course and Study Skills Weeks 3-4 Reading: Unit 1 Study Skills Weeks 5-6 Reading: Unit 2 Study Skills Weeks 7-8 Reading: Unit 3 Movie: Lesson 1 (Serving Society) First TEST Weeks 9-10 Reading: Unit 4 Movie: Lesson 2 (The Man) Weeks 11-12 Reading: Unit 5 Movie: Lesson 3 (Required Class Project) Weeks 13-14 Reading: Unit 6 Movie: Lesson 4 (Creating Musical Fusion) Second TEST Week 15 Second Test Review</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	<p>1) Textbook: Pathways—Opening the Doors to EPUU (2016), Seibido 2) Textbook: Eigo no Tadashi Hatsuon no Shikata (1994), Keinan Iwamura, Kenkyusha 3) Textbook: Active Skills for Reading: Intro (3rd Edition), Neil J. Anderson, Thomson Heinle 4) Textbook: School of Rock, Screenplay Corporation</p>		

成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (Active Participation, Homework/Assignments, First Test, Second Test) 30% Common Final Exam
学習上の助言／Learning Advice	It is important to manage your own level of English skills: Set your personal improvement goals, try to work toward those goals as hard as possible, and always monitor your progress. クラス変更をする場合がありますので、購入したテキストには、指示があるまで（名前を含めて）書き込みを一切しないでください。
キーワード／Keywords	
備考／Notes	

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I B 農③・農④(β)/Integrated English I B		
担当教員(所属)/Instructor	マイケル ワード(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G211200
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 9, 火/Tue 10	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	マイケル ワード(mforward1977@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	マイケル ワード(講義終了後対応します。)		
授業の内容/Course Description	Students focus on the strategies and skills of speaking, listening, and writing in English.		
授業の達成目標/Course Goals	Students will be able to:(1) use a full range of explicit and implicit communication strategies (questioning, repetition, clarification, etc.) to improve speaking fluency and listening abilities,(2) discover unspecified facts and inferred meaning as they develop their own opinions about topics and situations,(3) speak the target language fluently by identifying and using an extensive range of real world vocabulary and commonly used idiomatic expressions, (4) use a full range of structures with limited grammar errors that rarely affect communication, (5) recognize and practice native-like pronunciation patterns to make communication clear, and (6) develop and organize written language using complex structures to support and prepare for functional communication.		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	This required freshman course is taught once a week by a native English-speaking teacher. It is taught in conjunction with Integrated English A courses that focus on improving speaking, listening, and reading skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work together in pairs and small groups during class activities to improve communication fluency. Activities will include among other things: (1) listening to authentic conversations texts, and presentations to develop in-depth ideas and opinions about topics, (2) asking and answering questions to practice discussion skills, (3) keeping a vocabulary notebook, (4) grammar and pronunciation practice, and (5) writing paragraphs and texts to prepare for class activities.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 0, Weeks 3-4 Units 1-2, Weeks 5-6 Units 3 and Review, Weeks 7-8 1st Test and Test Review, Weeks 9-10 Units 4-5, Weeks 11-12 Units 6-7, Weeks 13-14 Review and 2nd Test, Week 15 2nd Test Review		
教科書・参考書等/Textbooks	Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills , Pre Intermediate Second Edition Graham-Marr, A., et. al., ABAX Ltd. Tokyo.		
成績評価の方法/Evaluation	70% Class Work (15% Participation, 15% Homework, 15% 1st Test, 15% 2nd Test, 5% Clinic 5% EPUU Times Quiz) 30% Common Final Exam		
学習上の助言/Learning Advice	This is a great opportunity for you to improve your communication using English and share your ideas with other students. It' s also a great chance to communicate with native English speaking teachers. Enjoy speaking English and succeed in class!		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I B 農③・農④(γ)/Integrated English I B		
担当教員(所属)/Instructor	スティーブ ドゥーリー(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G211213
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 9, 火/Tue 10	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	スティーブ ドゥーリー(stevedooleyjapan@yahoo.co.uk)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	スティーブ ドゥーリー(講義終了後対応します。)		
授業の内容/Course Description	Students focus on the strategies and skills of speaking, listening, and writing in English.		
授業の達成目標/Course Goals	Students will be able to: (1) use a full range of explicit and implicit communication strategies (questioning, repetition, clarification, etc.) to improve speaking fluency and listening abilities, (2) discover unspecified facts and inferred meaning as they develop their own opinions about topics and situations, (3) speak the target language relatively fluently by identifying and using a substantial range of real world vocabulary and a variety commonly used idiomatic expressions, (4) use a variety of structures with few grammar errors, although communication breakdowns may occasionally occur, (5) recognize and practice native-like pronunciation patterns to make communication clear, and (6) develop and organize written language using a wide variety of structures to support and prepare for functional communication.		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	This required freshman course is taught once a week by a native English-speaking teacher. It is taught in conjunction with Integrated English A courses that focus on improving speaking, listening, and reading skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work together in pairs and small groups during class activities to improve communication fluency. Activities will include among other things:(1) asking and answering questions, (2) writing a vocabulary notebook, (3) grammar and pronunciation practice, (4) listening to and practicing real conversations and communication about topics, and (5) writing paragraphs and texts to prepare for class activities.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 0, Weeks 3-4 Units 1-2, Weeks 5-6 Units 3 and Review, Weeks 7-8 1st Test and Test Review, Weeks 9-10 Units 4-5, Weeks 11-12 Units 6-7, Weeks 13-14 Review and 2nd Test, Week 15 2nd Test Review		
教科書・参考書等/Textbooks	Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills , High Beginner Second Edition Graham-Marr, A., et. al., ABAX Ltd. Tokyo.		
成績評価の方法/Evaluation	70% Class Work (15% Participation, 15% Homework, 15% 1st Test, 15% 2nd Test, 5% Clinic 5% EPUU Times Quiz) 30% Common Final Exam		
学習上の助言/Learning Advice	This is a great opportunity for you to improve your communication using English and share your ideas with other students. It' s also a great chance to communicate with native English speaking teachers. Enjoy speaking English and succeed in class!		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Integrated English I B 農③・農④(δ)/Integrated English I B		
担当教員(所属)/Instructor	ルーク ウィン(基盤教育)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G211226
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 9, 火/Tue 10	単位数/Credits	1単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	ルーク ウィン(lukebwinn@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	ルーク ウィン(講義終了後対応します。)		
授業の内容/Course Description	Students focus on the strategies and skills of speaking, listening, and writing in English.		
授業の達成目標/Course Goals	Students will be able to:(1) use a full range of explicit and implicit communication strategies (questioning, repetition, clarification, etc.) to improve speaking fluency and listening abilities,(2) discover unspecified facts and inferred meaning as they develop their own opinions about topics and situations,(3) speak the target language fluently by identifying and using an extensive range of real world vocabulary and commonly used idiomatic expressions, (4) use a full range of structures with limited grammar errors that rarely affect communication, (5) recognize and practice native-like pronunciation patterns to make communication clear, and (6) develop and organize written language using complex structures to support and prepare for functional communication.		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	This required freshman course is taught once a week by a native English-speaking teacher. It is taught in conjunction with Integrated English A courses that focus on improving speaking, listening, and reading skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.		
前提とする知識/Prerequisites	High school level English		
関連科目/Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work together in pairs and small groups during class activities to improve communication fluency. Activities will include among other things:(1) asking and answering questions, (2) writing a vocabulary notebook, (3) grammar and pronunciation practice, (4) listening to and practicing real conversations and communication about topics, and (5) writing paragraphs and texts to prepare for class activities.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 0, Weeks 3-4 Units 1-2, Weeks 5-6 Units 3 and Review, Weeks 7-8 1st Test and Test Review, Weeks 9-10 Units 4-5, Weeks 11-12 Units 6-7, Weeks 13-14 Review and 2nd Test, Week 15 2nd Test Review		
教科書・参考書等/Textbooks	Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills , High Beginner Second Edition Graham-Marr, A., et. al., ABAX Ltd. Tokyo.		
成績評価の方法/Evaluation	70% Class Work (15% Participation, 15% Homework, 15% 1st Test, 15% 2nd Test, 5% Clinic 5% EPUU Times Quiz) 30% Common Final Exam		
学習上の助言/Learning Advice	This is a great opportunity for you to improve your communication using English and share your ideas with other students. It's also a great chance to communicate with native English speaking teachers. Enjoy speaking English and succeed in class!		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) ／Course Title	Integrated English I B 農③・農④(ε)／Integrated English I B		
担当教員(所属)／Instructor	ジャック アレン スタワーズ(その他)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G211239
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 火 /Tue 9, 火/Tue 10	単位数／Credits	1単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	ジャック アレン スタワーズ(jjackallenn@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	ジャック アレン スタワーズ(講義終了後対応します。)		
授業の内容／Course Description	Students focus on the strategies and skills of speaking, listening, and writing in English.		
授業の達成目標／Course Goals	Students will be able to:(1) use a full range of explicit and implicit communication strategies (questioning, repetition, clarification, etc.) to improve speaking fluency and listening abilities,(2) discover unspecified facts and inferred meaning as they develop their own opinions about topics and situations, (3) speak the target language fluently by identifying and using an extensive range of real world vocabulary and commonly used idiomatic expressions, (4) use a full range of structures with limited grammar errors that rarely affect communication, (5) recognize and practice native-like pronunciation patterns to make communication clear, and (6) develop and organize written language using complex structures to support and prepare for functional communication.		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	This required freshman course is taught once a week by a native English-speaking teacher. It is taught in conjunction with Integrated English A courses that focus on improving speaking, listening, and reading skills, in addition to increasing cultural awareness. These courses are prerequisites for a variety of second-year, Advanced English I courses from which students can choose and which focus on more specific skills.		
前提とする知識／Prerequisites	High school level English		
関連科目／Related Courses	High school level English		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work together in pairs and small groups during class activities to improve communication fluency. Activities will include among other things: (1) listening to authentic conversations texts, and presentations to develop in-depth ideas and opinions about topics, (2) asking and answering questions to practice discussion skills, (3) keeping a vocabulary notebook, (4) grammar and pronunciation practice, and (5) writing paragraphs and texts to prepare for class activities.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Unit 0, Weeks 3-4 Units 1-2, Weeks 5-6 Units 3 and Review, Weeks 7-8 1st Test and Test Review, Weeks 9-10 Units 4-5, Weeks 11-12 Units 6-7, Weeks 13-14 Review and 2nd Test, Week 15 2nd Test Review		
教科書・参考書等／Textbooks	Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills , Starter Second Edition, Graham-Marr, A., et. al., ABAX Ltd. Tokyo.		
成績評価の方法／Evaluation	70% Class Work (15% Participation, 15% Homework, 15% 1st Test, 15% 2nd Test, 5% Clinic 5% EPUU Times Quiz) 30% Common Final Exam		
学習上の助言／Learning Advice	This is a great opportunity for you to improve your communication using English and share your ideas with other students. It' s also a great chance to communicate with native English speaking teachers. Enjoy speaking English and succeed in class!		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	人間と社会/Human and Society		
担当教員(所属)/Instructor	末廣 啓子(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G870014
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 火 /Tue 9, 火/Tue 10	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	末廣 啓子(suehirok@cc.utsunomiya-u.ac.jp 事前にメールで、またはキャリアセンターへ連絡してください)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	末廣 啓子(前期 水 16:30-17:30 後期 月 14:30-15:30)		
授業の内容/Course Description	経済・社会の変化に伴って、働き方・働かせ方が大きく変化している。その中で生涯を通じてどのようにどんな職業と関わるのか、どう生きるのかを考え、主体的に選択していくこととなる。そのためにはまず、自分が船出していくこの社会や経済、産業、職業など働くことに関する現実を正しく理解することがとても大切である。この授業はこうした働くことに関するさまざまなテーマについて最新の情報により、その実態と課題を正しく理解するとともに、視野を広げ、自分の進路について考えるきっかけを得ることができる基礎的なキャリア教育科目である。		
授業の達成目標/Course Goals	自分がどんなキャリアデザインを描くのか、どんな職業選択をするのか、そのためにはどんな大学生活を送ったらよいかを考える材料ときっかけとして、まず、大きく変容している経済・社会、産業そして、企業経営・人事の方針、働き方の多様化、職業の実態と問題点、働く者を守る法制度などを正しく理解する。		
学習・教育目標との関連/Educational Goals	変化する社会の中で未来を切り開く知力と行動力を持ち、社会的・職業的に自立して新しい時代に自分らしく活躍するために必要な、基盤となる姿勢と能力を育成する場を提供する。		
前提とする知識/Prerequisites	特になし		
関連科目/Related Courses	特になし		
授業の具体的な進め方/Course Methodologies	経済、産業、企業、労働、雇用等に関する様々なテーマについて、講義形式で最新の情報を提供して解説するほか、企業人等の外部講師による講義、インタビュー、受講生同士で意見や情報交換をするグループワークなども交え多面的に展開する。全学部・全学年の人と共に学び、話し合うことができることが大きな特徴である。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等)/Class Schedule	<p>1 イントロダクション(授業のねらい、授業計画等)</p> <p>2 いま、はたらくとは何か(現実を認識し、働くことの意味を問い直す)</p> <p>①若年者の雇用・失業問題とその対応(高水準の完全失業率・離職率、ニート・フリーター問題を考える、など)</p> <p>②産業・職業の動向、企業の経営・人事戦略の変化と企業の求める人材、働き方の多様化(「終身雇用」の変化、就業・雇用形態の多様化、など)</p> <p>③働く人の側の変化(高齢化・少子化、女性の進出、など)</p> <p>④今、会社はどうなっているか、若者に何を期待するか(企業の人事担当者などのゲストスピーカーを予定)</p> <p>⑤ベンチャー企業等新規創業の役割と実態(ベンチャー企業等新規創業の役割と実態、起業家精神育成教育(小・中・高校生向けプログラム)、創業支援など)</p> <p>⑥男女の雇用機会均等、仕事と生活の調和に向けての取り組み</p> <p>⑦働くときに必要な労働関係の法制度・政策(働く者を保護する法制度や仕組みと実態、労働組合の活動、様々な雇用対策)</p> <p>3. 職業とは、働くとは、キャリアとは (自分らしい生き方、キャリア形成に向けて)</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	参考書 「キャリアのみかた一冊で見る110のポイント」 阿部正浩他 有斐閣 その他、適宜参考資料などを配布する		
成績評価の方法/Evaluation	出席日数(30%)、授業への参加状況(期中レポートを含む)及び期末レポート		
学習上の助言/Learning Advice	皆さんが卒業して出ていく社会や経済は様々な変化しています。それに目を向け好奇心と意欲を持って参加してください。1,2年生からの履修をお勧めしますが、就職活動に入る時期の学生にも知ってほしい基本的な知識です。陽東で開講します。(全学部対象です)		

キーワード/Keywords	働く、職業、キャリア、企業経営、多様な働き方
備考/Notes	

授業科目名(英文名) ／Course Title	働くことの意味と実際(グローバル時代のキャリア形成)／The Meaning and the Reality of Work		
担当教員(所属)／Instructor	平林 正樹(その他)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G870550
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 火 /Tue 9, 火/Tue 10	単位数／Credits	2単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	平林 正樹(masaki_hirabayashi@yahoo.co.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	平林 正樹(授業終了後に対応します。その他は、e-mailで予約をして下さい。)		
授業の内容／Course Description	やりがいのある仕事を通じて自己の成長を図り、グローバルな時代の中で自らのキャリアを形成していくためには、何を身につけるべきか。日本IBMの人事に所属する担当教員と共に働く人々のリアルな姿を捉えながら、「働くことの意味」について考えていきます。		
授業の達成目標／Course Goals	(1) グローバルな時代における経済環境と企業行動を理解する、(2) 社会で働くうえで必要な「自律心」と「価値観」について考える、(3) 「学生から社会人への移行」に際して必要な基礎的な「キャリア観」(生きることや働くことをどのように捉えているか)を身につけ、適切な行動に向けて一歩踏み出す力を養う。		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	変化する社会の中で未来を切り開く知力と行動力を持ち、社会的・職業的に自立して新しい時代に自分らしく活躍するために必要な、基盤となる姿勢と能力を育成する場を提供する。		
前提とする知識／Prerequisites	前提とする知識は、特にありません。		
関連科目／Related Courses	後期開講科目である『企業のグローバル戦略とキャリア形成』と関連しますが、当科目はその「基礎編」の位置付けです。		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	基礎的な講義と共に、様々な「働くこと」に関連する記事・論文・映画などを題材に、働く人々の具体事例からキャリアについての自分の考えをまとめます。さらに、グループ・ディスカッション、発表などを通して様々な価値観に触れていくアクティブ・ラーニングです。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	①イントロダクション: 「学生目線」から「社会人目線」へ ②グローバル時代に「企業で働く」ということ ③グローバルな経済下における企業のビジネス活動 ④「大学生に対する企業の認識」と「新入社員の意識」～グローバル時代に如何に対応すべきか ⑤企業の理念、ビジョン、戦略 ⑥企業の採用活動から定着までの支援活動 ⑦映画から考える「キャリア自律」 ⑧働く人の「内的キャリア」 ⑨「島耕作」と「浜ちゃん」の内的キャリアに学ぶ ⑩なにが若者の早期離職をもたらすのか ⑪グローバル時代に求められる「英語によるコミュニケーション力」 ⑫いわゆる「ブラック企業」について考える ⑬働き方を考える～グローバルな視点でローカルに行動する ⑭企業に入社してからの働き方 ⑮「グローバル時代のキャリア形成」を考える		
教科書・参考書等／Textbooks	教科書はありません。講義ごとに資料を配布します。参考文献は、都度紹介します。		
成績評価の方法／Evaluation	評点の配分は、「授業への参画度／課題の提出／欠席点」(70%)と「期末レポート」(30%)の結果で評価します。		
学習上の助言／Learning Advice	「働くこと」のリアリティを見つめながら、グローバルな社会に旅立つ皆さんのキャリア形成を応援したいと考えています。能動的に参画する、意欲ある皆さんの受講を期待しています。		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) ／Course Title	Advanced English I (Essay Writing) α / Advanced English I (Essay Writing)		
担当教員(所属)／Instructor	ローリー バンウェル(基盤教育)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G240031
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 水 /Wed 1, 水/Wed 2	単位数／Credits	1単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	ローリー バンウェル(banwell@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	ローリー バンウェル(講義終了後対応します。)		
授業の内容／Course Description	Students practice using a process approach to essay writing in English.		
授業の達成目標／Course Goals	Students will be able to: (1) develop and write well-organized essays using outlines, (2) develop well-written communication using various organizational patterns and structures, (3) use examples, details, facts, and opinions to support their own ideas logically in writing, (4) use a wide range of appropriate vocabulary to signal organization and connections between ideas, and (5) use a large variety of grammatical structures with limited error.		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識／Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目／Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	Students will work individually and in small groups during class activities that will include among other things: (1) using pre-writing techniques to develop student ideas and topics, (2) practicing essay organizational structures such as an introduction with thesis statement, body and conclusion, (3) preparing outlines of ideas, (4) practicing grammar/sentence structure exercises in the text, (5) reading and analyzing model essays, (6) writing multiple drafts of essays, and (7) doing peer feedback/editing of class writing products.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	Week 1: Introduction to Course and Materials from Unit 1 (Nice to Meet You) Week 2: Unit 2 (My Family) Week 3: Unit 3 (I Like Soccer and Cooking) Week 4: Unit 4 (What Type of Music Do You Like?) Week 5 (What's for Lunch?) Week 6: Unit 6 (I'm a Sports Fan) Week 7: Unit 7 (Do You Want to See a Movie?) Week 8: Unit 8 (Time for a Trip) Week 9: Unit 9 (You've Got to Read This Book) Week 10: Unit 10 (Running Errands) Week 11: Unit 11 (Staying Healthy) Week 12: Unit 12 (People I Admire) Week 13: Unit 13 (I'm Scared) Week 14: Unit 14 (What Kind of Person Are You?) Week 15: Unit 15 (The Kind of Job I'd Like)		
教科書・参考書等／Textbooks	New Easy Writing (2008), Paul McLean. Macmillan Languagehouse		
成績評価の方法／Evaluation	40% Class Work (20% Active Participation, 20% Homework) 60% Essay Projects (Multiple-Draft Writing Projects)		
学習上の助言／Learning Advice	This course will help you to develop the skills necessary to write better essays.		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Advanced English I (Essay Writing) β / Advanced English I (Essay Writing)		
担当教員(所属) / Instructor	ガーランド ファツイクエ ローリンズ ジュニア(その他)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G240032
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 水 / Wed 1, 水 / Wed 2	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	ガーランド ファツイクエ ローリンズ ジュニア (godzillalovesjapan@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	ガーランド ファツイクエ ローリンズ ジュニア(講義終了後対応します。)		
授業の内容 / Course Description	Students practice using a process approach to move from paragraph to essay writing in English.		
授業の達成目標 / Course Goals	Students will be able to: (1) write organized paragraphs and essays, (2) develop written communication using various organizational patterns and structures, (3) use examples and details to support their own ideas in writing, (4) use appropriate vocabulary to signal organization and connections between ideas, and (5) use a variety of grammatical structures with limited error.		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識 / Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目 / Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	Students will work individually and in small groups during class activities that will include among other things: (1) using pre-writing techniques to develop student ideas and topics, (2) practicing paragraph and essay organizational structures such as topic sentences, thesis statements and conclusions, (3) practicing grammar/sentence structure exercises in the text, (4) reading and analyzing model paragraphs and essays, (5) writing multiple drafts of paragraphs and essays, and (6) doing peer feedback/editing of class writing products.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	Week 1: Introduction to Course and Materials from Unit 1 (Nice to Meet You); Week 2: Unit 2 (My Family); Week 3: Unit 3 (I Like Soccer and Cooking); Week 4: Unit 4 (What Type of Music Do You Like?); Week 5 (What's for Lunch?); Week 6: Unit 6 (I'm a Sports Fan); Week 7: Unit 7 (Do You Want to See a Movie?); Week 8: Unit 8 (Time for a Trip); Week 9: Unit 9 (You've Got to Read This Book); Week 10: Unit 10 (Running Errands); Week 11: Unit 11 (Staying Healthy); Week 12: Unit 12 (People I Admire); Week 13: Unit 13 (I'm Scared); Week 14: Unit 14 (What Kind of Person Are You?); Week 15: Unit 15 (The Kind of Job I'd Like)		
教科書・参考書等 / Textbooks	New Easy Writing (2008), Paul McLean. Macmillan Languagehouse.		
成績評価の方法 / Evaluation	40% Class Work (20% Active Participation, 20% Homework) 60% Essay Projects (Multiple-Draft Writing Projects)		
学習上の助言 / Learning Advice	This course will help you to develop the skills necessary to write better essays.		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) / Course Title	ことばから見た人間/Language(s) and the Human Being		
担当教員(所属)/Instructor	佐々木 一隆(国際学部国際文化学科)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G381522
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 1, 水/Wed 2	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可(出願前面談有)		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours			
授業の内容/Course Description	「ことば」に対する言語学的(科学的)な接近法の初歩を学び、その視点から人間の有様や営みの諸相について考察します。		
授業の達成目標/Course Goals	言語への記述的・科学的な態度を身に付け、言語の関わる諸事象に対して理性的な思考をできるようにすることをめざします。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	教養科目中の人文総合領域科目であり、幅広い複合的な問題に対する科学的・論理的な思考を主体的かつ柔軟に行えるようになるための素地を養います。		
前提とする知識/Prerequisites	特にありません。		
関連科目/Related Courses	特にありません。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	形態は「講義」としてありますが、実際には対受講者または受講者間の質疑応答や議論、あるいは演習や課題などをまじえて授業を進めます。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>以下のような話題をめぐって、関連する身近な問題を考えてゆく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス：ことばをめぐる状況 2. ことばが伝えるもの 3. ことばについての幻想 4. ことばの勝者とことばの幸福 5. ことばの多様性と方言 6. ことばとアイデンティティ 7. ことばの標準と規範 8. 変わりゆくことば 9. ことばをさかのぼる 10. ことばと社会 11. ことばの獲得と喪失 12. ことばと文化 13. ことばを聞き、書く 14. ことばで伝える 15. まとめ：ことばを科学的に見る 		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書：加藤重広『学びのエクササイズことばの科学』ひつじ書房。 参考書等：授業中に随時紹介します。		
成績評価の方法/Evaluation	授業への取組(40%)と課題(60%)を総合評価します。		
学習上の助言/Learning Advice	ことばの不思議を体験して、ことばへの興味が増し、自分でことばを探求できるようになれば幸いです。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) ／Course Title	日本国憲法／The Constitution of Japan		
担当教員(所属)／Instructor	黒川 亨子(教育学部)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G400134
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 水 /Wed 1, 水/Wed 2	単位数／Credits	2単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	黒川 亨子(メールアドレス kurokawa@cc. 電話番号(内線) 5285)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	黒川 亨子(前期:水曜10:30~11:30 後期:水曜14:30~15:30 (事前にメールでアポを取ってください))		
授業の内容／Course Description	憲法とは、国民の人権を保障するために、国家権力を制限し拘束する規範である。講義では、人権論を中心に検討していく。また、可能な限り最高裁判例等の事例を紹介する。		
授業の達成目標／Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法の基本概念を修得すること ・憲法の重要判例を理解し、批判的に考察できること 		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	幅広く深い教養を修得するにあたり、憲法を中心にしてこれからの社会や国のあり方を考える科目である。教員免許取得希望者においては、必修の科目である。		
前提とする知識／Prerequisites	特になし		
関連科目／Related Courses	「法学概論」および「法学入門」 「法学特講B」(教育学部専門科目)において、日本国憲法の刑事手続に関する規定(憲法31条ないし憲法40条)を取り上げる。		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	講義形式で行う。毎回配付するレジュメに従って講義をすすめる。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	第1回 ガイダンス、憲法を学ぶ意義 第2回 憲法と立憲主義、国民主権 第3回 平和主義 第4回 基本的人権①一人権の歴史と人権享有主体 第5回 基本的人権②一人権の限界 第6回 基本的人権③一包括的基本権と法の下での平等 第7回 基本的人権④一精神的自由権(思想・良心の自由) 第8回 基本的人権⑤一精神的自由権(信教の自由、学問の自由) 第9回 基本的人権⑥一精神的自由権(表現の自由の意義) 第10回 基本的人権⑦一精神的自由権(表現の自由の限界) 第11回 基本的人権⑧一経済的自由権(職業選択の自由) 第12回 基本的人権⑨一経済的自由権(居住移転の自由、財産権) 第13回 基本的人権⑩一身体の自由 第14回 基本的人権⑪一参政権 第15回 基本的人権⑫一社会権(生存権)		
教科書・参考書等／Textbooks	最新版の六法(ポケット六法(有斐閣)またはデイリー六法(三省堂))を毎回持参すること。レジュメや資料は、こちらで用意し配付する。参考文献等は、適宜紹介する。教科書は、芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第6版)』(岩波書店、2015年)を指定する。必ず購入すること。参考文献として『憲法判例百選Ⅰ 第6版』および『憲法判例百選Ⅱ 第6版』(有斐閣、2013年)をあげておく。		
成績評価の方法／Evaluation	学期末試験(論述式)で評価する。		
学習上の助言／Learning Advice	本講義を通じて、改めて憲法の実在意義を考えてほしい。		
キーワード／Keywords			
備考／Notes	教育学部1年生は、この授業(前期水曜1-2限)を受講すること(詳細は掲示を確認)。		

授業科目名(英文名) /Course Title	数理経済学入門/Introduction of Economics and Mathematics		
担当教員(所属)/Instructor	加藤 弘二(農学部農業経済学科)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G422100
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 1, 水/Wed 2	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours			
授業の内容/Course Description	数学を利用したモデルによって、経済学の考え方を理解する。		
授業の達成目標/Course Goals	ミクロ経済学の基礎を学び、経済学の考え方・センスを身につける。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	経済学の理解を通して、現実社会の様々な問題に対応可能な理解力や思考能力を養う。		
前提とする知識/Prerequisites	基本的な微分の知識		
関連科目/Related Courses	基本的な微分の知識		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	教科書に沿った内容で講義を進め、関連する数学モデルを説明する。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	1)経済学とは 2)意思決定 3)時間：利子率と現在価値 4)リスク 5)取引と比較優位 6)ゲーム理論入門 7)パレート最適 8)同時手番ゲーム 9)オークション 10)需要と供給 11)税金 12)限界分析 13)弾力性 14)経済学と数学 15)経済学で世界を見渡すと		
教科書・参考書等/Textbooks	【教科書】 ヨラム・パウテン『この世で一番おもしろいミクロ経済学』ダイヤモンド社		
成績評価の方法/Evaluation	期末テスト100%		
学習上の助言/Learning Advice	理系の学生の受講も歓迎します。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	人文地理学入門Ⅰ / Introduction to Human Geography Ⅰ		
担当教員(所属) / Instructor	佐々木 史郎(国際学部)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G440130
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 水 / Wed 1, 水 / Wed 2	単位数 / Credits	2単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	佐々木 史郎(sasakis@cc.utsunomiya-u.ac.jp 内線5222)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	佐々木 史郎(月曜日 12:10~13:10 峰町5号館A棟(国際学部A棟)2階 佐々木(史)資料室)		
授業の内容 / Course Description	宇都宮市・栃木県内からいくつかの事例地域を取り上げ、地図や景観写真の判読を通して土地と人間生活との関わり方を検討しながら、人文地理学的な関心や視点を理解させることを目的とする。		
授業の達成目標 / Course Goals	本学が立地する宇都宮市・栃木県の地誌について理解を深めるとともに、地図を通してその土地の様子を探る視点を養う。		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	幅広く深い教養と豊かな人間性を身につけるための教養教育において、社会科学系地理学分野の科目として開設する。		
前提とする知識 / Prerequisites	中学校社会「地理的分野」程度の基礎的理解を前提とする以外は、特別な知識・技能は要求されないが、野外での観察力と好奇心が期待される。 水曜7-8時限の「野外調査論」を合わせて受講することを勧めたい。		
関連科目 / Related Courses	中学校社会「地理的分野」程度の基礎的理解を前提とする以外は、特別な知識・技能は要求されないが、野外での観察力と好奇心が期待される。 水曜7-8時限の「野外調査論」を合わせて受講することを勧めたい。		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	宇都宮市・栃木県内でみられる特徴的な地理的事象について、地図や景観写真を用いた作業課題を行いながら、土地に刻まれた人間活動のあり方を検討していく。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(授業計画、履修上の注意、分野の特徴と基本概念) 2. 期末レポートの課題と調査・執筆要領、日本の位置と国土の基礎的理解 3. 明治期以降の栃木県・宇都宮市の沿革 4. 大縮尺地図で見る宇都宮(その1) 5. 大縮尺地図で見る宇都宮(その2) 6. 宇都宮西郊の特色ある景観 7. 宇都宮東郊の特色ある景観 8. 扇状地の土地と生活: 那須野原 9. 火山地域の土地と生活: 那須岳周辺 10. 旧足尾銅山地区の過去と現在 11. 沖積低地の土地と生活: 思川・巴波川・渡良瀬川流域 12. 両毛線沿線の都市景観 13. 世界遺産都市日光 14. 「日光市」のもう一つの顔 15. 補足とまとめ 		
教科書・参考書等 / Textbooks	教科書はとくに指定せず、配付資料および視聴覚教材により授業をおこなうが、各自で地図帳を用意するのが望ましい。参考書は授業の中で適宜紹介する。なお、図上作業を数回予定しているので、3色程度の色鉛筆かマーカーを用意しておくとうい。		
成績評価の方法 / Evaluation	毎授業時の小課題(25%)と指定課題による期末レポート(60%)および随時紹介するテーマについての任意提出課題(15%)の成績を総合して評価する。		
学習上の助言 / Learning Advice	レポートの課題と作成要領、授業日程の変更等、授業に関する重要情報は国際学部Moodleで周知します。授業で登録キーを確認したら、速やかに登録を済ませ、随時掲示内容を確認して下さい。 期末レポートには、書物やインターネットで調べるものでなく、各自の野外調査を前提とした課題を出します。外歩きの好きな人の受講を期待します。		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) ／Course Title	オイコス入門／Introduction to Oikosu		
担当教員(所属)／Instructor	赤塚 朋子(教育学部)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G475673
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 水 /Wed 1, 水/Wed 2	単位数／Credits	2単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	赤塚 朋子(電話：028-649-5368 e-mail：akatsuka@cc.)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	赤塚 朋子(木曜日 12:20 - 12:50)		
授業の内容／Course Description	現代社会に資する基本的な学問を取り上げ検討するとともに、学際的な視野から今後の学問について考えます。		
授業の達成目標／Course Goals	学問の基礎を学び、学問の面白さを知るとともに、学問を探究する力をつけることを目標とします。		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	学問の基礎を学ぶと共に、現代社会に参画しながらつくり続ける幅広く、深い教養を身につけます。		
前提とする知識／Prerequisites	特にありません。		
関連科目／Related Courses			
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	学問とは何かを考えるうえで重要と思われる人間と生活を中心に、オイコスに関連した学問や学問背景を取り上げていきます。質疑応答、議論の場も設けます。毎回授業の終わりに授業に関連した考察や次の授業のテーマに関する記述を書いて提出してもらいます。中間レポート、および期末試験を課します。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	第1週 オリエンテーション 第2週 オイコスとは何か 第3週 アリストテレスを読む1 第4週 アリストテレスを読む2 第5週 ソクラテスを読む 第6週 クセノフォンを読む1 第7週 クセノフォンを読む2 第8週 人間と生活 第9週 人間の生活と自然環境 第10週 人間の生活と社会環境 第11週 人間の生活と社会環境 第12週 人間の生活と生活環境 第13週 人間の生活と生活環境 第14週 学問の今後 第15週 まとめ		
教科書・参考書等／Textbooks	教科書：特に指定しません。 参考書：授業時に紹介します。 教 材：資料を適宜配布します。		
成績評価の方法／Evaluation	出席及び授業参加(35%)、中間レポート(30%)、期末試験(35%)をもとに、総合的に判断します。		
学習上の助言／Learning Advice	「果たしてそうだろうか」を一緒に考えたい。		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	放射線科学入門/Introduction to Radiation Science		
担当教員(所属)/Instructor	東口 武史(工学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G512333
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 1, 水/Wed 2	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可(出願前面談有)		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	東口 武史(電話番号:6087(内線) E-mail: higashi@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	東口 武史(事前にメールなどで連絡すること。 陽東キャンパス 東口准教授室(4-210))		
授業の内容/Course Description	<p>大多数の学生向けに、放射線とは何かなど、身近にある放射線について理解を深めていけるように解説します。本来、放射線の分野は物理学であることから、数式が多く出てくると思っているかもしれませんが、本講義では、なんとなくこう思っている、という感覚や思い込みを、少しでも正しく理解できるようになることを目指しています。医療分野などで使われている放射線などについても知って、世の中にある多くの情報を鵜呑みにせず、その背景にも触れて、放射線の科学に興味をもっていくことができるようにと願っています。</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<p>自然科学に関する基本的な知識や技能を修得し、また、現代の科学技術および最先端の研究に関する知識に触れて、方法論を学ぶことによって、自然科学に関する幅広い教養を身につけることを達成目標とします。</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	自然科学に関する幅広い基礎知識を身につけることを目標とします。		
前提とする知識/Prerequisites	特に必要な知識や経験はありません。		
関連科目/Related Courses	特になし。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	スライドや黒板を用いて講義形式で行います。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>第1回 イン트로ダクション 第2回 放射線と放射能の違い, X線 第3回 単位の違い(ベクレル, グレイ,シーベルト) 第4回 放射線の種類と性質の違い 第5回 放射性物質と半減期 第6回 化学反応と核反応に必要なエネルギー量の違い 第7回 中性子 第8回 核分裂, 原子炉の仕組み(1) 第9回 核分裂, 原子炉の仕組み(2) 第10回 放射性廃棄物 第11回 放射線の利用分野 第12回 放射線の医療応用 第13回 どんなところで役に立っているか?:年代測定などを通して 第14回 加速器の仕組みと放射性物質の生成 第15回 まとめ</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	なし		
成績評価の方法/Evaluation	学習目標の達成度を評価するために期末のレポート(100点)を課し、60点以上を合格とします。		
学習上の助言/Learning Advice	基本的なしくみを理解し、今後のキャリア形成に役立ててください。		
キーワード/Keywords	放射線, 放射能		
備考/Notes	この科目では、受講者数を40名に限定します。オーバーしたときは、教育学部、農学部、国際学部、地域デザイン学部、工学部の順に優先します。		

授業科目名(英文名) /Course Title	地球環境と化学/Global Environment in Chemistry		
担当教員(所属)/Instructor	木村 隆夫(工学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G520558
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 1, 水/Wed 2	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	木村 隆夫(電話番号 028-689-6140 E-メールアドレス kimurat@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	木村 隆夫(授業開講曜日の12:00~12:50)		
授業の内容/Course Description	今騒がれている「地球環境の問題」を化学的な視野から捉え、最新のデータ、サンプルを明示しながら、また視聴覚教材を使いながら、わかりやすく解説します。調査発表を通して、学生側から発信してもらい、全員参加型の授業にしたいと考えています。		
授業の達成目標/Course Goals	「かけがえのない地球」で、我が物顔にふるまう人類は知恵をしぼり、色々なエネルギー資源を利用しながら、豊かな(?)物質文明を築き上げてきました。そのお陰で人類(特に先進国の人間)は「便利で快適な暮らし」を手に入れることができました。しかしながら、その一方でごく短期間のうちに「自然破壊」「環境汚染」と言う深刻なダメージを地球に与えてしまったことも事実です。この講義では、地球環境問題の全体像と実態を把握し、化学的な視野からその原因と対策を探ることを目標にしています。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	本授業は、現在社会に必要な素養と幅広く深い教養と豊かな人間性を身につけることをねらいとしています。		
前提とする知識/Prerequisites	特にありません。		
関連科目/Related Courses	特にありません。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	下記の授業計画に従って進めますが、理解度を深めるために適宜プリントを配布し、ビデオ・DVD視聴覚教材による事例紹介を行います。また、聴講するだけの受け身の授業にならないように、グループ毎の調査発表および総合討論も予定しています。なお、授業時間外の学習としてインターネット検索等による「地球環境の問題」に関する情報収集に心がけてください。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1週オリエンテーションと序論 第2週エネルギー資源 第3週地球の温暖化 第4週オゾン層の破壊 第5週事例紹介1 第6週酸性雨 第7週水質汚染 第8週化学物質汚染 第9週ごみとリサイクル 第10週事例紹介2 第11~14週調査発表 第15週事例紹介3		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書:特に指定しません。 参考書:多く出版されているので、自分で興味を持ち、読みやすいものを探すと良い。例えば、「栃木から世界をのぞく・みんなの環境学」下野新聞新書(宇大の多くの先生方の環境への取り組みをわかりやすく、幅広く紹介しています。)		
成績評価の方法/Evaluation	レポート20%、プレゼンテーション20%、期末試験60%の配分で評価し、60点以上(100点満点)を合格とします。		
学習上の助言/Learning Advice	「かけがえのない地球」にこれ以上の負荷をかけないためにも、大量資源採取・大量生産・大量消費・大量廃棄の経済社会から、資源循環型の経済社会への転換が強く望まれます。この授業を通して、一人一人が危機感を持って身近な問題として地球環境を意識し、自然との調和、生態系の中での命のつながりを大切に、今、自分は何をすべきか、自分に何ができるかを真剣に考えてほしい。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Advanced English I (Cinema English) α / Advanced English I (Cinema English)		
担当教員(所属) / Instructor	川田 牧人(基盤教育)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G240113
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 水 /Wed 3, 水 / Wed 4	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact			
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	川田 牧人(最初の授業時に伝える。)		
授業の内容 / Course Description	English movies, which are designed for native speakers' entertainment rather than for foreign language education, are one of the most effective authentic materials for language learning. A movie presents real language: It is real because it is ungraded and unsimplified, spoken at a normal speed and in typical accents; It is real because it is current, using idioms and expressions common in contemporary English. In this course, using a movie as a learning material, and utilizing a CALL classroom, the DVD laboratory, and the EPUU Theater, students will improve their oral communication abilities, and deepen intercultural understanding.		
授業の達成目標 / Course Goals	Students will be able to: (1) improve listening comprehension ability, (2) develop oral communication skills, (3) realize how people in English-speaking countries live – their values, customs, clothing, food, and interactions with one another, and (4) write and discuss about cross-cultural aspects to become aware of their own culture.		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識 / Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目 / Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	Using the CALL system, students will work individually, in pairs, or in small groups during class activities that include: (1) repeated viewing in order to understand the situation, identify the characters, and observe other facets of the movie closely, (2) cloze dictation, (3) role play, etc. Through a movie, students will learn colloquial expressions, jokes, taboos, and body languages, besides learning various vocabulary and grammar/sentence structures with scenarios and captions. Outside of the class, to be exposed to a large amount of English, students will be assigned to watch as many movies as possible in the DVD laboratory, and the EPUU Theater.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	Week 1 Introduction to Course and Preview Weeks 2-3 Materials from Chapter 1 and 2, Weeks 4-6 Materials from Chapter 3 and 4, Weeks 7-9 Materials from Chapter 5 and 6, Weeks 10-12 Materials from Chapter 7 and 8, Weeks 13-15 Materials from Chapter 9 and 10,		
教科書・参考書等 / Textbooks	'Ghost' Screenplay Corporation		
成績評価の方法 / Evaluation	60% Class Work (30% Active Participation, 30% Cinema Reports) 40% Test(s)		
学習上の助言 / Learning Advice	Students will be required to prepare for each lesson and finish their homework. Also, active class participation is required.		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) ／Course Title	Advanced English I (TOEIC) α / Advanced English I (TOEIC)		
担当教員(所属)／Instructor	ローリー バンウェル(基盤教育)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G240121
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数／Credits	1単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	ローリー バンウェル(banwell@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	ローリー バンウェル(講義終了後対応します。)		
授業の内容／Course Description	Students practice higher level listening and reading strategies for success when taking TOEIC.		
授業の達成目標／Course Goals	Students will be able to: (1) understand and navigate the organization and format of the TOEIC, (2) build on English skills and knowledge they already have to understand complex listening and reading passages, (3) understand the spoken English of more difficult description, questioning, conversations, and short formal talks, (4) accumulate higher level vocabulary and grammar needed to understand short reading passages, (5) practice tips and strategies for dealing with the test item complexities, and (6) continue self-study after the course.		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識／Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目／Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	Students will work individually and together during class activities that will include among other things: (1) practicing incomplete sentence and word form exercises to study more complex grammar points often tested in TOEIC, (2) taking listening and reading mini practice tests that help students gather vocabulary and phrases for topics often used on TOEIC, (3) using CALL classroom technology to practice test taking skills, and (4) checking progress toward listening/reading goals.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	Week 1: Introduction to Course, Week 2: Unit 1 (Daily Life), Week 3: Unit 2 (Places), Week 4: Unit 3 (People), Week 5: Unit 4 (Travel), Week 6: Unit 5 (Business), Week 7: Test 1, Week 8: Unit 6 (Office), Week 9: Unit 7 (Technology), Week 10: Unit 8 (Personnel), Week 11: Unit 9 (Management), Week 12: Unit 10 (Purchasing), Week 13: Unit 11 (Finances), Week 14: Unit 12 (Media), Week 15: Final Test		
教科書・参考書等／Textbooks	Successful Keys to the TOEIC Test 1, Goal 500 (2010), Mizumoto and Stafford. Pearson Longman.		
成績評価の方法／Evaluation	50% Class Work (20% Active Participation, 30% Homework) 50% Exams (25% First Test , 25% Second Test)		
学習上の助言／Learning Advice	This course is for beginning level students who would like to gain practice with the TOEIC.		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Advanced English I (TOEIC) β / Advanced English I (TOEIC)		
担当教員(所属) / Instructor	ガーランド ファツイクエ ローリンズ ジュニア(その他)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G240122
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 水 / Wed 3, 水 / Wed 4	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	ガーランド ファツイクエ ローリンズ ジュニア (godzillalovesjapan@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	ガーランド ファツイクエ ローリンズ ジュニア(講義終了後対応します。)		
授業の内容 / Course Description	Students practice basic listening and reading strategies for success when taking TOEIC.		
授業の達成目標 / Course Goals	Students will be able to: (1) understand and navigate the organization and format of the TOEIC, (2) build on English skills and knowledge they already have to understand typical listening and reading passages, (3) understand the spoken English of basic description, questioning, conversations, and short formal talks, (4) accumulate the basic vocabulary and grammar needed to understand short reading passages, (5) practice basic tips and strategies for dealing with the test item complexities, and (6) continue self-study after the course.		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識 / Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目 / Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	Students will work individually and together during class activities that will include among other things: (1) practicing incomplete sentence and word form exercises to study fundamental grammar points often tested in TOEIC, (2) taking listening and reading mini practice tests that help students gather vocabulary and phrases for topics often used on TOEIC, (3) using CALL classroom technology to practice test taking skills, and (4) checking progress toward listening/reading goals.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	Weeks 1-2 Introduction to Course and Chapter 1 Listening Practice, Chapter 2 Unit 1 Weeks 3-4 Chapter 1 Listening Practice, Chapter 2 Unit 2 & 3, Chapter 3 Reading Practice Weeks 5-6 Chapter 1 Listening Practice, Chapter 2 Unit 4 & 5, Chapter 3 Reading Practice Week 7 Review and First Test Weeks 8-9 Chapter 1 Listening Practice, Chapter 2 Unit 6 & 7, Chapter 3 Reading Practice Weeks 10-11 Chapter 1 Listening Practice, Chapter 2 Unit 8 & 9, Chapter 3 Reading Practice Weeks 12-13 Chapter 1 Listening Practice, Chapter 2 Unit 10 & 11, Chapter 3 Reading Practice Week 14 Chapter 2 Unit 12, Chapter 3 Reading Practice Week 15 Second Test		
教科書・参考書等 / Textbooks	Taking the TOEIC 1, Wendi Shin, 2012 Compass Publishing Japan.		
成績評価の方法 / Evaluation	50% Class Work (20% Active Participation, 30% Homework) 50% Exams (20% First Test, 30% Second Test)		
学習上の助言 / Learning Advice	This course is for beginning level students who would like to gain practice with the TOEIC.		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) / Course Title	情報処理基礎(農経)/Basic Information Processing		
担当教員(所属)/Instructor	加藤 弘二(農学部農業経済学科)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G283020
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 木/Thu 3	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours			
授業の内容/Course Description	大学生に共通して必要な情報リテラシーとして、オフィス系ソフトウェアとウェブブラウザ、電子メールの標準的な使い方とそれらの間の有機的連携方法、ハードウェアの基本的な使い方、総合メディア基盤センターPC・学内LANの環境の理解といった内容を講義と実習を併用した形式で教授します。		
授業の達成目標/Course Goals	情報化社会で必要不可欠とされる情報リテラシー(情報機器の操作法、情報および情報手段を自主的に選択し活用していくための基礎的な能力)を習得することを目標とします。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	宇都宮大学の基盤科目であり、大学生にとって必要な情報リテラシーを習得するとともに、社会科学的な実証分析に不可欠な情報処理能力を身につける。		
前提とする知識/Prerequisites	とくにありません。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	講義と実習を併用した形で進めます		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1) 宇都宮大学における情報機器の利用法 2) 総合情報処理センターPCと学内LAN 3) 電子メールの利用、情報セキュリティ 4) ワードソフトと日本語入力 5) 文書の作成・編集 6) 表計算ソフトの概要 7) 表の作成、編集 8) グラフの作成 9) 複数シートの連携、データの抽出・整列 10) 図、画像などの文書への貼付け 11) プレゼンテーションソフトの基本操作 12) プレゼンテーションの実践 13) 学内情報検索 14) インターネットと情報倫理 15) ウェブにおける統計データの利用 		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書 システムテクニカルサービス 『情報処理入門 Windows8版 -Office2013対応-』		
成績評価の方法/Evaluation	授業中に指定した課題によって評価する。		
学習上の助言/Learning Advice	入学当初は、情報リテラシーの個人差が比較的大きいと思います。PCやインターネットに触れる機会が少なかった人は、気後れすることなく、わからない点を質問してください。高校時代にこれらを活用してきた人は、総合メディア基盤センターPCや学内LANの環境がこれまでの環境とどこが違うのかを注意して学んでください。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) ／Course Title	心理学と人権／Psychology and Human-rights		
担当教員(所属)／Instructor	橘川 真彦(教育学部学校教育教員養成課程学校教育コース 学校教育専攻)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G320991
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数／Credits	2単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours			
授業の内容／Course Description	人権問題発生の原因となる心理学的要因である偏見と差別の問題について講義する。		
授業の達成目標／Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ 偏見の形成・変容・消去のメカニズムと方法について理解する。 ・ 成人に対する人権学習における指導法や教材開発の能力や技能を習得する。 		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	基盤教育の教養科目である。偏見や差別問題、人権問題解決に果たす心理学の役割について学ぶ。		
前提とする知識／Prerequisites	特に求めません。		
関連科目／Related Courses	特に求めません。		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	講義が中心となります。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学と人権問題との関わり 2. 偏見と差別 3. 心理学と女性の人権 4. 心理学と子どもの人権 5. 心理学と高齢者の人権 6. 心理学と障害者の人権 7. 心理学と同和問題 8. 心理学と外国人の人権 9. 心理学とアイヌの人々の人権 10. 心理学とHIV・セン病元患者等の人権 11. 心理学と刑を終えて出所した人の人権 12. 心理学と犯罪被害者等の人権 13. 心理学とインターネットによる人権侵害 14. 心理学とその他の人権侵害 15. まとめ 		
教科書・参考書等／Textbooks	適宜プリントを配布します。		
成績評価の方法／Evaluation	出席状況(20%)及び期末試験(80%)を総合評価する。		
学習上の助言／Learning Advice	偏見と差別及び人権問題に興味がある学生の受講を希望します。		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	日本の小説		
担当教員(所属)/Instructor	鈴木 啓子(教育学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G381582
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	鈴木 啓子(suzukike@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	鈴木 啓子(金曜日10時~10時半、16時~17時。できれば、事前にメール等で予約しておこしてください。6号館3階、鈴木啓子研究室、芥川龍之介のイラストがウイックしている扉です。)		
授業の内容/Course Description	近代日本の掌編・短編小説を素材に、文学テクストを読むための知識や方法を具体的に提示し、文学および小説の真の面白さを伝授する。この講義のサブタイトルは「ディープノベルによろこそ」です。明治中期以降の日本で書かれた「深い小説」を、深く豊かに読み味わうためのレッスンである。		
授業の達成目標/Course Goals	日本の近代小説の特質と魅力を知り、文学的読書が主体的に行えるようになる。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	人文科学系科目の教育目標である「教養の根本である哲学、心理学、文学、芸術の入門を学び、人間の本性や行動の背景を理解するための基礎的な知識や考え方、文学、文化、芸術の評価や鑑賞のための基本を身につける」に関連する。		
前提とする知識/Prerequisites	特になし。		
関連科目/Related Courses	24~27年度、1年生むけに開講した「日本文学概説A」の内容と一部重なるので、この科目の既履修者には受講を勧めません。他の専門科目を受講してください。一部重なることを了承の上での受講は妨げません。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	掌編ないし短編小説を素材に、解釈と鑑賞を行います。受講者の感想や意見も取り入れながら、授業を対話的に展開します。28年度は漱石・鏡花・芥川・志賀・川端・太宰・三島等の作品を取りあげる予定です。小説を原作とする文芸映画の鑑賞も行います。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回 ガイダンス(授業の方法と受講上の約束事を説明します) 第2回 作品A 第3回 作品A 第4回 作品B 第5回 作品B 第6回 作品C 第7回 作品C 第8回 作品D 第9回 作品D 第10回 作品E 第11回 作品E 第12回 作品F 第13回 作品F 第14~15回 総括と補足		
教科書・参考書等/Textbooks	プリントを配布します。参考書等は、入手可能なものを適宜授業内に紹介します。		
成績評価の方法/Evaluation	出席状況・発言(30%)、授業時間内に課すミニ提出物(30%)、期末に行う論述式試験(40%)を総合して判断します。		
学習上の助言/Learning Advice	2年次以降に、「国語分野」に進むことを検討している方は、国語教育ないし日本文学への入門的基礎科目としてぜひともご受講ください。その他、国語は苦手だが読書は好きだという方、読書は好きだが日本の文学作品はあまり読んでいない方、漫画やアニメやテレビドラマは大好きだが読書は苦手という方も、ぜひご参加ください。小説の面白さ、活字文化の魅力を再発見していただけたらと思います。私語は厳禁です。特別な理由のない遅刻・欠席もご遠慮願います。なお、教室のスペースに合わせて受講者制限を行いますので、初回には必ずご出席ください。抽選等の選考を行います。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	国際政治史/History of International Politics		
担当教員(所属)/Instructor	松村 史紀(国際学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G410200
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	松村 史紀(f-matsu@cc.utsunomiya-u.ac.jp 電話:028-649-5190)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	松村 史紀(月曜日12:30~13:30)		
授業の内容/Course Description	近代ヨーロッパに生まれた国際政治のしくみは、大きな変容を繰り返しながら、二〇世紀には地球全体を包み込んでいくことになる。この授業は、(1)国際政治史を考えるための導入、(2)近現代国際政治の歴史的变化の概観、(3)二〇世紀後半の歴史という三部構成で展開される。特に、(3)に重点をおく。		
授業の達成目標/Course Goals	近現代国際政治の変容を「国家のかたち」「国家の行動」「国際秩序の展開」という三つの軸から理解した上で、現代世界の基礎を形づくった「冷戦史」について、その史的展開を理解できるようになることが目標である。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	現代社会に参画しながら身に付け続ける幅広く深い教養の基礎を学びます。		
前提とする知識/Prerequisites	世界史の知識を前提にしなくとも理解できるように工夫しています。		
関連科目/Related Courses	「国際関係論入門」「現代政治学入門」		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	毎回、穴埋め式のレジюмеを配布して、板書・パワーポイントなどを利用して講義を進める。授業時間内に問題を出し、それをコメント・ペーパーあるいは小レポートとして提出してもらう。課題提出は期限を厳守する。予習は指定した参考書の該当箇所、復習は配布したレジюмеによって進めること。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>第一部 ーイントロダクションー</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原爆投下をめぐる神話(1): 敗戦国日本にとっての原爆 2. 原爆投下をめぐる神話(2): 戦勝国アメリカにとっての原爆 <p>第二部 ー近現代の国際政治史ー</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 国際政治の起点: 中世の終り、近代の始まり 4. 国民国家の誕生(1): 革命が広がる世界 5. 国民国家の誕生(2): ふたたび革命が広がる 6. 映画『王と鳥』から考える革命と現状変革 7. 国民国家の衝突(1): 総力戦の見取り図 8. 国民国家の衝突(2): グローバルな総力戦の展開 9. 未完の総力戦: 冷戦の国際政治学 <p>第三部 ー冷戦史を学ぶー</p> <ol style="list-style-type: none"> 10. 戦争の「あと」と「まえ」 11. 成長する冷戦(1): 中心地域の現状維持 12. 成長する冷戦(2): 第三世界の暴力 13. デタント: 超大国の衰退と多極化 14. 最後の冷戦: 東側世界の崩壊 15. もう一つの冷戦終焉: フィクションから見る冷戦の物語 		
教科書・参考書等/Textbooks	教材は、毎回配布するレジюмеであるが、以下を有用な参考書として挙げておく。 E.H.カー(大窪憲二訳)『ナショナリズムの発展』みすず書房、2006年 佐々木雄太『国際政治史』名古屋大学出版会、2011年 松村史紀他編著『東アジアにおける二つの「戦後」』国際書院、2012年		
成績評価の方法/Evaluation	平常点(コメント・ペーパー、小レポートの内容等)30%、定期試験 70%		
学習上の助言/Learning Advice	この講義では主に以下の映画を利用するが、部分的にしか観賞できないため、事前に見ておくこと(その都度、アナウンスする予定)。『カンゾー先生』、『太陽の帝国』、『王と鳥』(アニメ)、『紅の豚』(アニメ)、『V For Vendetta』など。		
キーワード/Keywords	世界史 国際政治 国際関係 西洋史		
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	多文化共生論入門/Introduction to Multicultural Society		
担当教員(所属)/Instructor	立花 有希(その他)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G435550
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	立花 有希(tachibana@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	立花 有希(月曜7-8時限、研究室)		
授業の内容/Course Description	多文化共生という用語で表現される対象を具体的に理解するために、国際比較や理論的検討を通じて、多文化社会の現実と理念を考察するものである。日本だけでなく北米や欧州の動向にも目を向けて、多角的な分析を可能にしたい。		
授業の達成目標/Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化社会で顕在化している問題や潜在的な課題について、背景を含めて理解することができる。 ・望ましい多文化社会となるために求められる改善策について論じることができる。 		
学習・教育目標との関連/Educational Goals	国際化によって生じた課題の解明と解決に寄与する学習を行う。		
前提とする知識/Prerequisites	多文化社会の抱える課題についての問題意識とその解決を目指す意欲があること。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方/Course Methodologies	各回に設定したテーマに関する講義と討論で授業を構成する。テーマごとに割り当てられた担当者による報告と質疑応答も予定している。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等)/Class Schedule	第1回オリエンテーション 第2回現代日本の多文化状況 第3回国内の取り組み(1): 地域における多文化共生 第4回国内の取り組み(2): 学校における多文化共生 第5回諸外国の取り組み(1): アメリカ、カナダ、オーストラリア 第6回諸外国の取り組み(2): 欧州 第7回多文化社会と宗教 第8回多文化社会と政治 第9回多文化社会と教育 第10回多文化社会と言語 第11回移民に関する国際比較 第12回難民問題を考える 第13回移民政策を考える 第14回現代社会の課題と展望 第15回まとめ		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書は特に指定しない。 参考書については、授業で適宜紹介する。		
成績評価の方法/Evaluation	平常点40%、授業内での課題(報告、小レポート等)30%、期末レポート30%		
学習上の助言/Learning Advice	日常生活での小さな気づきが学習を大きく前進させることがあります。心に浮かんだ問題意識をそのままにせず、資料を探し、読み解き、論理的に検討することを数多く実践してください。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	栃木県の歴史と文化/History and Culture of Tochigi Prefecture Asio Copper Mine Pollution Incident an		
担当教員(所属)/Instructor	大栗 行昭(農学部農業経済学科)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G475689
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水/Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	大栗 行昭(5511 ohguri@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	大栗 行昭(水曜5・6時限)		
授業の内容/Course Description	栃木県の歴史と文化の豊かさを認識するとともに、足尾鉍毒事件と渡良瀬遊水地の歴史と現在を学ぶ。		
授業の達成目標/Course Goals	<p>目標は2つある。1つは栃木県の歴史と文化の豊かさを認識すること、もう1つは足尾鉍毒事件と渡良瀬遊水地の歴史と現在を学ぶことである。</p> <p>47都道府県の中で、栃木県の知名度はきわめて低いが、内実は、1人当たり県民所得8位、農業生産高9位などと高く、評価と内実がかけ離れている。これは栃木県民にとって大問題である。知名度が低いのは、県民の郷土意識が低いことにもよる。本授業はその原因を探ってみたい。その過程で栃木県の歴史と文化の豊かさを掘り起こし、栃木県の知の中心を担う宇都宮大学で学ぶことの意義を認識したい。</p> <p>栃木県の人間にとって、日本の近代化の過程で起こった足尾鉍毒事件は避けて通れない大事件である。この深刻な環境破壊事件・人権侵害事件はどのような構造のもとに発生し、なぜ理不尽な結果に至ったのか。義人田中正造は被害者とともに事件とどう闘ったのか。谷中村を追われた村民はどのような生活を送ったのか。銅山の煙害で荒廃した足尾溪谷の治山・治水はどうなっているのか。谷中村を滅亡させてできた渡良瀬遊水地はどうなっているのか。このような問題を考察して、よりよい栃木県をつくるための糧にしたい。</p>		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	明治から大正にかけて日本を揺るがした深刻な環境問題および社会問題を知ること、豊かな未来の建設に必要な知識を得るとともに、宇都宮大学の学生の地元への貢献の足がかりを提供したい。		
前提とする知識/Prerequisites	学ぼうとする意欲があれば、知識・経験は問わない。		
関連科目/Related Courses	学ぼうとする意欲があれば、知識・経験は問わない。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	<p>できるだけ栃木県の歴史と文化を具体的に提示しながら、授業を進める。</p> <p>6月11日(土)に第10・11回の授業を予定している。スクールバスを利用し、渡良瀬遊水地と谷中村遺跡を実地見学する。見学は必修。</p> <p>4月23日(土)、足尾鉍毒事件の調査を兼ねて、足尾溪谷に木を植えに行く。スクールバス利用。第1回の授業で趣旨を説明し、参加者を募る。</p>		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>第1回 授業についてのガイダンス。</p> <p>第2回 栃木県の謎(1)なぜ知名度が低いのか。郷土意識が低いのか 印象の薄い県・地味な県の実力。栃木県の県民性—文化人類学、歴史学などの視点で</p> <p>第3回 栃木県の謎(2)歴史に学ぶ栃木の誇り(前半) 豊かな古墳文化、下野薬師寺、天台宗の確立者円仁、坂東の大学足利学校、聖地日光</p> <p>第4回 栃木県の謎(2)歴史に学ぶ栃木の誇り(後半) 芭蕉・尊徳と下野、那須疏水、濱田庄司と益子焼、戦前戦後を代表する文化人</p> <p>第5回 渡良瀬遊水地の自然</p> <p>第6回 利根川と治水の歴史</p> <p>第7回 谷中村滅亡史(1)</p> <p>第8回 湿地の機能とラムサール条約</p> <p>第9回 谷中村滅亡史(2)</p> <p>第10・11回 渡良瀬遊水地と谷中村跡地実地見学</p> <p>第12回 渡良瀬川の水害史</p> <p>第13回 谷中村滅亡史(3)</p> <p>第14回 渡良瀬遊水地の開発</p> <p>第15回 谷中村滅亡史(授業まとめ)</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書として、渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民会議編『新・渡良瀬遊水池』		
成績評価の方法/Evaluation	提出課題によって評価する。そのために、渡良瀬遊水地と谷中村遺跡の実地見学には必ず参加されたい。		
学習上の助言/Learning Advice	栃木県には学ぶべき文化歴史が豊かであることをぜひ知っていただきたい。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	アフリカ学入門		
担当教員(所属)/Instructor	阪本 公美子(国際学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G475820
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours			
授業の内容/Course Description	皆さんのアフリカのイメージは、距離的に遠く、自分の生活との直接的な関係が分かりにくい ため、少ない偏った情報から形成されているかもしれません。アフリカ大陸には多くの国 々が存在し、地域によって異なる自然・社会環境の基で異なる歴史をもった様々な人々がそ れぞれの生業のもとで生活しています。またアフリカ問題に関する誤解も流布しています 。本授業ではその多様性・多面性の一部を、等身大で理解することを旨とします。		
授業の達成目標/Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカに関して等身大に理解すること。 ・アフリカの地理的・文化的・社会的多様性について理解すること。 ・アフリカに関するステレオ・タイプが是正されること。 		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	<p>①知識・理解:アフリカの社会・文化・自然環境・歴史に関して概説的な知識を広げます。 ②思考・判断:自らのアフリカに関する知識・理解を問い直します。 ③技能・表現:アフリカに関連するトピックに関して、調査し、まとめ、発表する力を養い ます。 ④関心・意欲・態度:アフリカの人びとに関する関心とともに、更に学びたいという意欲を 喚起します。</p>		
前提とする知識/Prerequisites	アフリカに対する興味、住む人々と共感をしようとする姿勢を期待します。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	講義と分類していますが、質疑応答・討論など受講者の積極的な参加を期待します。毎回授 業の終わりに授業に関する考察や次の授業の予備知識について記述してもらいます。また、 ほぼ毎回、課題(宿題)を貸します。アフリカに関する個人発表、レポート、グループ発表 を課します。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>第1週 オリエンテーション 第2週 アフリカ諸国と地域 (参考書 p.142) 第3週 アフリカの自然 (pp.143,149-150) 第4週 アフリカの歴史と宗教(概説とビデオ) (p.144) 第5週 農村における子どもの生存と家族 第6週 タンザニア南東部農村における男女分業 第7週 タンザニア南東部農村の人々にとって発展とは? 第8週 食を支えるものづくり [レポート提出] 第9週 サバンナの自然と農業 第10週 農業と食に対する支援を考える 第12週 グループ作業 第11週 アフリカの文化(音楽・料理を予定)</p> <p>第13週 アフリカン日比谷フェスティバル(2016年7月9日) 第14-15週 グループ発表 優秀レポート発表、テスト返却、質疑応答、授業評価 上記は目安ですが、状況や必要に応じて重点・日程など変わる可能性もあります。</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	参考書:吉田昌夫(2002)「熱帯アフリカ」『地域研究』古今書院pp.142-156		
成績評価の方法/Evaluation	授業参加・記述等平常点(20%)、課題(20%)、レポート(20%)、テスト(20%)、発表 (20%)を基に総合的に評価します。		
学習上の助言/Learning Advice	授業でアフリカの様々な面について学んだことをきっかけに、更に自発的な学習を心がけて 下さい。 なお、教員の健康上の理由のため、当日の喫煙・人工香料(香水など)をお控えください。 また、授業中の換気を行いますため、ご了解ください。7月の授業は若干暑い可能性がある ため、軽装にて受講してください。 また、例年込み合いますが、諸条件の合う教室がないため、教室変更が難しいこともご了解 ください。上限人数の54名を超えた場合、第1週の出席、第2週の課題提出状況をもとに、受 講生を決定します。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	振動の科学/Oscillation Science		
担当教員(所属)/Instructor	東口 武史(工学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G506334
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可(出願前面談有)		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	東口 武史(電話番号:6087(内線) E-mail: higashi@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	東口 武史(事前にメールなどで連絡すること。 陽東キャンパス 東口准教授室(4-210))		
授業の内容/Course Description	大多数の学生向けに、振動や波とは何か、オイラーの公式・等式を眺めてみて、どのような数字から成り立っているかなどについて理解を深めていけるように解説します。振動と波は密接に関係しているだけでなく、楽器の仕組みも空気振動を使っていますし、建物には免震構造が採用されています。また、携帯電話などの無線や光通信でも電波や光として伝わってきます。振動や波の現象の科学に触れて自分の頭で考えるための基礎を築いて、振動の科学に興味をもっていくことができるようにと願っています。		
授業の達成目標/Course Goals	自然科学に関する基本的な知識や技能を修得し、また、現代の科学技術および最先端の研究に関する知識に触れ方法論を学ぶことによって、自然科学に関する幅広い教養を身につけることを達成目標にします。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	自然科学に関する幅広い基礎知識を身につけることを目標にします。		
前提とする知識/Prerequisites	特に必要な知識や経験はありません。		
関連科目/Related Courses	特になし。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	スライドや黒板(ホワイトボード)を用いて講義形式で行います。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回 イン트로ダクション(楽器、地震、橋の振動を例にして) 第2回 振動数:高い音と低い音は何かが違うのか(ギターの振動を例にして) 第3回 音律の数学:イントロダクション 第4回 音律の数学:音律とは何か 第5回 音律の数学:音と振動数 第6回 音律の数学:ドレミファ・・・を決めてみよう 第7回 オイラーの等式に含まれている数字:ルートを作図してみる 第8回 オイラーの公式(等式):振動は三角関数で表すことができる 第9回 オイラーの等式に含まれている数字:ルートを作図してみる 第10回 コンパスと方眼紙に作図して無理数を表現してみる 第11回 引き続き作図して無理数を表現してみる 第12回 数字の種類と性質をまとめてみよう 第13回 単振動を複素数で表す(1):オイラーの公式と三角関数 第14回 単振動を複素数で表す(2):ベクトルの回転 第15回 まとめ		
教科書・参考書等/Textbooks	なし		
成績評価の方法/Evaluation	学習目標の達成度を評価するために期末レポート(100点)を課し、60点以上を合格とします。		
学習上の助言/Learning Advice	基本的なしくみを理解し、今後のキャリア形成に役立ててください。		
キーワード/Keywords	振動, 三角関数, 図形		
備考/Notes	この科目では、受講者数を40名に限定します。オーバーしたときは、教育学部、農学部、国際学部、地域デザイン学部、工学部の順に優先します。		

授業科目名(英文名) /Course Title	物理工学最前線/Topics in Applied Physics		
担当教員(所属)/Instructor	湯上 登(工学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G510560
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	湯上 登(電話:028(689)6086 Email:yugami@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	湯上 登(月曜16:00以降 陽東キャンパス10号館4F 10-402-2)		
授業の内容/Course Description	現代社会で用いられている科学技術のうち、物理学を用いているものについて、その基礎的な物理現象を理解する		
授業の達成目標/Course Goals	物理的な考え方や物理的な思考が可能になるようにする		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	現代社会に必要なリテラシーの一つとして、豊かな人間性を身につけることと関連します。		
前提とする知識/Prerequisites	高校の物理1および2。高校の数学。		
関連科目/Related Courses	高校の物理1および2。高校の数学。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	私たちの周辺にある物理現状を物理ではどのように理解するのかを紹介し、現在の応用物理の一つであるプラズマを用いた核融合研究の理解につなげます。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第一回：物理学の基礎(1) 第二回：物理学の基礎(2) 第三回：波 第四回：光 第五回：電場と磁場 第六回：電磁波 第七回：プラズマの基礎 第八回：プラズマ中の波 第九回：プラズマと電磁波 第十回：プラズマの計測 第十一回：核融合と核分裂 第十二回：核融合とプラズマ 第十三回：磁場核融合 第十四回：慣性核融合 第十五回：高密度プラズマ科学		
教科書・参考書等/Textbooks	特にない		
成績評価の方法/Evaluation	レポートおよび宿題の評価による		
学習上の助言/Learning Advice	受講には、最低限、物理と数学に関する理解が必要です。物理に対する興味を持って下さい。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	環境と生物化学/Environment and Biological Chemistry		
担当教員(所属)/Instructor	池田 幸(工学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G525001
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	池田 幸(内5161・tikeda@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	池田 幸(毎週金曜・12:30~13:30)		
授業の内容/Course Description	環境と生物のかかわりを、特に生物化学的な視点から取り上げる。地球規模での物質循環には、さまざまな生物、生命反応がかかわっている。また、地球の環境は、生物、特に微生物によって整えられてきた。一方、現在の環境の大きな問題として、環境汚染がある。地球環境の歴史および現状、そして、環境汚染の要因および環境汚染修復技術について、主に微生物学、生物化学、生物工学の観点から概説する。		
授業の達成目標/Course Goals	(1) 地球規模での物質循環と地球環境についての知識を習得する。 (2) 地球環境が構築されてきた歴史的背景と生物との関わりについての知識を習得する。 (3) 地球規模での環境汚染とその対策技術について、特に生物を利用した技術についての知識を習得する。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	環境問題および生物化学、微生物学に関わる幅広い見方と知識を学ぶことにより、自然科学に関する広く深い教養と豊かな人間性を身に付けることに寄与する。		
前提とする知識/Prerequisites	色々な学部、学科からの聴講を歓迎いたしますので、特に受講資格はありませんが、受講者の基礎知識に差があることが予想されますので、それを前提とした講義となります。		
関連科目/Related Courses	色々な学部、学科からの聴講を歓迎いたしますので、特に受講資格はありませんが、受講者の基礎知識に差があることが予想されますので、それを前提とした講義となります。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	各テーマにしたがって主に項目や図表を記載したプリントを配付し、講義中心の授業を行う。毎回の講義の最初にそれまでの理解度を確認するための小テストを行う。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1週 環境とは 第2-3週 環境汚染、環境汚染物質 第4-6週 地球環境と生物、環境微生物 第7-9週 水と環境 第10-12週 環境保全対策技術 第12-14週 生物による環境修復技術、バイオマス 第15週 まとめ		
教科書・参考書等/Textbooks	教科書：特に定めない。 参考書：「環境安全論」北爪、池田、久保田、辻、北爪著、コロナ社 教材：授業の際にプリントとして配布する予定。		
成績評価の方法/Evaluation	講義内容(主に前回)の理解を確認するために毎回行なう小テスト(20%)と期末試験またはレポート(80%)により評価し、達成度60%以上を合格とする。		
学習上の助言/Learning Advice	環境に対する関心が高まり、環境保全、環境修復に関する取り組みが広く行われている現在、環境問題に関する知識の習得とともに自分の考えを持つことが社会的にも求められます。環境に対する自分の意見を持つ良い機会だと思いますので、受講される諸君は積極的に授業に参加して下さい。		
キーワード/Keywords	環境、地球環境、環境汚染、環境修復、生物化学、微生物		
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	C言語・プログラミング入門/Introduction to C Language and Programming		
担当教員(所属)/Instructor	倪 永茂(国際学部国際社会学科)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G540114
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	倪 永茂(メールアドレス niy@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	倪 永茂(水曜日12:30~13:30)		
授業の内容/Course Description	パソコン、ゲーム機、携帯電話等、ソフトウェア無しでは機能しない機械が身の回りにいっぱいあります。本授業では、ソフトウェアの作成に欠かせないプログラム言語の一つ、C言語について、多くの課題をこなすことにより、その基礎知識や基本文法を学びます。C言語の影響を受けた言語が数多くあるので、C言語をマスターすれば、他言語の習得にも役立ちます。		
授業の達成目標/Course Goals	ハードウェア・ソフトウェアの働きについて理解を深め、資格取得や、勉学・研究に役立つプログラムがつけられることを目標とします。プログラムの手続きとはなにか、情報科学的考え方とはなにか、基礎をしっかり身につけます。		
学習・教育目標との関連/Educational Goals	情報科学の基本的考え方を身につけ、IT社会に対する考察力を深め、教養知識を幅広く習得するという教養教育の目標に貢献します。		
前提とする知識/Prerequisites	パソコンについて基本的な操作や初歩的な知識を有すること、つまり、必修科目「情報処理基礎」履修済または相当な知識を有すること。		
関連科目/Related Courses	「情報処理基礎」		
授業の具体的な進め方/Course Methodologies	峰キャンパスにある総合メディア基盤センターのパソコンを使って行います。また、授業は講義と演習を併用した形で進めます。授業に必要な資料等をMoodleに掲載します。ほぼ毎週プログラムの課題があります。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等)/Class Schedule	第1回 オリエンテーション 第2回 プログラミング環境 第3回 変数と四則演算 第4回 条件分岐(1) 第5回 条件分岐(2) 第6回 繰り返し 第7回 総合問題 -- 歴, 天文学 第8回 総合問題 -- 整数 第9回 配列 第10回 応用問題 第11回 関数と再呼出し 第12回 プログラムの正しさの検証 第13回 プログラムの実行速度の比較 第14回 情報科学とアルゴリズム 第15回 課題の総レビュー		
教科書・参考書等/Textbooks	授業に必要な資料をeラーニングシステムMoodle上に配布します。		
成績評価の方法/Evaluation	提出課題(70%)と期末レポート(30%)との得点の合計値で成績評価します。		
学習上の助言/Learning Advice	問題解決に関心を持ち、やる気のある学生が望まれます。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	地球環境と生物事件史/Earth and Life Events Through Time		
担当教員(所属)/Instructor	相田 吉昭(農学部生物資源科学科)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G551710
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可(出願前面談有)		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	相田 吉昭(e-mail: aida@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	相田 吉昭(月曜日16:00~17:30)		
授業の内容/Course Description	地球環境と生物事件史の講義では、長い地質時代における顕著な生物の絶滅事件や爆発的進化などの大きな生物イベントに焦点を当てて、地球環境と生命の歴史を解説します。		
授業の達成目標/Course Goals	地球環境と生物事件史の講義は、過去30億年の地球環境の変遷と進化や絶滅などの生物の変遷の記録をどのように読みとるのかを理解することを到達目的とする。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	過去30億年の地球環境の変遷と生物絶滅事件との関わりを理解することは、地球人として必要な素養、幅広く深い教養を身につけることが可能となり、本学の基盤教育の教育目標に合致する。		
前提とする知識/Prerequisites	特にありません。高校で地学を履修していない人でも大丈夫です。初級-中級レベルです。		
関連科目/Related Courses	特にありません。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	地層や岩石に残された記録や化石に基づいて、先カンブリア時代の原始生物の進化、ストロマトライトの意義、バージェス頁岩動物群と生物の多様性、生物の大量絶滅の原因などのテーマについてプリント資料、スライド、ビデオ、岩石や化石標本などを用いて2~3回の講義で進行していく予定。随時、小クイズとレポートを課し、採点されます。プリント資料は毎回配布する予定である。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回 イントロダクション 第2回 先カンブリア時代の地球環境 第3回 先カンブリア時代の原始生命 第4回 スノーボールアース(全球凍結)事変 第5回 エディアカラ紀とエディアカラ生物群 第6回 カンブリア紀における生物の爆発的進化 第7回 バージェス頁岩動物群と生物の多様性 第8回 チェンジャン動物群とシリウス・パセット動物群 第9回 ペルム紀-三疊紀境界と生物の大量絶滅事件1 P/T境界で絶滅した生物相 第10回 ペルム紀-三疊紀境界と生物の大量絶滅事件2 P/T境界での同位体変化、海洋環境の変遷 第11回 白亜紀-古第三紀境界と大量絶滅(1) 白亜紀の生物相と大量絶滅した生物相の特徴、白亜紀の環境 第12回 白亜紀-古第三紀境界と大量絶滅(2) インパクトセオリーの根拠、イリジウムの異常濃集など 第13回 温室地球から氷室地球への変化 第14回 深海底の掘削から古海洋環境を探る 第15回 深海探査と微化石の世界 第16回 期末試験		
教科書・参考書等/Textbooks	1. (参考書)「微化石?顕微鏡で見るプランクトン化石の世界」谷村好洋・辻彰洋編著東海大学出版会 2. (参考書)「ワンドフルライフ、バージェス頁岩と生物進化の物語」(Stephen J. Gould)ハヤカワ文庫 3. (参考書)「カンブリア爆発の謎」宇佐見義之著技術評論社 4. (参考書)「白亜紀に夜がくる--恐竜の絶滅と現代地質学」(J.P.パウエル)青土社		
成績評価の方法/Evaluation	授業の進行具合に応じて、またビデオを見ながら内容を把握する小クイズを頻繁に実施する。また2-3回宿題としてレポート課題を与える。評価はレポート(30点)+小クイズ(30点)+期末試験(60点)=合計120点で行い、60%以上を合格ラインとして総合的に評価する。		
学習上の助言/Learning Advice	この「地球環境史」であなたの地球観が変わることになるかもしれません。幅広く地球の生物や環境に関心を持つ学生諸君の受講を歓迎します。		
キーワード/Keywords	地球環境、原始生命、スノーボールアース、エディアカラ紀、カンブリア紀、生物の爆発的進化、バージェス頁岩動物群、チェンジャン動物群、シリウス・パセット動物群、ペルム紀-三疊紀境界、生物の大量絶滅事件、白亜紀-古第三紀境界、インパクトセオリー、深海底の掘削、		
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	生活習慣と健康(H26以降入学者対象)/Health and lifestyle habits		
担当教員(所属)/Instructor	久保 元芳(教育学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G560042
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	久保 元芳(kubo@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	久保 元芳(水曜12:10~12:40、金曜12:10~12:40 教育学部B508)		
授業の内容/Course Description	健康を保持・増進する上では、日常生活習慣を整えることが重要とされている。本授業では、健康に関する概説を行うとともに、運動、食生活、休養・睡眠、喫煙・飲酒などの生活習慣と健康の関連について理解を深める。		
授業の達成目標/Course Goals	健康に関する基礎的・基本的な知識を修得するとともに、生活習慣がどのように健康と関わりがあるのか説明できる。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	本授業は、教養科目・健康科学系科目に属する選択科目である。現代社会に生じている諸課題に対応できる素養、幅広く深い教養と豊かな人間性を養うための教科と位置付ける。		
前提とする知識/Prerequisites	特に前提とする知識は必要ないが、健康、運動、栄養に関する高等学校までの教科横断的な知識を有することが望ましい。		
関連科目/Related Courses	特になし。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	本授業は3名の担当者によって進められる。第2~6回の健康に関わる部分は久保、第7~10回の運動に関わる部分は羽田(ゲストスピーカー)、第11~14回の栄養に関わる部分は大森が担当し、各担当者が成績評価のための課題を提示する。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回 ガイダンス(講義内容の概要説明、授業の進め方等) 第2回 健康1 健康とは何か? 第3回 健康2 人類の生活と健康問題の歴史の変遷 第4回 健康3 現代人のライフスタイルと健康①:喫煙・飲酒等 第5回 健康4 現代人のライフスタイルと健康②:休養・睡眠等 第6回 健康5 ヘルスプロモーションの理念に基づく健康づくり 第7回 運動1 どのような運動が必要か 第8回 運動2 健康に効果的な運動処方 第9回 運動3 健康な身体作りのための筋力トレーニング 第10回 運動4 有酸素運動:ウォーキングとランニング 第11回 栄養1 食生活の現状と課題 第12回 栄養2 栄養に関する概説 第13回 栄養3 生活習慣病と食事 第14回 栄養4 食事の摂り方 第15回 まとめ ※授業計画は途中で見直すことがある		
教科書・参考書等/Textbooks	必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法/Evaluation	各担当者が成績評価のための課題を提示し、健康40%、運動30%、栄養30%で総合的に評価する。詳細はガイダンスで説明するので必ず出席すること。		
学習上の助言/Learning Advice	生涯に渡って健康的な生活を送る上で本授業がみなさんの生活習慣を振り返る契機となることを担当教員一同願っています。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) / Course Title	雑草観察入門 / Introduction to Field Methods in Weed Science		
担当教員(所属) / Instructor	西尾 孝佳(農学部)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G580037
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 水 / Wed 3, 水 / Wed 4	単位数 / Credits	2単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	西尾 孝佳(電話番号: 028-649-5147 Email: nishio@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	西尾 孝佳(月曜日午後3時から5時。来室前に電話かEメールで問い合わせて下さい。)		
授業の内容 / Course Description	私たちの身の回りには様々な種類の雑草が暮らしており、その観察は最も手軽に自然や多様性を感じられる手段の一つです。この手軽さから、雑草は生態や進化を研究する材料として古くから利用され、多くの知見が蓄積されてきました。本講義では、大学キャンパスに分布する雑草を観察材料として用い、植物の生態と進化、そしてそれらに及ぼす人の役割について学びます。		
授業の達成目標 / Course Goals	植物の生態・進化に関する基本的な用語、植物の分類・同定法、分布調査法や生息地環境の調査法など雑草の観察に必要な基本的な知識及び技術を習得することを目標としています。		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	「現代社会に必要なリテラシー(素養)」、幅広く深い教養と豊かな人間性を身につける教養教育を行う」という教育目標に対応します。		
前提とする知識 / Prerequisites	特にありません。		
関連科目 / Related Courses	生物の多様性とは何か、生物多様性論、野外調査論、植物生態学、フィールド研究論、フィールド実習III		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	基本的な用語・方法・概念の解説は、写真や図表を中心としたスライドを用い、講義形式で行います。雑草の観察は宇都宮大学峰キャンパスを散策し、雑草の分類及び同定、スマートフォンなどを活用した分布図の作成を行います。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	<p>第1回 ガイダンス: 講義内容の説明、雑草科学の紹介(講義)</p> <p>第2回~第4回 春に出現する雑草の分類及び同定(野外): キャンパス内の雑草を観察し、分類・同定に必要な検索点を学びます。また得られた情報を講義室に持ち帰り、自分専用の雑草検索表(My検索表)を作成します。</p> <p>第5回~第8回 キャンパス内で春に出現する雑草の分布図作成と生息地環境の調査(野外): キャンパスの地図、スマートフォンやGPS機器の位置情報を活用して、春に出現する雑草の分布図を作成します。また、分布に影響する要因の調査法を学びます。</p> <p>第9回~第11回 初夏に出現する雑草の分類及び同定(野外): キャンパス内の雑草を観察し、分類・同定に必要な検索点を学びます。また、得られた情報を講義室に持ち帰り、自分専用の雑草検索表(My検索表)を作成します。</p> <p>第11回~第14回 キャンパス内で初夏に出現する雑草の分布図作成と生息地環境の調査(野外): キャンパスの地図、スマートフォンやGPS機器の位置情報を活用して、初夏に出現する雑草の分布図を作成します。また、分布に影響する要因の調査法を学びます。</p> <p>第15回 総括: 得られた情報を踏まえて、雑草科学の展望と将来性を解説します(講義)</p> <p>※雑草の発生状況は様々な要因によって変化します。その状況に合わせて内容やスケジュールが変わる可能性がありますので予めご了承下さい。</p>		
教科書・参考書等 / Textbooks	教科書は使いませんが、植物図鑑を持っている人は持参して下さい。なおスマートフォン他、GPS機器があれば分布図が作成しやすくなります。		
成績評価の方法 / Evaluation	レポートの内容、授業に取り組む姿勢によって成績評価を行います。		
学習上の助言 / Learning Advice	野外を散策するため、服装や靴などに注意して下さい。また、必要に応じて、帽子などの紫外線対策、虫除けスプレーなどの防虫対策も準備して下さい。		
キーワード / Keywords	野外観察, 雑草, 植物生態学, 植物分類		
備考 / Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	生活習慣と健康(H25以前入学者対象)/Health and lifestyle habits		
担当教員(所属)/Instructor	久保 元芳(教育学部)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G602525
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact	久保 元芳(kubo@cc.utsunomiya-u.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours	久保 元芳(水曜12:10~12:40、金曜12:10~12:40 教育学部B508)		
授業の内容/Course Description	健康を保持・増進する上では、日常生活習慣を整えることが重要とされている。本授業では、健康に関する概説を行うとともに、運動、食生活、休養・睡眠、喫煙・飲酒などの生活習慣と健康の関連について理解を深める。		
授業の達成目標/Course Goals	健康に関する基礎的・基本的な知識を修得するとともに、生活習慣がどのように健康と関わりがあるのか説明できる。		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	本授業は、教養科目・健康科学系科目に属する選択科目である。現代社会に生じている諸課題に対応できる素養、幅広く深い教養と豊かな人間性を養うための教科と位置付ける。		
前提とする知識/Prerequisites	特に前提とする知識は必要ないが、健康、運動、栄養に関する高等学校までの教科横断的な知識を有することが望ましい。		
関連科目/Related Courses	特になし。		
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	本授業は3名の担当者によって進められる。第2~6回の健康に関わる部分は久保、第7~10回の運動に関わる部分は羽田(ゲストスピーカー)、第11~14回の栄養に関わる部分は大森が担当し、各担当者が成績評価のための課題を提示する。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	第1回 ガイダンス(講義内容の概要説明、授業の進め方等) 第2回 健康1 健康とは何か? 第3回 健康2 人類の生活と健康問題の歴史の変遷 第4回 健康3 現代人のライフスタイルと健康①:喫煙・飲酒等 第5回 健康4 現代人のライフスタイルと健康②:休養・睡眠等 第6回 健康5 ヘルスプロモーションの理念に基づく健康づくり 第7回 運動1 どのような運動が必要か 第8回 運動2 健康に効果的な運動処方 第9回 運動3 健康な身体作りのための筋力トレーニング 第10回 運動4 有酸素運動:ウォーキングとランニング 第11回 栄養1 食生活の現状と課題 第12回 栄養2 栄養に関する概説 第13回 栄養3 生活習慣病と食事 第14回 栄養4 食事の摂り方 第15回 まとめ ※授業計画は途中で見直すことがある		
教科書・参考書等/Textbooks	必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法/Evaluation	各担当者が成績評価のための課題を提示し、健康40%、運動30%、栄養30%で総合的に評価する。詳細はガイダンスで説明するので必ず出席すること。		
学習上の助言/Learning Advice	生涯に渡って健康的な生活を送る上で本授業がみなさんの生活習慣を振り返る契機となることを担当教員一同願っています。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	先輩に学ぶ/Encouragement of Learning in UDAI		
担当教員(所属)/Instructor	石田 朋靖(農学部農業環境工学科)		
授業種別/Type of Class		時間割コード/Registration Code	G870900
開講学期曜日時限/Period	2016年度/Academic Year 前期/First semester 水 /Wed 3, 水/Wed 4	単位数/Credits	2単位
科目等履修生の受入/Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)/Contact			
オフィスアワー(自由質問時間)/Office Hours			
授業の内容/Course Description	<p>学長自ら代表を務める唯一の科目です。本学の教員10名が、学生のみなさんに対して人生の先輩として、学生時代を含めこれまでのキャリアを振り返りながらメッセージを伝えます。それぞれの先輩がこれまで歩んできた道でどのようなことに悩み、いかに乗り越えてきたのかについて聞くことで、これから先の人生について考えを深めることを目指します。</p>		
授業の達成目標/Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> ・働く意義を学ぶ(就業観の育成)と同時に、大学での学びと就職が結びついていることを知る。 ・就職が到達点ではなく、生涯にわたりキャリア形成が図られることを理解する。 		
学習・教育目標との関連 /Educational Goals	それぞれの教員による講義を聞き、グループで話し合うことで、さまざまな学問・職業分野の存在や働き方・生き方への理解を深められるようになっており、これは視野を広げることや自らのキャリアデザイン力の育成と強く関連しています。		
前提とする知識/Prerequisites	人生の先輩から何かを掴みたいという意欲と、グループでの話し合い学習に参画する意欲が求められます。		
関連科目/Related Courses			
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	10名の教員が担当するオムニバス形式で進めます。第3回では学長自らが教壇に立ちます。教員の講義の後、グループによる話し合い学習を行い、講義内容をより自分に引きつけて理解し、他の受講者の視点を理解する機会とします。第7回、第14回ではそれまでの教員の講義をふり振り返り、キャリア形成を意識して学生生活を送るうえで大切にしたいことについて考えるグループワークを行います。		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) /Class Schedule	<p>第1回 オリエンテーション キャリアとは? 第2回 アイスブレイク チームビルディング 第3回 石田朋靖 学長 第4回 福森理加 農学部附属農場助教 第5回 土崎雄祐 地域連携教育研究センター特任研究員 第6回 黒川享子 教育学部講師 第7回 グループワーク①(第3回～第6回の振り返り) 第8回 第9回 田巻松雄 国際学部長、伊東明彦 教育学部長 第10回 阿山みよし 工学研究科長、夏秋知英 農学部長 第11回 塚本純 地域デザイン科学部長、末廣啓子 キャリア教育・就職支援センター教授 第12回 ※第8～13回は上記の先生方に1回ずつ担当していただきます。 第13回 第14回 グループワーク②(第8回～第13回の振り返り) 第15回 この授業のまとめ</p>		
教科書・参考書等/Textbooks	必要に応じて適宜資料を配布する。		
成績評価の方法/Evaluation	グループワークへの参加と貢献、各回の提出物、プレゼンテーション等によって評価する。		
学習上の助言/Learning Advice	上記10名はそれぞれ異なった専門性やライフストーリーを持っています。“人生の先輩”の多種多様な話を通して、働くことやキャリアを切り拓くことの面白さを感じ、自分の将来を考えて下さい。		
キーワード/Keywords			
備考/Notes			

授業科目名(英文名) ／Course Title	Advanced English I (Pleasure Reading)β / Advanced English I (Pleasure Reading)		
担当教員(所属)／Instructor	須賀 晴美(国際学部)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G240012
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 水 /Wed 5, 水/Wed 6	単位数／Credits	1単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	須賀 晴美(suga-hs8rainbow@aria.ocn.ne.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	須賀 晴美(授業終了後に対応します。)		
授業の内容／Course Description	This course aims at developing reading skills by reading English extensively and enjoyably. The course consists of two sections: One is the classroom activities — using a textbook, the students learn how to read fast and get the ideas of the contents quickly. The other is the reading lab activities — The EPUU reading laboratory has some 6,500 English graded readers; The students are to check out those books, and read a large number of books assigned to each student according to his/her reading ability.		
授業の達成目標／Course Goals	Students will be able to: (1) manage their own reading process, (2) develop reading skills using an extensive reading approach, (3) think in English about cultural issues, (4) expand their vocabulary to comprehend various passages, and (5) try to read a large number of texts rapidly without dictionary.		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識／Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目／Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	Students will read for pleasure, information and general understanding as much as possible in the EPUU Graded Reader Program. They will start out reading lower level books and progressively move through higher level books throughout the semester. During class they will discuss and exchange information about the large number of texts they have read. Also, they will work on the textbook and engage in pair and small group activities. Book reports and progress charts are required to analyze students' progress in the extensive reading program.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	Week 1 Introduction to the Course Weeks 2-3 Reading Faster Weeks 4-5 Unit1-2, Previewing & Scanning Weeks 6-7 Unit3, Making Inferences Weeks 8-9 Unit4, Focusing on the Topic Weeks 10-11 Unit5, Understanding Paragraphs Weeks 12-13 Unit6, Identifying the Pattern Weeks 14-15 Unit7, Thinking in English		
教科書・参考書等／Textbooks	Reading Power 2(4th ed.), Jeffries and Mikulecky(2009). Pearson Longman.		
成績評価の方法／Evaluation	10% Participation 45% Test(s) 45% Book Report(Students are supposed to submit Book Reports and Progress Charts)		
学習上の助言／Learning Advice	Try entering the secret garden of extensive reading. This will help you improve your reading speed and build your vocabulary.		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) ／Course Title	Advanced English I (Vocabulary Building) α / Advanced English I (Vocabulary Building)		
担当教員(所属)／Instructor	ガーランド ファツイクエ ローリズ ジュニア(その他)		
授業種別／Type of Class		時間割コード／Registration Code	G240081
開講学期曜日時限／Period	2016年度／Academic Year 前期／First semester 水 /Wed 5, 水/Wed 6	単位数／Credits	1単位
科目等履修生の受入／Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど)／Contact	ガーランド ファツイクエ ローリズ ジュニア (godzillalovesjapan@gmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間)／Office Hours	ガーランド ファツイクエ ローリズ ジュニア(講義終了後対応します。)		
授業の内容／Course Description	Students increase their ability to use the most common vocabulary for reading and speaking English.		
授業の達成目標／Course Goals	Students will be able to: (1) recognize and actively use over 600 high frequency English upper intermediate vocabulary words, (2) understand meaning of vocabulary in different contexts and uses, (3) increase memory and recall of target vocabulary through word/image association, and (4) continue self-study after the course.		
学習・教育目標との関連 ／Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識／Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目／Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 ／Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work individually and together on class activities that will include among other things: (1) studying picture and sentence examples of vocabulary lists, (2) practicing exercises in the text, (3) reading short passages to place the meaning in the appropriate context, (4) writing a vocabulary notebook and sharing written ideas in speaking tasks, and (5) practicing pair and group speaking activities using target words to describe ideas and opinions.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) ／Class Schedule	Week 1 Introduction to Course and Materials from Unit 1 Weeks 2-3 Materials from Units 2-4 Weeks 4-5 Materials from Units 5-7 Weeks 6-7 Materials from Units 8-10 Weeks 8-9 Materials from Units 11-13 Weeks 10-11 Materials from Units 14-16 Weeks 12-13 Materials from Units 17-19 Week 14 Test Week 15 Review Test and Materials from Unit 20		
教科書・参考書等／Textbooks	4000 Essential English Words 4 (2009), Nation, P. Compass Publishing Japan.		
成績評価の方法／Evaluation	80% Class Work (20% Participation, 30% Homework/Vocabulary Notebook, 30% Vocabulary Quizzes) 20% Test		
学習上の助言／Learning Advice	Students interested in increasing their ability using and understanding vocabulary should take this course.		
キーワード／Keywords			
備考／Notes			

授業科目名(英文名) /Course Title	Advanced English I (Vocabulary Building)β / Advanced English I (Vocabulary Building)		
担当教員(所属) / Instructor	キース ロジャー(その他)		
授業種別 / Type of Class		時間割コード / Registration Code	G240082
開講学期曜日時限 / Period	2016年度 / Academic Year 前期 / First semester 水 / Wed 5, 水 / Wed 6	単位数 / Credits	1単位
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入不可		
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	キース ロジャー(keithjrodger@hotmail.com)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office Hours	キース ロジャー(講義終了後対応します。)		
授業の内容 / Course Description	Students increase their grasp of the most useful vocabulary for reading and speaking English.		
授業の達成目標 / Course Goals	Students will be able to: (1) recognize and actively use over 600 high frequency English lower intermediate vocabulary words, (2) understand meaning of vocabulary in different contexts and uses, (3) increase memory and recall of target vocabulary through word/image association, and (4) continue self-study after the course.		
学習・教育目標との関連 / Educational Goals	Second year students choose into this once a week, one semester course taught by a native English speaking teacher in order to fulfill university English requirements.		
前提とする知識 / Prerequisites	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
関連科目 / Related Courses	Integrated English IA, IIA, IB, IIB		
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	Students are expected to always use English to communicate during class time. Students will work individually and together on class activities that will include among other things: (1) studying picture and sentence examples of vocabulary lists, (2) practicing exercises in the text, (3) reading short passages to place the meaning in the appropriate context, (4) writing a vocabulary notebook and sharing written ideas in speaking tasks, and (5) practicing pair and group speaking activities using target words to describe ideas and opinions.		
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class Schedule	Week 1 Introduction to Course and Materials from Unit 1 Weeks 2-3 Materials from Units 2-4 Weeks 4-5 Materials from Units 5-7 Weeks 6-7 Materials from Units 8-10 Weeks 8-9 Materials from Units 11-13 Weeks 10-11 Materials from Units 14-16 Weeks 12-13 Materials from Units 17-19 Week 14 Test Week 15 Review Test, Materials from Unit 20		
教科書・参考書等 / Textbooks	4000 Essential English Words 2 (2009), Nation, P. Compass Publishing Japan.		
成績評価の方法 / Evaluation	80% Class Work (20% Participation, 30% Homework/Vocabulary Notebook, 30% Vocabulary Quizzes) 20% Test		
学習上の助言 / Learning Advice	Students interested in increasing their ability using and understanding vocabulary should take this course.		
キーワード / Keywords			
備考 / Notes			